KAWAI

DIGITAL PIANO
CA59
取扱説明書

JA

お読みください
準　備
基本編
応用編
付　録

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

弊社電子楽器製品をお使いの際は、安全のため以下の注意事項を守った上でお使いください。
小さなお子様がいる場合は、保護者の管理の元、安全にお使いください。

■警告と注意、記号表示について

警告と注意、記号表示には以下のような意味が有ります。

⚠ 警告
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容が記載されています。

⚠ 注意
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容が記載されています。

⚠ △記号は注意(用心してほしい)を促す内容があることを告げるものです。

⃠ ⃠記号は禁止(行ってはいけない)の行為であることを告げるものです。

● ●記号は強制(必ず実行してほしい)したり、指示する内容があることを告げるものです。

⚠ 警告

電源は必ずAC100Vをお使いください。
電圧の異なる電源を使用すると故障や発火の恐れがあります。

付属の電源コードやACアダプターは、本機でのみ使用してください。
付属の電源コード/ACアダプター以外を本機で使用しないでください。
付属の電源コード/ACアダプターを他の機器で使用しないでください。
故障や発火の恐れがあります。

電源コードやACアダプターのコードは、無理に曲げたり、重いものを乗せたり、熱いものを近づけたり、傷つけたりしないでください。
コードが破損し、発火、感電、故障の恐れがあります。

本機を分解、修理、改造しないでください。
発火、感電、故障の恐れがあります。
分解禁止

ACアダプターは分解、修理、改造しないでください。
また熱いものに近づけたり、熱がこもるような使い方をしたりしないでください。
発火、感電、故障の恐れがあります。
分解禁止

電源コードを抜く時は、必ずプラグ部分を持って抜いてください。
コード部分を持って引っ張るとコードが破損し、発火、感電、故障の恐れがあります。

落雷の恐れがある時や長時間使用しない時は、必ず電源コードを抜いてください。
発火、感電、故障の恐れがあります。

電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりを拭き取ってください。
発火、感電、故障の恐れがあります。

水に濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の恐れがあります。
ぬれ手禁止



製品を濡らさないでください。

水につけたり、こぼしたりすると感電、故障の恐れがあります。



異常が起こった時は、すぐに電源スイッチを切り、コンセントから電源コードのプラグを抜いてください。

下記のような場合は、故障している可能性がありますので、使用は控え、電源コードを外したままの状態で弊社修理受付窓口にお問い合わせください。

1 製品の内部に異物が入ってしまった場合
2 水がかかって内部が濡れてしまった場合
3 製品や付属品の一部が異常に熱くなった場合
4 異常な臭いや煙が出た場合　など

お読みください

⚠ 注意

電源コードのプラグは、直ぐに抜くことができる状態にしておいてください。

この機器は、電源スイッチを切った状態でも主電源から完全に遮断されているわけではありません。
完全に遮断するためには、電源プラグを抜いてください。

鍵盤蓋や譜面台やペダルの下などの隙間に体の一部を入れないでください。

挟んだり擦ったりして怪我をする恐れがあります。

製品に乗ったり、ぶら下がったり、押したりしないでください。

製品が倒れたり、壊れたりして怪我をする恐れがあります。

製品の周りで走り回らないでください。

ぶつかって怪我をする恐れがあります。

製品を落としたり、強い衝撃を加えたりしないでください。

怪我をしたり破損したりする恐れがあります。

ヘッドホンは大音量で長時間使用しないでください。

聴力低下の原因になる恐れがあります。

製品や椅子の組み立て時は、組立説明を読んでから作業してください。

正しく組み立てないと落下、破損、怪我の恐れがあります。

製品や椅子の組立ネジはゆるみを定期的に点検し、必要に応じて締めなおしてください。

ゆるんだまま使用すると落下、破損、怪我の恐れがあります。

小さな部品はお子様の手の届かない場所で保管してください。

お子様が誤って飲み込んでしまう恐れがあります。

製品を移動する時は、複数の人で水平に持ち上げて動かしてください。

落として怪我をする恐れがあります。

椅子で遊んだり、踏み台にしたり、2人以上で座ったりしないでください。

怪我をする恐れがあります。

椅子の高さ調節は、椅子から降りて行ってください。

(調節機能付きの場合)椅子が倒れたり、指を挟んだりして怪我をする恐れがあります。

製品使用場所の注意
以下の場所では、製品を使用しないでください。

1 製品がグラグラする不安定な場所
2 水がかかる場所
3 極端に温度の高い、もしくは低い場所
4 極端に湿度の高い、もしくは低い場所
5 窓際など直射日光の当たる場所
6 砂やホコリの多い場所
7 振動の多い場所

はじめに

このたびはKAWAIデジタルピアノをお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
本機を存分にお楽しみいただき、末永くご愛用いただくためにも、本取扱説明書をよくお読みいただき、
保証書と共に大切に保管くださいますようお願いいたします。

■ 取扱説明書について

取扱説明書では、本機をすぐお使いできるよう基本的な演奏ガイドから、様々な機能を使いこなすための操作まで説明しています。
また、付録には組立方法などの資料がございます。

■ 銘板について

機種名、製造番号等の情報は、製品下部の銘板に記載されています。

■ 表記について

- 操作方法を説明する際、[ ]で囲まれた表示はスイッチ、スライダー、ボタン、端子の各名称を表します。
- 指マークは操作するボタンの押す場所を表し、マーク内の番号は操作する順番を表します。

■ お手入れについて

- 本体は乾いた柔らかい布で拭いてください。
- ペダルの表面が汚れた場合、乾いた食器洗い用スポンジで拭くと綺麗になります。ゴールドペダルは、布で拭くとかえって曇ってしまう場合があります。
- ペダルが汚れた場合、サビ落とし用の磨き剤ややすり等は使用しないでください。
- 色落ちや変形の原因となりますので、本機をベンジンやシンナーで拭かないでください。

■ 修理について

万一異常がありましたら直ちに電源スイッチを切り、本機の電源プラグを抜いて、お買い求めいただいた販売店、もしくは修理受付窓口にご連絡ください。弊社修理受付窓口は本取扱説明書の裏表紙に記載してあります。

■ 知的財産権について

- Windowsは、Microsoft Corporationの登録商標です。
- Macは、Apple Inc.の登録商標です。
- “MIDI”は、社団法人音楽電子事業協会（AMEI）の登録商標です。
- Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、株式会社河合楽器製作所はライセンスに基づき使用しています。
- Qualcomm aptXはQualcomm Technologies International, Ltd.の製品です。Qualcommは、Qualcomm Incorporatedの米国ならびに他の国における登録商標であり、許可のもとに使用しています。aptXは、Qualcomm Technologies International, Ltd.の米国ならびに他の国における登録商標であり、許可のもとに使用しています。

Qualcomm® aptX™

- その他、本取扱説明書に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。
- 市販の音楽CDや音楽ファイル、SMFなど、既存の著作物を利用して作られた作品を本機で利用する場合、著作権法上、権利者に無断で個人的に又は家庭内その他これに準ずる範囲を超えて使用することはできませんのでご注意ください。お客様が著作権法に違反する行為を行った場合、当社は一切の責任を負いません。

■ 付属品（お確かめください）

□ 保証書
☑ 取扱説明書（本書）
□ 高低自在椅子
□ スタンド組立説明書
□ 電源コード
□ ACアダプター（PS-242）
□ ヘッドホン
□ ヘッドホンフック
□ クラシカルピアノコレクション（楽譜集）

目次

お読みください

3 **安全上のご注意**
5 **はじめに**
6 **目次**
8 **各部の機能と名称**

準　備

10 **鍵盤蓋を開ける / 閉める**
10 **譜面立てを使う**
10 **アジャスターの調節**
11 **電源を入れる**
12 **音量を調節する / ヘッドホンを使う**

基本編

13 **ホーム画面について**
14 **いろいろな音色で演奏する**
15 **ペダルを使う**
16 **メトロノーム / リズムを使う**
17 **リバーブについて**
19 **エフェクト**
22 **デュアル**
23 **デュアルの設定**
25 **スプリット**
26 **スプリットの設定**
28 **4ハンズ**（連弾演奏）
29 **4ハンズの設定**
31 **レジストレーション機能**
34 **デモソング**
35 **ピアノミュージック**
37 **レッスン**
37 1 練習したい曲を選ぶ
38 2 レッスン曲を聴く
39 3 片手ずつ練習する / テンポを変更する
40 4 区間を指定して練習する
41 5 レッスン曲に合わせて録音する
42 6 指のトレーニング機能を使う
43 **コンサートマジックを楽しむ**
43 1 コンサートマジックとは？
44 2 コンサートマジック曲を演奏する
45 3 コンサートマジック曲を聴く
46 4 コンサートマジック曲の設定
47 **演奏を録音・再生する**
47 1 録音・再生機能について
48 2 本体内部メモリに録音する
49 3-1 本体内部メモリに録音された曲を聴く
50 3-2 本体に録音された曲を聴く —色々な設定
51 3-3 本体に録音した演奏を消去する
52 3-4 本体に録音した演奏を変換する
53 4 USBメモリにオーディオフォーマットで録音する
55 5-1 USBメモリ内の曲を聴く
57 5-2 USBメモリ内の曲を聴く—色々な設定
58 5-3 USBメモリ内の曲を聴きながら演奏を重ねて録音する（オーバーダビング）

応用編

60 **セッティングメニューについて**
61 **ベーシックセッティングについて**
62 **ベーシックセッティング**
62 1 キートランスポーズ
62 2 ソングトランスポーズ
63 3 トーンコントロール
64 4 スピーカーボリューム
64 5 小音量バランス
64 6 チューニング
65 7 ダンパーホールド
65 8 スプリット
65 9 4ハンズ
66 10 スタートアップセッティング
66 11 ファクトリーリセット
67 12 オートディスプレイオフ
68 13 オートパワーオフ
68 14 表示言語

69 **コンサートチューナーについて**
70 **コンサートチューナー / おまかせ設定**
70 おまかせ設定を選ぶ
71 **コンサートチューナー / 詳細設定**
71 詳細設定を選ぶ
72 1-1 タッチカーブ
73 1-2 ユーザータッチカーブの作成
74 2-1 ボイシング
75 2-2 ユーザーボイシング(88鍵ボイシング)
76 3 ダンパーレゾナンス
76 4 ダンパーノイズ
77 5 ストリングレゾナンス
78 6 開放弦レゾナンス
78 7 キャビネットレゾナンス
79 8 キーオフエフェクト
79 9 キーアクションノイズ
80 10 ハンマーノイズ
80 11 ハンマーディレイ
81 12 大屋根開閉
81 13 ディケイタイム
82 14 リリースタイム
82 15 ミニマムタッチ
83 16-1 ストレッチチューニング
84 16-2 ユーザーチューニング(88鍵チューニング)の設定
85 17-1 音律設定
86 17-2 ユーザー音律設定
86 18 音律の主音の設定
87 19-1 88鍵ボリューム
88 19-2 ユーザー88鍵ボリュームを設定する
89 20 ハーフペダルアジャスト
90 21 ソフトペダルデプス
91 **ヘッドホンセッティングについて**
92 **ヘッドホンセッティング**
92 1 スペイシャル・ヘッドホン・サウンド
93 2 ヘッドホンタイプ
93 3 ヘッドホン音量
94 **USBメモリの接続**
95 **USBメニューについて**
96 **USBメニュー**
97 1 ロード ソング
98 2 ロードレジストレーション オール
99 3 ロードレジストレーション シングル
100 4 ロード スタートアップセッティング
101 5 セーブ ソング (内部フォーマット)
102 6 セーブ ソング (SMF)
103 7 セーブレジストレーション オール
104 8 セーブレジストレーション シングル
105 9 セーブ スタートアップセッティング
106 10 リネーム
107 11 デリート
108 12 フォーマット
109 **Bluetooth セッティングについて**
110 **Bluetoothセッティング**
110 1 Bluetoothオーディオ
110 2 オーディオボリューム
110 3 Bluetooth MIDI
111 **パネルロック**

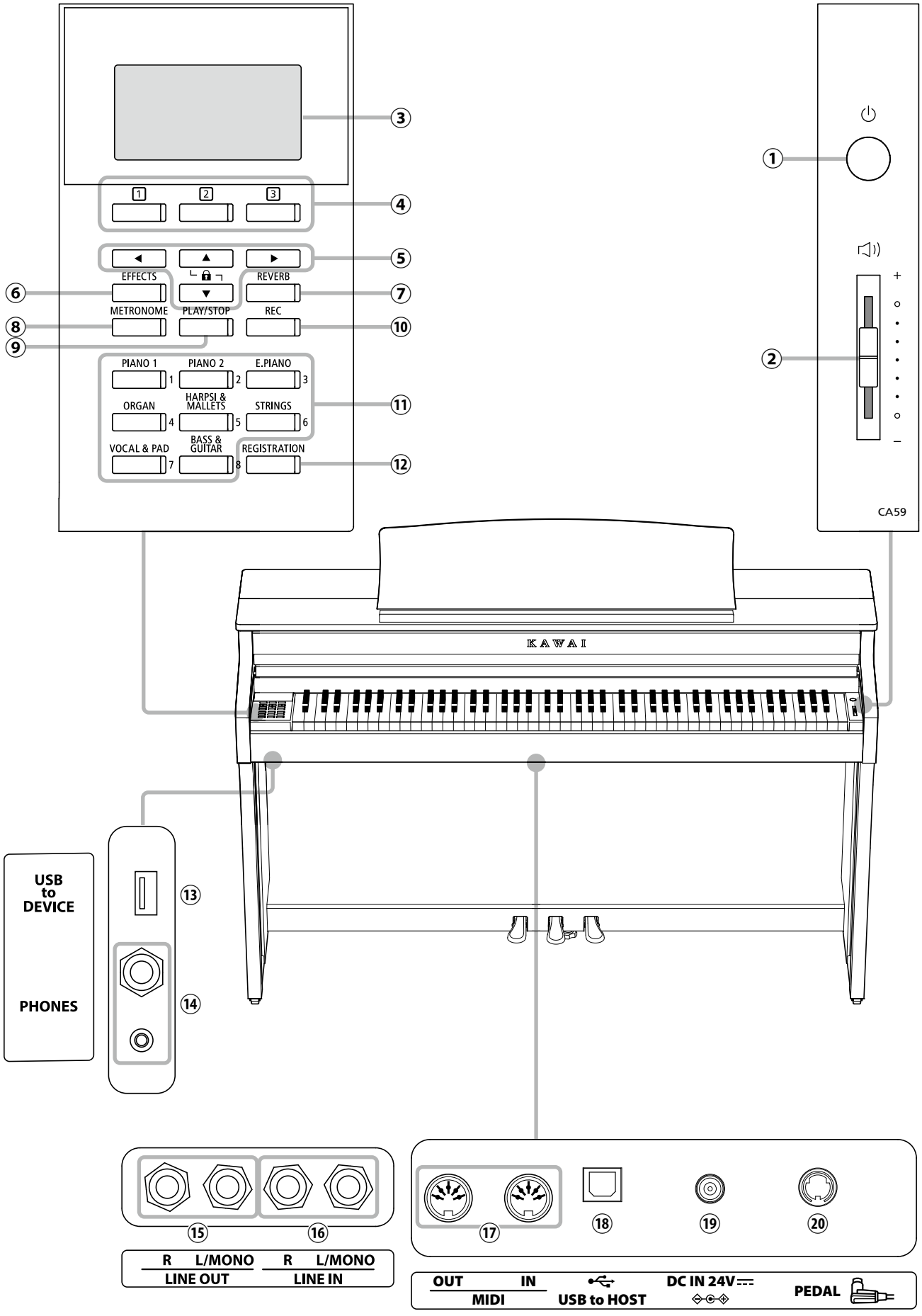
付　録

112 **困ったときは？**
114 **デモソング一覧**
115 **ピアノミュージック/レッスン曲集一覧**
116 **コンサートマジック曲目一覧**
117 **リズム一覧**
118 **音色一覧**
119 **他の機器との接続**
121 **組み立て方**
125 **仕様**

*MIDIに関する詳細情報、および操作に関する説明については下記の弊社ホームページよりPDFマニュアルをダウンロードしてご覧ください。

https://www.kawai.jp/product/ca59/

各部の機能と名称

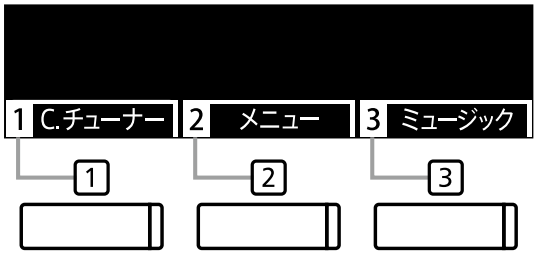

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
EFFECTS
REVERB
METRONOME
PLAY/STOP
REC
PIANO 1
PIANO 2
E.PIANO
ORGAN
HARPSI & MALLETS
STRINGS
VOCAL & PAD
BASS & GUITAR
REGISTRATION
CA59
KAWAI
USB to DEVICE
PHONES
R L/MONO R L/MONO
LINE OUT LINE IN
OUT IN
MIDI
USB to HOST
DC IN 24V
PEDAL

① [POWER]スイッチ
電源をオン / オフするスイッチです。

② [MASTER VOLUME]スライダー
内蔵スピーカーやヘッドホン、ラインアウトから出力される音量を調節します。

③ディスプレイ
機能名や設定値を表示します。

④1 2 3 ボタン
ディスプレイ下部に表示される項目に対応したボタンです。表示内容によって様々な用途に変化します。



⑤十字キー
表示内容を画面単位で前の画面や次の画面へ移動したり、値の変更など様々な場面で使用します。
[UP] [DOWN] [RIGHT] [LEFT]ボタンがあります。

⑥ [EFFECTS]ボタン
エフェクトの選択またはかかり具合やオン / オフを設定します。

⑦ [REVERB]ボタン
リバーブ効果選択、またはオン / オフを設定します。

⑧ [METRONOME]ボタン
メトロノームのオン / オフやテンポ / 拍子 / 音量を設定します。

⑨ [PLAY / STOP]ボタン
内蔵している曲や録音した演奏などを再生 / 停止する際に使用します。

⑩ [REC]ボタン
演奏を録音する際などに使用します。

⑪音色ボタン
音色を選択する際などに使用します。

⑫ [REGISTRATION]ボタン
音色やエフェクト等のパネル設定を記憶させたり、呼び出す際に使用します。

⑬ [USB to DEVICE]端子
USBメモリを接続する端子です。

⑭ [PHONES]端子
ステレオのヘッドホンを接続する端子です。ミニステレオプラグのヘッドホンとステレオ標準プラグのヘッドホンを同時に接続することができます。

⑮ [LINE OUT]端子
本機の音を他の外部機器と接続したり、オーディオ機器などに録音する場合に使用する端子です。

⑯ [LINE IN]端子
他の電子楽器やオーディオ機器などの出力端子と接続し、本機の内蔵スピーカーからそれぞれの機器の音を出力する場合に使用する端子です。

⑰ [MIDI IN / OUT]端子
MIDI規格に対応している楽器と接続する端子です。

⑱ [USB to HOST]端子
市販のUSBケーブルでコンピュータと接続すると、MIDIデバイスとして認識されMIDIメッセージを送受信することができます。

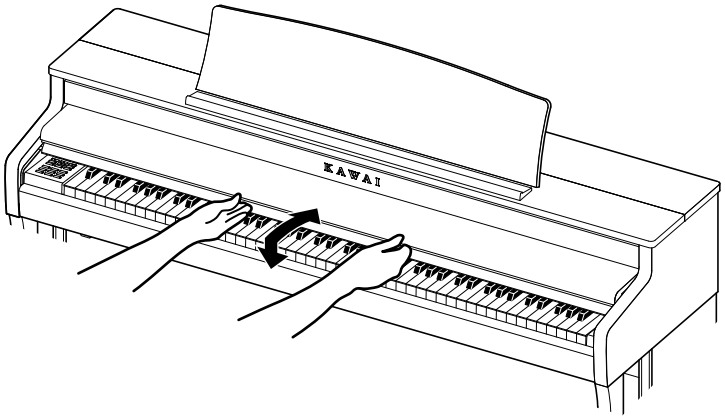
⑲ [DC IN]端子
ACアダプターを接続する端子です。

⑳ [PEDAL]端子
ペダルユニットから出ているペダルケーブルを接続する端子です。

鍵盤蓋を開ける / 閉める

■ 鍵盤蓋を開ける

取っ手を両手で軽く持ち上げ、奥に押し込みます。



■ 鍵盤蓋を閉める

取っ手を両手でゆっくりと手前に引き、下へ静かに降ろします。

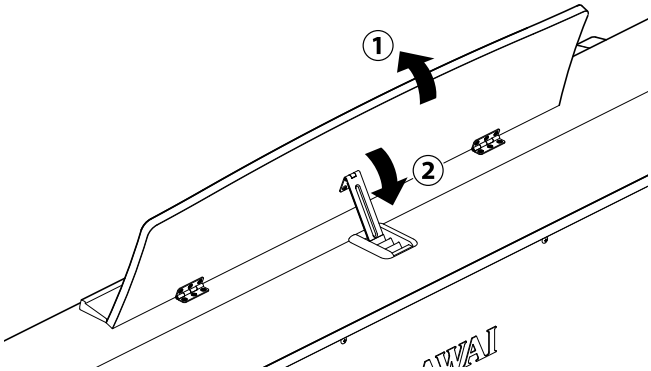
*鍵盤蓋はゆっくり閉めてください。勢いよく閉めると指をはさみ、怪我の原因になります。

準備

譜面立てを使う

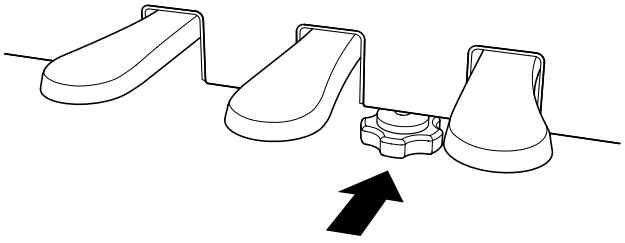
■ 譜面立てを起こす / 角度を調節する

① 譜面立てを手前に起こします。
② 譜面立ての背面の金具を本体上面ホルダーのお好みの場所に固定します。（角度は3段階に調節できます。）



アジャスターの調節

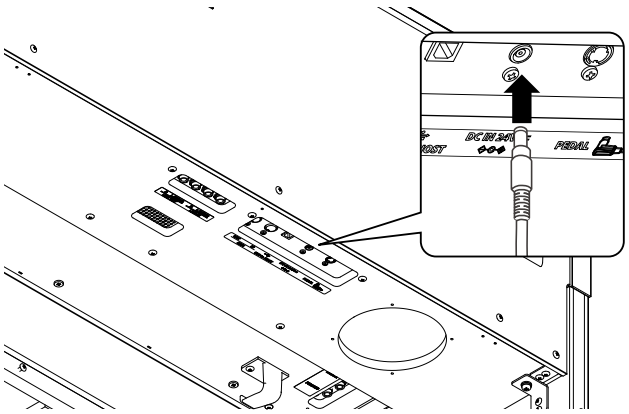
ペダル土台にはアジャスターがついています。アジャスターが浮いた状態で使用すると、ペダル土台が破損する恐れがあります。必ずアジャスターがちょうど床についた状態になるように調節してからご使用ください。



電源を入れる

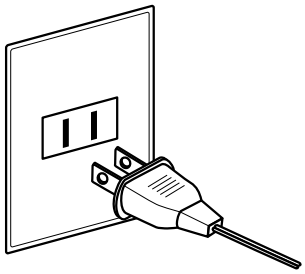
1. ACアダプターを本体に接続する

付属のACアダプターを、本体底面の［DC IN］端子に差し込みます。



2. 電源コードをコンセントに接続する

電源コードをAC100Vのコンセントに差し込みます。

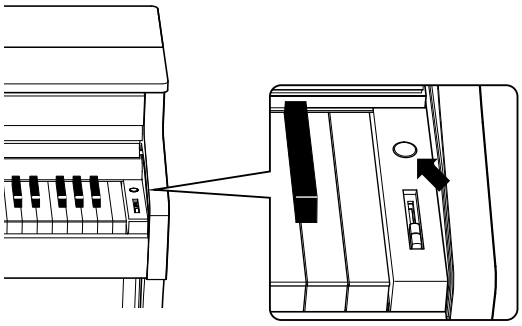


3. 電源を入れる

［POWER］スイッチを押して電源をオンにします。

電源を切るときは、もう一度［POWER］スイッチを押します。
画面の表示が消え、ボタンも消灯します。

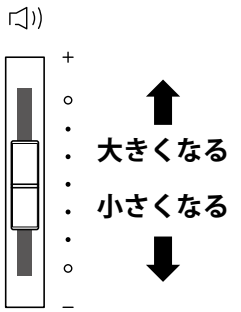
*画面の表示が消えるまで電源コードを抜かないでください。
レコーダーや設定項目等の保存データが消えることがあります。



音量を調節する / ヘッドホンを使う

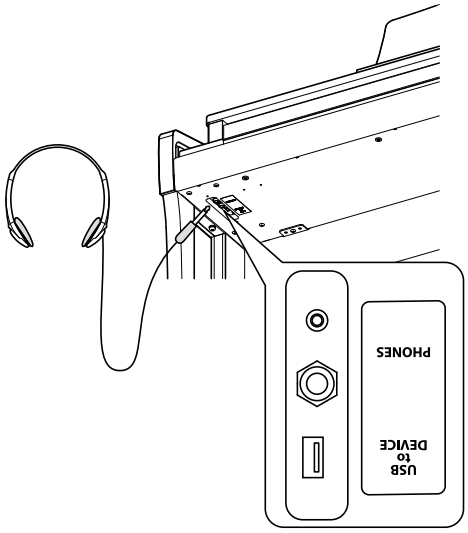
■ 音量を調節する

本体右にある［MASTER VOLUME］スライダーで音量を調節します。上に動かすと音量が大きくなり、下に動かすと小さくなります。
実際に鍵盤を弾いて音を鳴らしながら、音量を調節してください。



■ ヘッドホンを使う

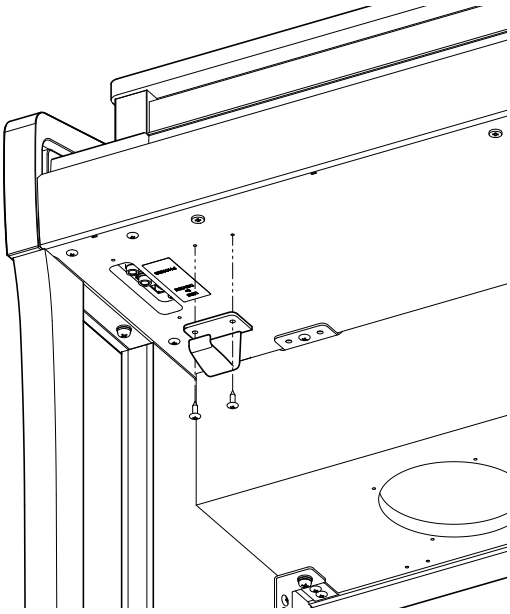
ヘッドホンを本体底面の［PHONES］端子に差し込みます。
ヘッドホンを接続すると、本体スピーカーからは音が出なくなります。



■ ヘッドホンフックを使う

ヘッドホンを使わないときは、ヘッドホンフックにヘッドホンをかけておくことができます。
ヘッドホンフックを使用する場合は図のように取り付けてください。

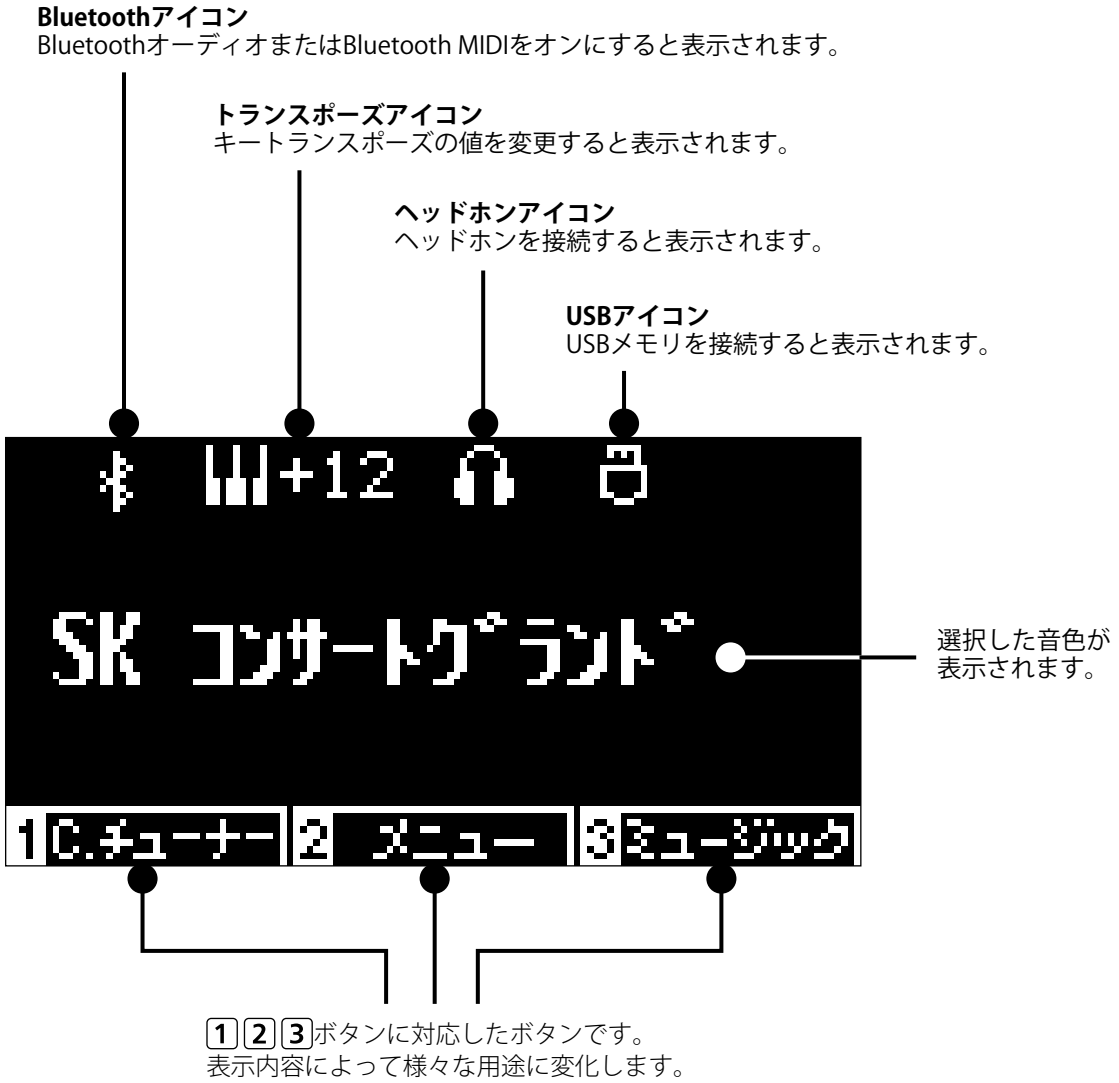
*ヘッドホンフックには、ヘッドホン以外の物をかけないでください。
破損の恐れがあります。



ホーム画面について

電源を入れ、本体を起動したときに最初に表示されるのが「ホーム画面」です。
ホーム画面は操作の起点になる画面で、選択されている音色名やヘッドホンやトランスポーズ、USBメモリの状態が確認できます。操作の途中であっても［3:もどる］ボタンや［3:ホーム］ボタンを数回押せば、ホーム画面に戻ります。

ホーム画面



いろいろな音色で演奏する

本機には多くの音が内蔵されていますので、さまざまな音楽に合わせた音で演奏を楽しむことができます。
この内蔵されている音を「音色」といいます。
音色は8つのグループに分けられており、グループごと音色ボタンに割り当てられています。

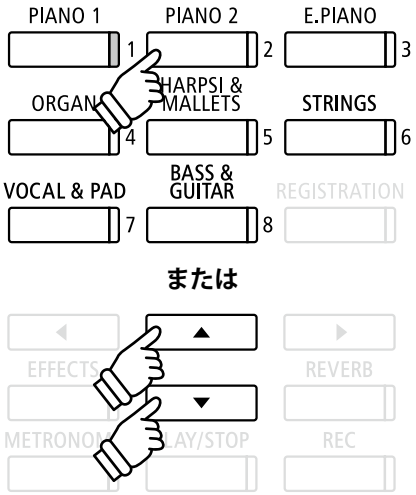
*電源オン時には「PIANO 1 / SKコンサートグランド」の音色が選ばれています。

*音色一覧（P. 118）

1. 音色のグループを変更する

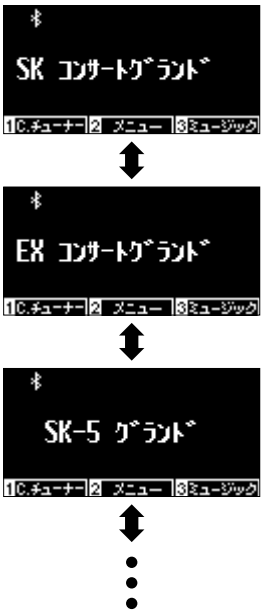
音色ボタンを押す、
または［UP］/［DOWN］ボタンを押して、各音色ボタンに割り振られた音色グループを変更できます。

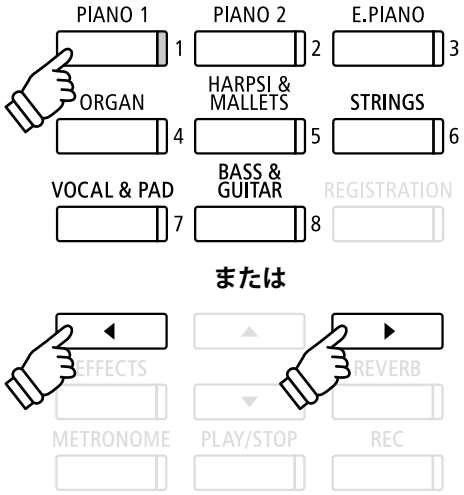
選択した音色ボタンが点灯し、ディスプレイには選択した音色名が表示されます。



2. 音色のバリエーションを変更する

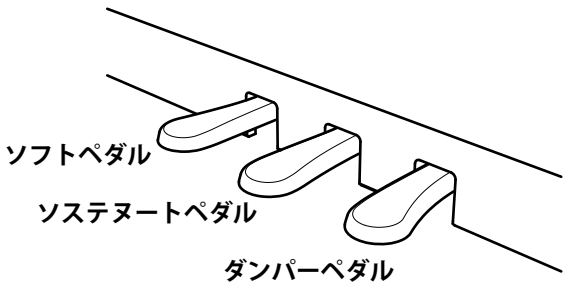
選択されている音色と同じ音色ボタンを押す、
または、［LEFT］/［RIGHT］ボタンを押して、
グループ内の音色のバリエーションを変更できます。





ペダルを使う

ペダルにはダンパーペダル/ソステヌートペダル/ソフトペダルがあります。これらのペダルには次のような効果があります。



■ ダンパーペダル（右のペダル）

このペダルを踏んで演奏すると鍵盤から手を離しても音が切れずに長く響かせることができます。
踏み具合により余韻の長さを調節できます（ハーフペダル対応）。

■ ソフトペダル（左のペダル）

音量がわずかに下がると同時に音の響きがやわらかくなります。エフェクトのロータリーが選択されている場合には踏むたびにスピード（Slow / Fast）を切り替えることができます。

*音色によっては効果がわかりにくいものもあります。

■ ソステヌートペダル（中央のペダル）

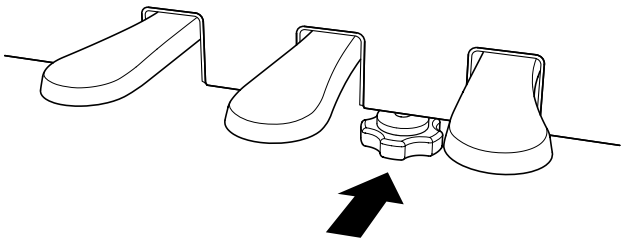
鍵盤を押した後、指を離す前にこのペダルを踏むと、そのとき押さえていた鍵盤の音のみに余韻を与えます。従って、このペダルを踏んだ後に押した別の鍵盤の音は、通常通り発音します。

■ グランド・フィール・ペダル・システムについて

本機のペダルにはグランド・フィール・ペダル・システムが搭載されています。従来のペダルより荷重が重く、3本のペダルそれぞれがよりグランドピアノEXに近い踏み心地となっています。

■ アジャスターについて

アジャスターが浮いた状態で使用すると、ペダル土台が破損する恐れがあります。必ずアジャスターがちょうど床についた状態になるように調整してからご使用ください。



メトロノーム / リズムを使う

メトロノームを鳴らしてテンポを正しく練習したり、曲にあったリズムを加えて演奏を楽しむことができます。通常のメトロノーム音による拍子の他、ドラム音色によるポップス/ ロック/ バラード/ ジャズなど多彩なリズムを内蔵しています。

* リズム一覧(P. 117)

■ メトロノームのオン / オフ

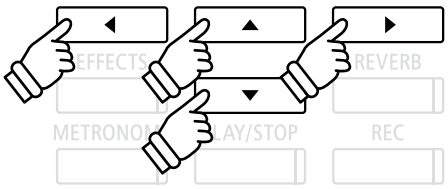
[METRONOME]ボタンを押します。
[METRONOME]ボタンが点灯し、メトロノームが発音します。
再度[METRONOME] ボタンを押すとメトロノームが止まり、
[METRONOME]ボタンが消灯します。





■ メトロノームの設定

[METRONOME]ボタンを長押しすると、メトロノームの設定画面が表示されます。
[UP]/[DOWN]ボタンで設定する項目を選択し、
[LEFT]/[RIGHT]ボタンで設定を変更します。





項目	説明
テンポ	テンポの値は10 ～ 400の範囲で設定できます。 (3/8、6/8、7/8、9/8、12/8拍子のときは、20 ～ 800) 値は1分間の拍数を表しています。
ビート / リズム	ビート(拍子)は1/4, 2/4, 3/4, 4/4, 5/4,3/8, 6/8, 7/8, 9/8, 12/8より選択できます。 リズムは100種類より選択できます。 * リズム一覧(P. 117) * ビート12/8で[RIGHT]ボタンを押すとリズムの最初の8ビート 1になります。
ボリューム	メトロノームの音量を調節します。 ボリュームは値を1 ～ 10の範囲で設定できます。

[LEFT]/[RIGHT]ボタンを同時に押すと、設定した値を初期設定に戻すことができます。
[3:ホーム]ボタンを押すと、ホーム画面に戻ります。

リバーブについて

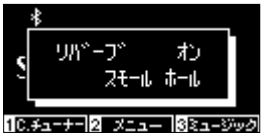
リバーブを加えると、音に残響効果が加わりコンサートホールで演奏しているような深みのある美しい響きが得られます。各音色はあらかじめ最適なリバーブが設定されています。

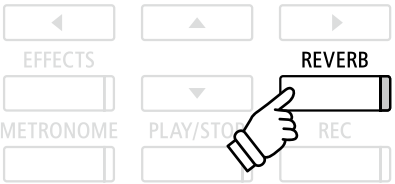
■ リバーブのタイプ

タイプ	効果
ルーム	室内での残響を再現した効果です。
ラウンジ	ラウンジでの残響を再現した効果です。
スモールホール	小ホールでの残響を再現した効果です。
コンサートホール	クラシック向け大ホールでの残響を再現した効果です。
ライブホール	ライブ向け大ホールでの残響を再現した効果です。
カテドラル	大聖堂での残響を再現した効果です。

■ リバーブのオン / オフ

[REVERB]ボタンを押して、[REVERB]ボタンが点灯すると、リバーブ効果がかかります。画面には選択されているリバーブのタイプが表示されます。
再度[REVERB]ボタンを押すとリバーブ効果は解除され、[REVERB]ボタンが消灯します。

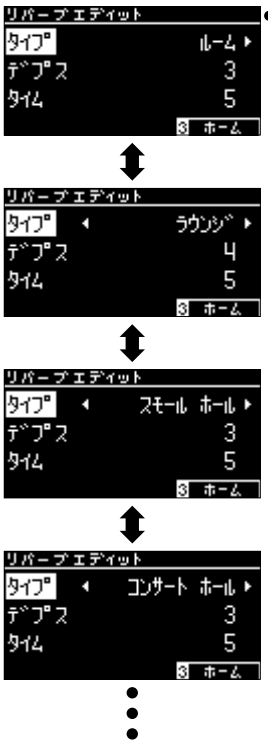




■ リバーブの変更

[REVERB]ボタンを長押しするとリバーブエディット画面が表示され、[LEFT]/[RIGHT]ボタンを押してリバーブのタイプを変更できます。
[3:ホーム]ボタンを押すとホーム画面に戻ります。
[LEFT]/[RIGHT]ボタンを同時に押すと、初期設定の値に戻ります。





リバーブエディット画面

リバーブについて

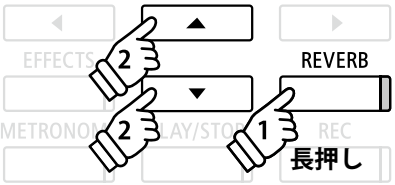
■ リバーブのかかり具合を変更する

各リバーブはかかり具合を変更することができます。変更できる項目と効果は以下のとおりです。

項目	効果（数字を大きくした場合）
デプス	かかり具合が大きくなります。
タイム	効果時間が長くなります。

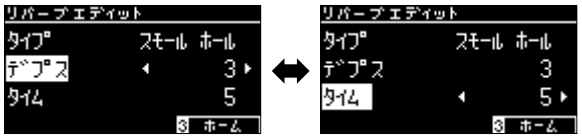
1. リバーブエディットに入る

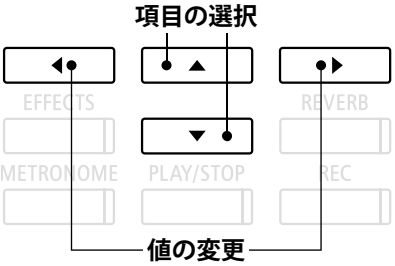
［REVERB］ボタンを長押しして、リバーブエディット画面を表示させます。［UP］/［DOWN］ボタンを押して変更したい項目を選択します。



2. かかり具合を変える

［LEFT］/［RIGHT］ボタンを押して選択されている項目のかかり具合を変更できます。





* ［LEFT］/［RIGHT］ボタンを同時に押すと、初期設定に戻ります。

3. リバーブエディットを終了する

［3:ホーム］ボタンを押すとリバーブエディットを終了し、ホーム画面に戻ります。

エフェクト

リバーブ以外にも音にさまざまな効果を加えることができます。このような効果を「エフェクト」といい、本機では24種類のエフェクトを用意しています。

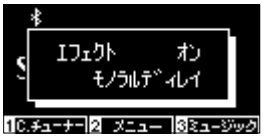
■ エフェクトのタイプ

タイプ	効果
モノラルディレイ	音に山びこのような反響音を加える効果です。
ピンポンディレイ	音が左右交互に反響する効果です。
トリプルディレイ	音が中央、右、左の順に反響する効果です。
コーラス	原音にピッチのゆらぎを持つ音をあわせることにより、音に広がりを加える効果です。
クラシックコーラス	往年のコーラスをデジタル信号処理により再現した効果です。
アンサンブル	3相のコーラスにより、音に豊かさを与える効果です。
トレモロ	音量にゆらぎを与える効果です。
クラシックトレモロ	往年のトレモロをデジタル信号処理により再現した効果です。
ビブラートトレモロ	トレモロにビブラートを加えた効果です。
トレモロ+アンプ	アンプによる音の変化を再現し、トレモロと組み合わせた効果です。
オートパン	音の聞こえる位置を周期的に変化させる効果です。
クラシックオートパン	往年のオートパンをデジタル信号処理により再現した効果です。
オートパン+アンプ	アンプによる音の変化を再現し、オートパンと組み合わせた効果です。
フェイザー+オートパン	フェイザーにオートパンを加えた効果です。
フェイザー	原音に位相のずれた音をあわせることにより、音を飛び回らせる効果です。
クラシックフェイザー	往年のフェイザーをデジタル信号処理により再現した効果です。
フェイザー+アンプ	アンプによる音の変化を再現し、フェイザーと組み合わせた効果です。
フェイザー+コーラス	フェイザーにコーラスを加えた効果です。
ロータリー1	ロータリー(回転式)スピーカーによる音の変化を再現した効果です。 ソフトペダル(左のペダル)を踏むことによって回転の速さを切り換えることができます。
ロータリー2	ロータリー1に少しの歪を加えた効果です。
ロータリー3	ロータリー2にさらに歪を加えた効果です。
ロータリー4	ロータリー1にコーラスを加えた効果です。
ロータリー5	ロータリー2にコーラスを加えた効果です。
ロータリー6	ロータリー3にコーラスを加えた効果です。

■ エフェクトのオン / オフ

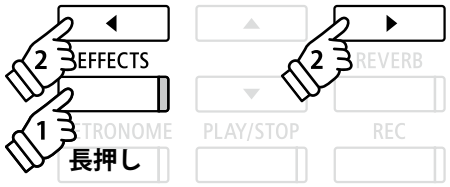
[EFFECTS]ボタンを押します。
[EFFECTS]ボタンが点灯し、エフェクト効果がかかります。画面には現在選択されているエフェクトのタイプが表示されます。
再度[EFFECTS]ボタンを押すとエフェクト効果は解除され、[EFFECTS]ボタンが消灯します。
また初期設定で音色ごとにエフェクトのタイプが設定されています。





■ エフェクトの変更

[EFFECTS]ボタンを長押しするとエフェクトエディット画面が表示されます。
[UP]/[DOWN]ボタンを押して「タイプ」を選択し、
[LEFT]/[RIGHT]ボタンを押してエフェクトのタイプを変更できます。
[3:ホーム]ボタンを押すとホーム画面に戻ります。
[LEFT]/[RIGHT]ボタンを同時に押すと、初期設定の値に戻ります。



エフェクトエディット画面



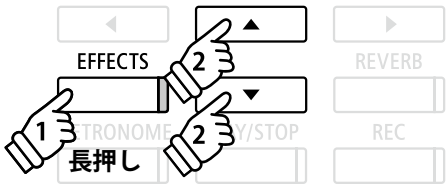
■ エフェクトのかかり具合を変更する

各エフェクトはかかり具合を変更することができます。変更できる項目と効果は以下のとおりです。

タイプ	項目	効果(数字を大きくした場合)
ディレイ3種	エフェクトレベル	かかり具合が深くなります。
	タイム	反響音の間隔が長くなります。
コーラス、アンサンブル	エフェクトレベル	かかり具合が深くなります。
	スピード	ゆらぎのスピードが速くなります。
クラシックコーラス	モノラル/ステレオ	音の広がりが増します。
	スピード	ゆらぎのスピードが速くなります。
トレモロ3種、	エフェクトレベル	かかり具合が深くなります。
オートパン2種、フェイザー2種	スピード	ゆらぎやうねりのスピードが速くなります。
ロータリー6種	アクセルスピード	遅い方↔速い方へ変化する際のスピードが速くなります。
	ロータリースピード	速い方のスピードが増します。
[エフェクト]+[エフェクト]	エフェクトレベル	かかり具合が深くなります。
[エフェクト]+アンプ	スピード	ゆらぎやうねりのスピードが速くなります。

1. エフェクトエディットに入る

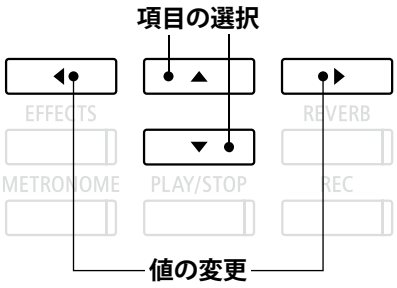
[EFFECTS]ボタンを長押しして、エフェクトエディット画面を表示させます。[UP]/[DOWN]ボタンを押して変更したい項目を選択します。



2. かかり具合を変える

[LEFT]/[RIGHT]ボタンを押すと選択されている項目のかかり具合を変更できます。





* [LEFT]/[RIGHT]ボタンを同時に押すと、設定を初期設定の値に戻すことができます。

3. エフェクトエディットを終了する

[3:ホーム]ボタンを押すとエフェクトエディットを終了し、ホーム画面に戻ります。

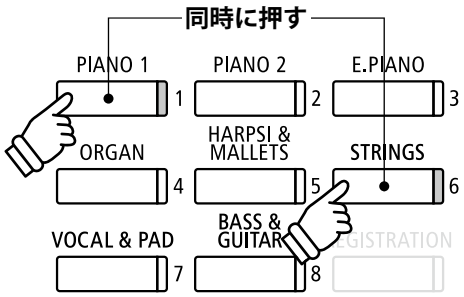
デュアル

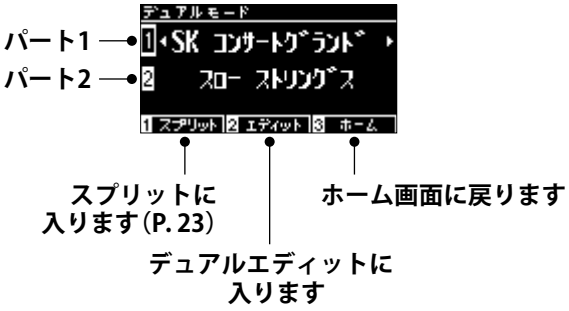
デュアルは2つの音色を重ね合わせる機能で、この機能により音楽表現の幅を広げることができます。

■ デュアルに入る

重ね合わせる2つの音色ボタンを同時に押すとその音色ボタンが点灯し、ディスプレイに音色名が表示されます。（先に押した音色がディスプレイの1行目に表示され、パート1になります。）

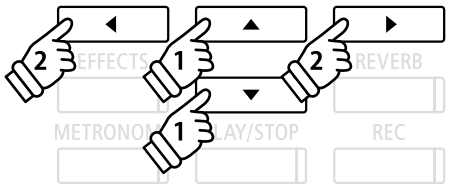
例えば、[PIANO1]と[STRINGS]の音を重ね合わせるとき、図の様に[PIANO1]ボタンと[STRINGS]ボタンを同時に押します。





■ 音色を選ぶ

[UP]/[DOWN]ボタンを押すと、音色を変更できるパートが切り替わります。
[LEFT]/[RIGHT]ボタンを押すと、選択したパートの音色が変更されます。



*色が反転しているパートを変更できます。
*音色は音色一覧（P. 118）に記載されている順に変更されます。

■ デュアルを終了する

音色ボタンのいずれか1つを押す、または[3:ホーム]ボタンを押して、デュアルを終了します。

デュアルの設定

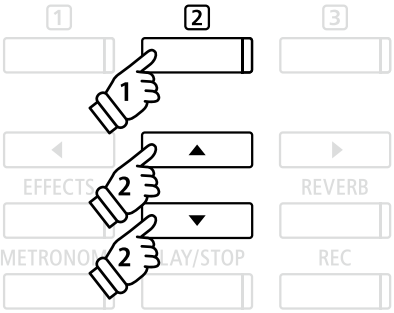
デュアルでは下記の設定を行うことができます。

項目	初期設定	説明
バランス	9-9	2つの音色の音量バランスを調節します。
2オクターブ （レイヤーオクターブシフト）	0	デュアルにおいて、パート2の音域をオクターブ単位で移動します。例えば「SKコンサートグランド」と「ストリングアンサンブル」をデュアルで重ねて演奏するときに、「ストリングアンサンブル」の音色だけをオクターブ上げて（あるいは下げて）演奏することができます。
2ダイナミクス （レイヤーダイナミクス）	10	デュアルにおいて、パート2のタッチ変化の仕方を調整します。例えば、「SKコンサートグランド」と「ストリングアンサンブル」をデュアルで重ねて演奏するときに「ストリングアンサンブル」のタッチ変化の度合いを少なくすることにより、ダイナミックなピアノ音色をより強調した演奏をすることができます。

■ デュアルエディットに入る

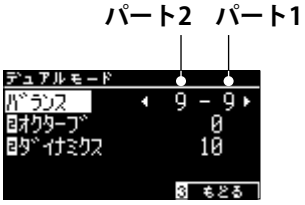
デュアル画面で［2:エディット］ボタンを押して、
デュアルエディットに入ります。
［UP］/［DOWN］ボタンを押して変更する項目を選択します。



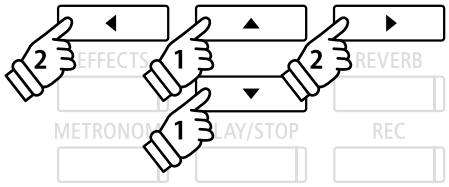


■ バランスを調節する

［UP］/［DOWN］ボタンで「バランス」を選びます。
［LEFT］/［RIGHT］ボタンで2つの音色の音量バランスを調節できます。

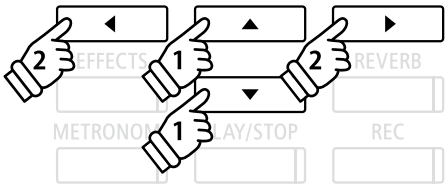


［LEFT］/［RIGHT］ボタンを同時に押すと、音量バランスは初期設定の9-9に戻ります。



デュアルの設定

■ 2オクターブ（レイヤーオクターブシフト）を調節する



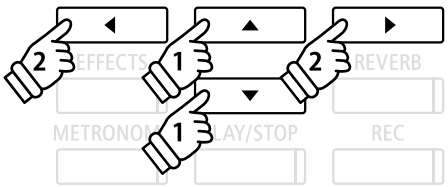
[UP]/[DOWN]ボタンを押して「2オクターブ」を選びます。
[LEFT]/[RIGHT]ボタンを押してオクターブ値を「−2 〜 +2」の間で調節できます。



[LEFT]/[RIGHT]ボタンを同時に押すと、初期設定の0に戻ります。

*−にするとオクターブが下がります。
*デュアルで 2 と表示されている音色のオクターブがかわります。
*音色によっては高音域の音が設定したオクターブまで上がらない場合があります。

■ 2ダイナミクス（レイヤーダイナミクス）を調節する



[UP]/[DOWN]ボタンを押して「2ダイナミクス」を選びます。
[LEFT]/[RIGHT]ボタンを押してダイナミクス値を「1 〜 10」の間で調節できます。



[LEFT]/[RIGHT]ボタンを同時に押すと、初期設定の10に戻ります。

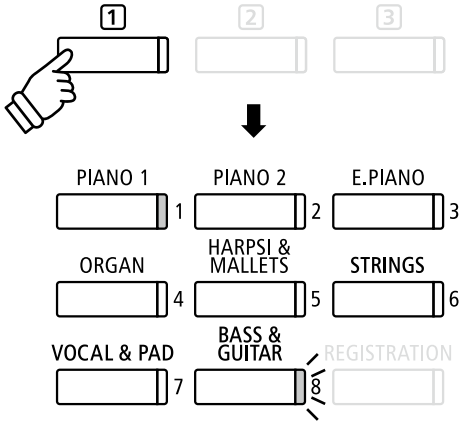
*数字が小さいほどタッチ変化の幅が小さくなります。
*デュアルで 2 と表示されている音色のタッチ変化を調節します。
*10は単独で演奏した場合と同じダイナミクスになります。

スプリット

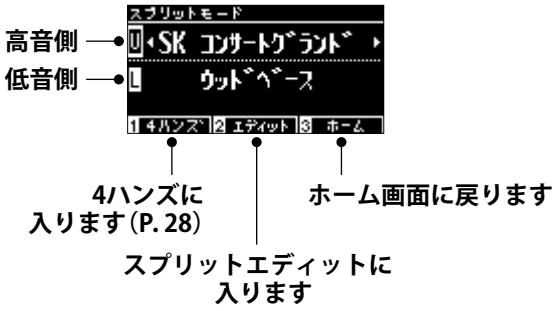
スプリットとは鍵盤を左右2つに分け、別々の音色を設定し演奏をすることです。
鍵盤が分かれる位置を「スプリットポイント」といい、初期設定ではスプリットポイントはC4（ド）に設定されています。

■ スプリットに入る

デュアルで［1:スプリット］ボタンを押してスプリットに入ります。音色ボタンの中で点灯しているボタンと点滅しているボタンがあります。点灯している音色ボタンは高音側の音色、点滅している音色ボタンは低音側の音色を表します。

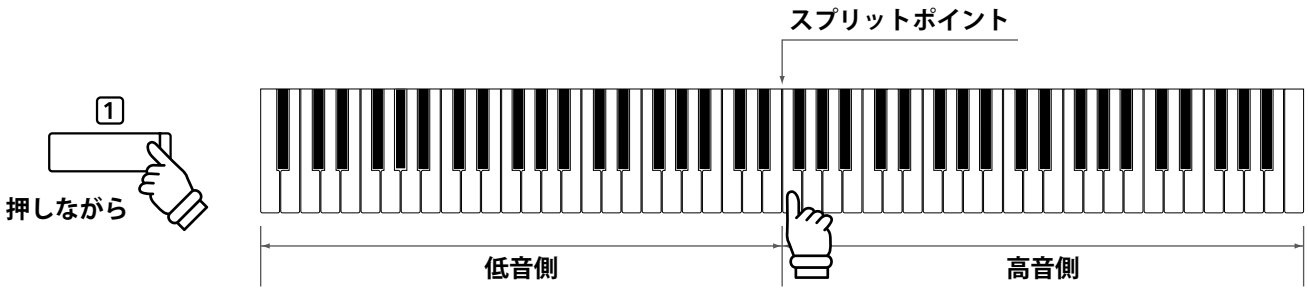


*低音側の音色は初期設定でウッドベースが選択されます。



■ スプリットポイントの変更

スプリットポイントを変更したい場合は、［1:4ハンズ］ボタンを押しながら鍵盤を押します。
押した鍵盤が高音側の最低音になります。



■ 高音側・低音側の音色変更

高音側の音色は、音色ボタンを押して変更します。
低音側の音色は、［1:4ハンズ］ボタンを押しながら音色ボタンを押して変更します。
また、［LEFT］/［RIGHT］ボタンを押すと、音色のバリエーションを変更できます。

*選択されているパートの色が反転します。

■ スプリットを終了する

［3:ホーム］ボタンを押してスプリットを終了します。

スプリットの設定

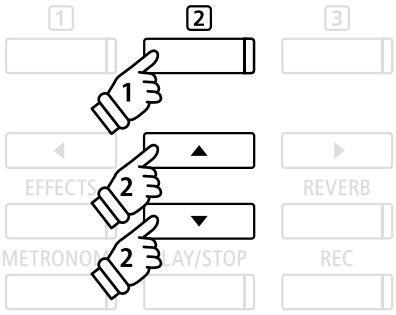
スプリットでは下記の設定を行うことができます。

項目	初期設定	説明
バランス	9-9	2つの音色の音量バランスを調節します。
Lオクターブ（ロワーオクターブシフト）	0	スプリット時に低音側鍵盤の音域をオクターブ単位で移動します。
Lペダル（ロワーペダル）	オフ	スプリット時にペダルを使用した際、低音側鍵盤の音にペダル機能のオン / オフを設定します。 高音側鍵盤のペダル機能は常にオンとなります。
スプリットポイント	C4	スプリットポイントを設定します。

■ スプリットエディットに入る

スプリット画面で[2:エディット]ボタンを押してスプリットエディットに入ります。
[UP]/[DOWN]ボタンを押して変更する項目を選択します。

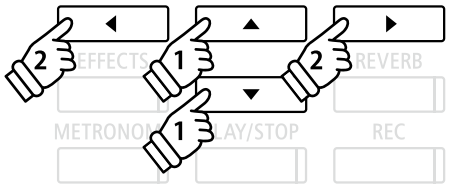




■ バランスを調節する

[UP]/[DOWN]ボタンで「バランス」を選びます。
[LEFT]/[RIGHT]ボタンで2つの音色の音量バランスを調節できます。





[LEFT]/[RIGHT]ボタンを同時に押すと、初期設定の9-9に戻ります。

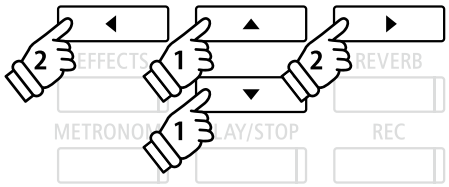
■ Lオクターブ(ロワーオクターブシフト)を調節する

[UP]/[DOWN]ボタンを押して「Lオクターブ」を選びます。
[LEFT]/[RIGHT]ボタンを押してオクターブ値を「0 ～ +3」の間で調節できます。



[LEFT]/[RIGHT]ボタンを同時に押すと、初期設定の0に戻ります。

*スプリットでLと表示されている音色のオクターブがかわります。



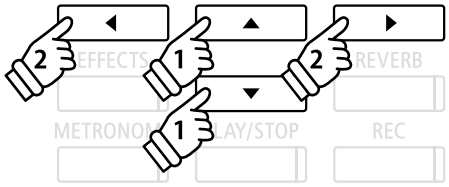
■ Lペダル(ロワーペダル)のオン / オフを設定する

[UP]/[DOWN]ボタンを押して「Lペダル」を選びます。
[LEFT]/[RIGHT]ボタンを押してオン / オフを設定できます。



[LEFT]/[RIGHT]ボタンを同時に押すと、初期設定のオフに戻ります。

*オンにすると、ペダルを踏んで演奏したときに低音側鍵盤の音にもペダル機能が働きます。オフにすると、低音側鍵盤の音にはペダル機能が働かず、高音側鍵盤の音にのみペダル機能が働きます。



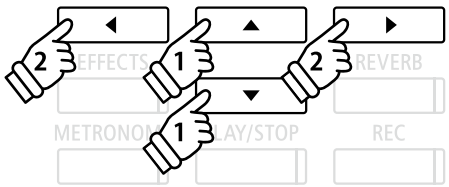
■ スプリットポイントを変更する

[UP]/[DOWN]ボタンを押して「スプリットポイント」を選びます。
[LEFT]/[RIGHT]ボタンを押してスプリットポイントを「A0～ C#8」の間で設定できます。



[LEFT]/[RIGHT]ボタンを同時に押すと、スプリットポイントは初期設定のC4に戻ります。

*スプリットポイントに設定された鍵盤が、高音側の最低音になります。



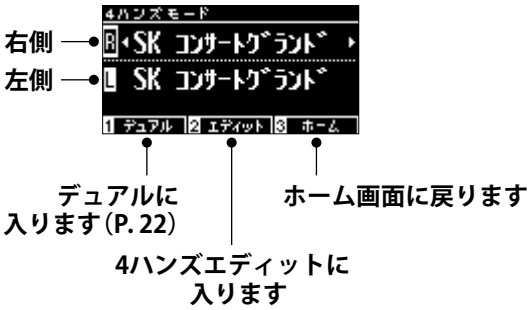
4ハンズ（連弾演奏）

4ハンズでは、鍵盤中央のファ（F4）で左右に分け、それぞれ同じ音域で演奏することができます。このときダンパーペダル（右ペダル）は右側の鍵盤のダンパーペダルとして、ソフトペダル（左ペダル）は左側の鍵盤のダンパーペダルとして動作しますので、2台のピアノのように使うことができます。

■ 4ハンズに入る

スプリットで［1:4ハンズ］ボタンを押して4ハンズに入ります。
ディスプレイ上段に右側の音色、下段に左側の音色が表示されます。





*電源オン時は両方ともSKコンサートグランドに設定されています。

*通常の演奏時に対して、右側の鍵盤の音程は2オクターブ下がり、左側の鍵盤の音程は2オクターブ上がります。

*左側の音色ボタンが点滅し、右側の音色ボタンが点灯します。

■ スプリットポイントの変更

スプリットポイントを変更したい場合は、［1:デュアル］ボタンを押しながら鍵盤を押します。
押した鍵盤が右側の最低音になります。

■ 右側・左側の音色変更

右側の音色は、音色ボタンを押して変更します。
左側の音色は、［1:デュアル］ボタンを押しながら音色ボタンを押して変更します。
また、［LEFT］/［RIGHT］ボタンを押すと、音色のバリエーションを変更できます。

*選択されているパートの色が反転します。

■ 4ハンズを終了する

［3:ホーム］ボタンを押して4ハンズを終了します。

*スプリットと4ハンズの各設定は、それぞれ個別に設定されます。

4ハンズの設定

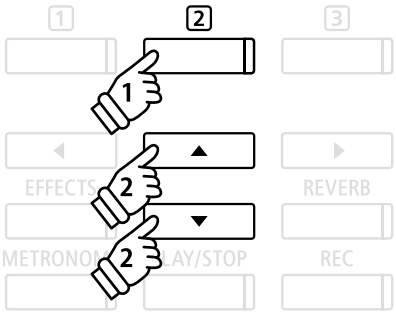
4ハンズでは下記の設定を行うことができます。

項目	初期設定	説明
バランス	9-9	2つの音色の音量バランスを調節します。
Rオクターブ（ライトオクターブシフト）	-2	高音側鍵盤の音域をオクターブ単位で移動します。
Lオクターブ（レフトオクターブシフト）	+2	低音側鍵盤の音域をオクターブ単位で移動します。
スプリットポイント	F4	スプリットポイントを設定します。

■ 4ハンズエディットに入る

4ハンズ画面で[2:エディット]ボタンを押して、4ハンズエディットに入ります。
[UP]/[DOWN]ボタンを押して変更したい項目を選択します。

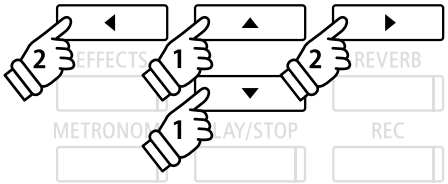




■ バランスを調節する

[UP]/[DOWN]ボタンを押して「バランス」を選びます。
[LEFT]/[RIGHT]ボタンを押して2つの音色の音量バランスを調節できます。



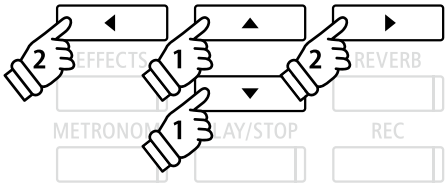


[LEFT]/[RIGHT]ボタンを同時に押すと、初期設定の9-9に戻ります。

■ Rオクターブ（ライトオクターブシフト）を設定する

[UP]/[DOWN]ボタンを押して「Rオクターブ」を選びます。
[LEFT]/[RIGHT]ボタンを押してオクターブ値を「-3 ～ 0」の間で設定できます。





[LEFT]/[RIGHT]ボタンを同時に押すと、初期設定の-2に戻ります。

*4ハンズでRと表示されている音色のオクターブがかわります。

4ハンズの設定

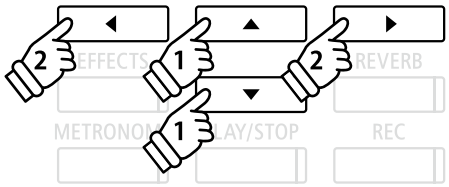
■ Lオクターブ(レフトオクターブシフト)を設定する

[UP]/[DOWN]ボタンを押して「Lオクターブ」を選びます。
[LEFT]/[RIGHT]ボタンを押してオクターブ値を「0 ～ +3」の間で設定できます。



[LEFT]/[RIGHT]ボタンを同時に押すと、初期設定の+2に戻ります。

*4ハンズでLと表示されている音色のオクターブがかわります。



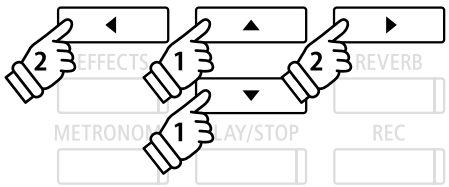
■ スプリットポイントを変更する

[UP]/[DOWN]ボタンを押して「スプリットポイント」を選びます。
[LEFT]/[RIGHT]ボタンを押してスプリットポイントを「A0～ C#8」の間で変更できます。



[LEFT]/[RIGHT]ボタンを同時に押すと、スプリットポイントは初期設定のF4に戻ります。

*スプリットポイントに設定された鍵盤が、高音側の最低音になります。



レジストレーション機能

レジストレーション機能とは音色やエフェクト等のパネル上の設定をあらかじめ記憶する機能です。この機能を使用することで、お好みの設定を簡単に呼び出して使うことができます。
レジストレーション機能は以下の設定を記憶できます。

* 各設定の記憶を「レジストレーション」とよびます。

通常設定
音色（デュアル・スプリットの音色設定を含む）
リバーブ、エフェクト

コンサートチューナー（P. 69）
タッチカーブ
ボイシング
ダンパーレゾナンス
ダンパーノイズ
ストリングレゾナンス
開放弦レゾナンス
キャビネットレゾナンス
キーオフエフェクト
キーアクションノイズ
ハンマーノイズ
ハンマーディレイ
大屋根開閉
ディケイタイム
リリースタイム
ミニマムタッチ
ストレッチチューニング
音律設定
音律の主音
88鍵ボリューム
ハーフペダルアジャスト
ソフトペダルデプス

ベーシックセッティング（P. 61）
チューニング
トーンコントロール
ダンパーホールド

デュアル設定（P. 23）
バランス
レイヤーオクターブシフト
レイヤーダイナミクス

スプリット設定（P. 26）
バランス
ロワーオクターブシフト
ロワーペダルのオン / オフ
スプリットポイント

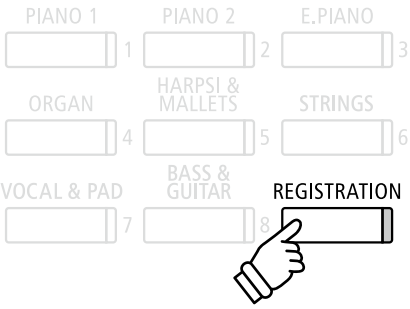
4ハンズ設定（P. 29）
バランス
ライトオクターブシフト
レフトオクターブシフト
スプリットポイント

MIDIセッティング
MIDI送受信チャンネル
ローカルコントロール
プログラムナンバー送信のオン / オフ
マルチティンバーモード
チャンネルミュート

■ レジストレーションを呼び出す

［REGISTRATION］ボタンを押します。
あらかじめ記憶させたレジストレーションが呼び出され、ディスプレイには設定されたレジストレーション名が表示されます。

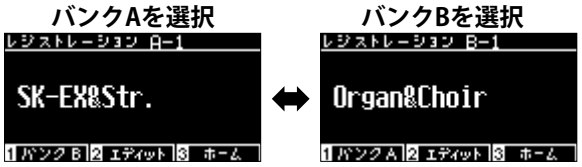
再度［REGISTRATION］ボタンを押すと通常の演奏状態に戻ります。



■ バンクを選択する

[REGISTRATION]ボタンを押してレジストレーション選択画面を表示します。
2つのバンクA、Bがあり、A1～A8、B1～B8の計16個の設定を記憶させることができます。[1]ボタンを押すとバンクAとバンクBを切り替えることができます。

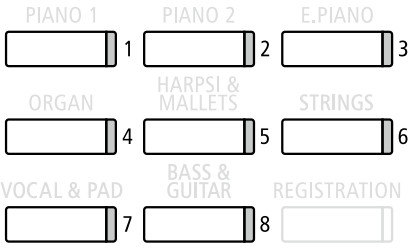




*REC中はバンクを選ぶことはできません。

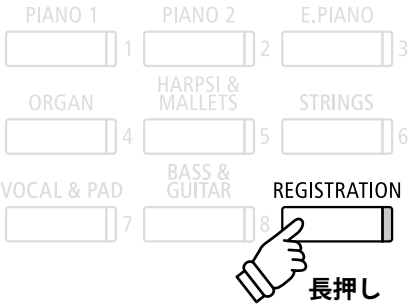
■ 番号に割り当てられたレジストレーションを呼び出す

レジストレーション選択ボタン1 ～ 8のいずれかを押すと、
その番号に割り当てられたレジストレーションを呼び出すことができます。



■ レジストレーションに記憶させる

[REGISTRATION]ボタンを長押しすると、レジストレーション選択ボタン1～8が点滅します。
[1:バンクA]もしくは[2:バンクB]を押して、記憶させたいバンクを選びます。
設定を記憶させたい番号のレジストレーション選択ボタンを押します。





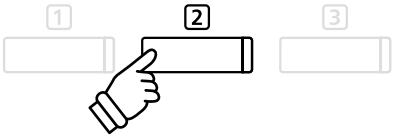
[LEFT]/[RIGHT]ボタンを押してカーソルを動かし、
[UP]/[DOWN]ボタンでアルファベットを変更し、
レジストレーションに名前を付けます。
[2:セーブ]ボタンを押すと「ピー」という音が鳴り、
レジストレーションに設定が記憶されます。



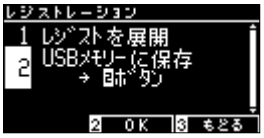
■ 選択されているレジストレーションをUSBメモリに保存する

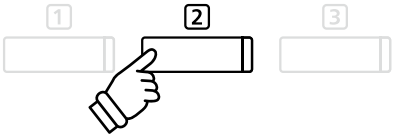
［REGISTRATION］ボタンを押したあと、［2:エディット］ボタンを押して、レジストレーションエディットに入ります。





［UP］/［DOWN］ボタンを押して「2 USBメモリに保存」を選択し、［2:OK］ボタンを押すとUSBにレジストレーションを保存する画面に移ります。





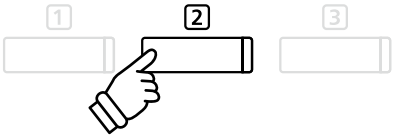
*その後の操作は、USB MENU セーブレジストレーション シングル（P. 104）を参照してください。

■ 選択したレジストレーションの内容を確認、編集する

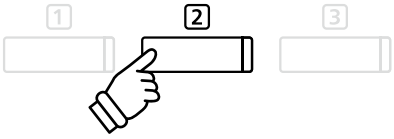
選択されたレジストレーションの内容を確認したり、
編集したりするには、レジストレーションの内容を展開する必要があります。

［REGISTRATION］が選択された状態において［2:エディット］ボタンを押してレジストレーションエディットに入ります。





「1:レジストを展開」を選択し、［2:OK］ボタンを押します。



レジストレーションの内容を保持したまま、通常の演奏状態に戻りますので、音色やリバーブなどの設定を確認、編集することができます。

■ レジストレーションを初期状態に戻す

電源を一度切り、［REGISTRATION］ボタンと［REC］ボタンを押しながら再度電源を入れると、レジストレーションの設定を購入時の状態に戻すことができます。

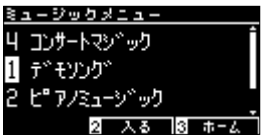
デモソング

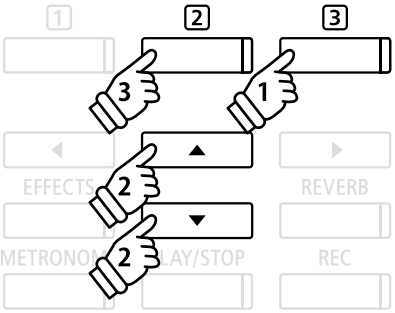
本機は各音色ボタンごとにデモソングを内蔵しています。それぞれの音色にあったデモソングをお楽しみください。

*デモソング一覧(P. 114)

1. デモソングに入る / 再生する

ホーム画面で[3:ミュージック]ボタンを押してミュージックメニューに入り、[UP]/[DOWN]ボタンを押して「デモソング」を選択します。[2:入る]ボタンを押すと、デモソングが再生されます。



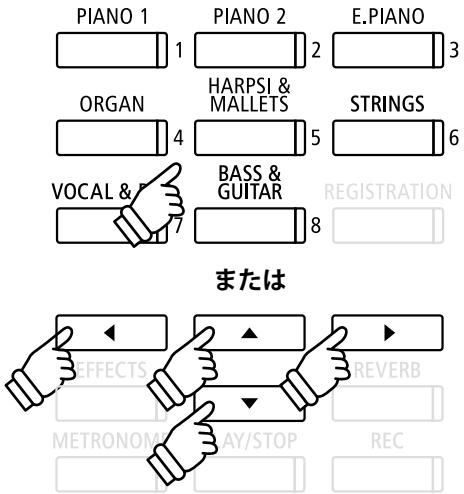


*「デモソング」を選択し、[LEFT]/[RIGHT]ボタン、または[PLAY / STOP]ボタンを押してデモソングを再生することもできます。

2. デモソングを選択する

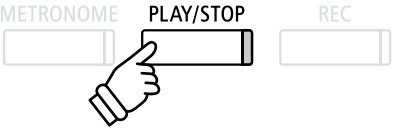
音色ボタン、または十字キーを押してデモソングを選択します。再生中でも曲を変更できます。





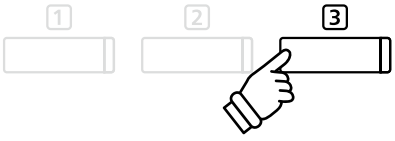
3. デモソングを停止する

[PLAY / STOP]ボタンを押すとデモソングが停止します。
再度[PLAY / STOP]ボタンを押すとデモソングが曲の先頭から再生されます。



4. デモソングを終了する

[3:もどる]ボタンを押してミュージックメニューに戻るとデモソングを終了します。



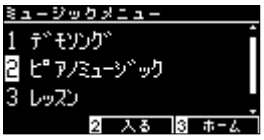
ピアノミュージック

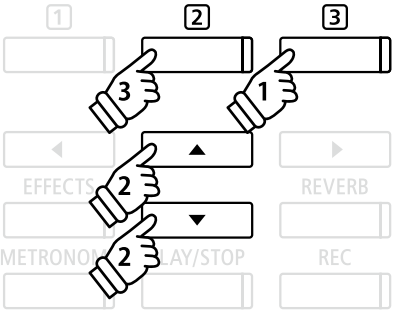
発表会などでよく演奏される曲を中心に、バロック時代のラモーの作品からロマン派のショパンまでの作品29曲を内蔵しています。対応楽譜「CLASSICAL PIANO COLLECTION」を付属していますので、鑑賞や練習にご活用ください。

*ピアノミュージック曲一覧（P. 115）

1. ピアノミュージックに入る

ホーム画面で［3:ミュージック］ボタンを押してミュージックメニューに入り、［UP］/［DOWN］ボタンを押して「ピアノミュージック」を選択し、［2:入る］ボタンを押してピアノミュージックに入ります。

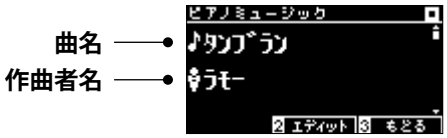


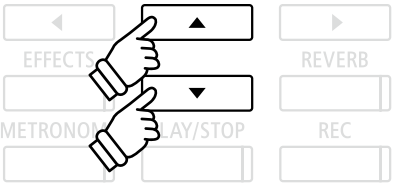


*［RIGHT］、［LEFT］ボタンでも入ることができます。

2. ピアノミュージック曲を選択する

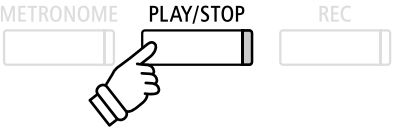
［UP］/［DOWN］または［LEFT］/［RIGHT］ボタンを押して聴きたい曲を選びます。ディスプレイの上段に曲名、下段に作曲者名が表示されます。





3. ピアノミュージック曲を聴く・停止する

［PLAY / STOP］ボタンを押すとピアノミュージック曲が再生されます。再度［PLAY / STOP］ボタンを押すとピアノミュージック曲が停止します。

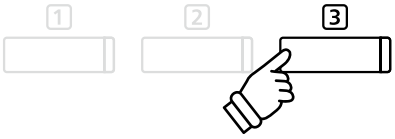


*演奏を停止するまでは、曲が順不同に演奏されます。

*片手ずつ再生することもできます。（P. 39）

4. ピアノミュージックを終了する

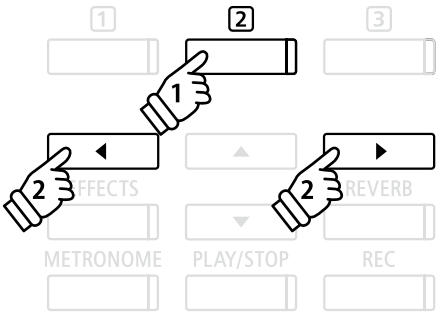
［3:もどる］ボタンを押してミュージックメニューに戻るとピアノミュージックを終了します。



■ 右手と左手のバランスを調節する

ピアノミュージック画面で[2:エディット]ボタンを押してピアノミュージックエディットに入り、[LEFT]/[RIGHT]ボタンを押して右手と左手の音量バランスを調節します。





レッスン

1 練習したい曲を選ぶ

ピアノの上達に役立つレッスン曲を内蔵しており、様々なレッスンをすることができます。
レッスンを使ってできることと、練習したい曲を選ぶ方法を説明します。

*レッスン曲集一覧(P. 115)

*練習するための楽譜は「カワイ出版」または「全音楽譜出版」のものをご使用ください。

■ レッスンを使って

レッスン曲集から1曲を選んで次のような練習ができます。

1. レッスン曲を再生して曲想を覚える。
2. レッスン曲の左手(右手)パートを再生しながら右手(左手)パートを練習する。
3. テンポを変更して練習する。
4. 曲の途中の部分を繰り返して練習する。
5. レッスン曲の左手(右手)パートを再生しながら右手(左手)パートの演奏を録音して聴いてみる。

*これらレッスン曲のテンポは、お子様が無理なく練習できるように一部の曲を除いて遅くしてあります。

*設定されているテンポよりも遅くして再生したとき、ブルクミュラーの一部の曲ではフェルマータの長さが変らない場合があります。

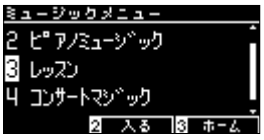
*練習時にお子様の指に無理な負担をかけないように、チェルニーの一部の曲を除いて強打時(フォルテ)の音量を下げてあります。

*バッハ・インヴェンションの強弱記号などの表現記号については、カワイ出版楽譜、他を参考にしています。

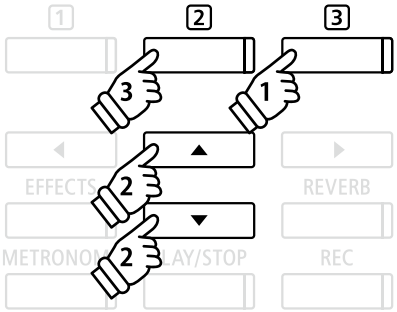
*ショパン・ワルツ集では、ワルツ独特のリズムの揺れやフレーズの抑揚を表現するため、演奏がメトロノームとずれています。メトロノームは速度表現のガイドとしてご利用ください。

1. レッスンに入る

ホーム画面で[3:ミュージック]ボタンを押してミュージックメニューに入り、[UP]/[DOWN]ボタンを押して「レッスン」を選択し、[2:入る]ボタンを押してレッスンに入ります。



*[RIGHT]、[LEFT]ボタンでも入ることができます。



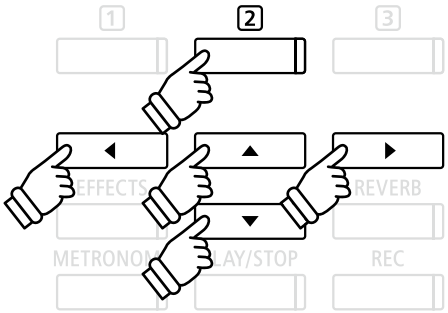
2. レッスン曲を選択する

[UP]/[DOWN]ボタンを押して変更したい項目(曲集名 / 曲番号 / 小節位置)を選択し、[LEFT]/[RIGHT]ボタンを押して内容を選択します。

*再生中でも曲選択は操作可能です。ただし練習を録音中の場合は操作できません。

曲集名
曲番号
小節位置



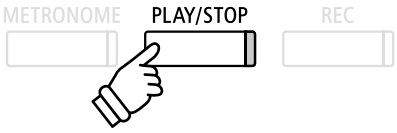


2 レッスン曲を聴く

内蔵されているレッスン曲を聴く方法を説明します。

1. レッスン曲を聴く

（曲選択は前ページを参照）
[PLAY / STOP]ボタンを押すと[PLAY / STOP]ボタンが点灯し、メトロノームが1小節鳴ったあと、レッスン曲が再生されます。



*この間は現在の位置より1小節前の小節が表示されます。弱起の曲の場合、最初の小節位置はゼロになります。



レッスン曲再生中はメトロノームが再生されません。メトロノームを鳴らしたい場合には、[METRONOME]ボタンをオンにします。

[PLAY / STOP]ボタンをもう一度押すとレッスン曲の再生が止まります。もう一度[PLAY / STOP]ボタンを押すと、止めた小節の2小節前から再生が始まります。

最初から再生したい場合には、[PLAY / STOP]ボタンを押して演奏を止めてから、[EFFECTS]と[REVERB]ボタンを同時に押します。

■ レッスン曲の途中から聴く

レッスン曲を選択した後、[EFFECTS]または[REVERB]ボタンを押します。[EFFECTS]ボタンを押すと1小節戻り、[REVERB]ボタンを押すと1小節進みます。押し続けると早く戻ります。
また、[UP]/[DOWN]ボタンで小節の項目の選択をすれば、[LEFT]ボタンを押すと1小節戻り、[RIGHT]ボタンを押すと1小節進みます。



もう一度[PLAY / STOP]ボタンを押すと、止めた小節の2小節前から再生が始まります。

2. レッスンを終了する

[3:もどる]ボタンを押してミュージックメニューに戻ると、レッスンを終了します。

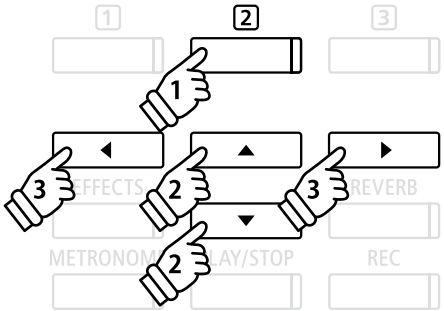
3 片手ずつ練習する / テンポを変更する

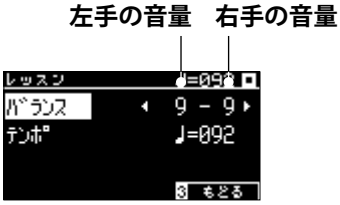
レッスン曲を聴きながら右手、左手別々に練習する方法、テンポを変更する方法を説明します。

■ 片手ずつ練習する

レッスンで[2:エディット]ボタンを押してレッスンエディットに入ります。

[UP]/[DOWN]ボタンで「バランス」を選択し、
[LEFT]/[RIGHT]ボタンでバランスを調節できます。





レッスン曲の左手パートを再生しながら右手パートを練習したい場合
[LEFT]ボタンを押します。右の値を小さくするとレッスン曲の右手パートが小さくなり、ガイドメロディとなります。
値を9-1にすると右手パートは聴こえなくなり、ガイドメロディなしで練習できます。

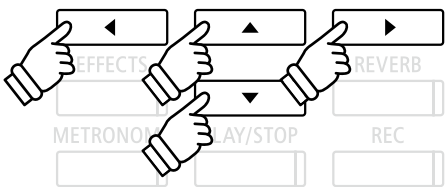
レッスン曲の右手パートを再生しながら左手パートを練習したい場合
[RIGHT]ボタンを押します。左の値を小さくするとレッスン曲の左手パートが小さくなり、ガイドメロディとなります。
値を1-9にすると左手パートは聴こえなくなり、ガイドメロディなしで練習できます。

*自分のパートの見本を再生しながら合わせて演奏した場合、弾く音程やタイミングによっては音質が変化することがありますが、これは故障ではありません。気になる場合は、レッスン曲の再生を小さくするか消してください。

*バイエルの中で先生の伴奏がついている曲の場合には、右の値を小さくすると生徒のパートが小さくなり、左の値を小さくすると先生のパートが小さくなります。

■ テンポを変更する

レッスンエディットで[UP]/[DOWN]ボタンを押して「テンポ」を選択し、[LEFT]/[RIGHT]ボタンでテンポの値を変更できます。

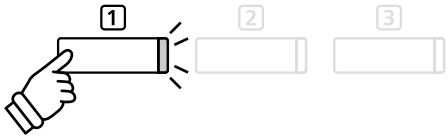




4 区間を指定して練習する

ここではレッスン曲の中の小節位置を2ヶ所指定してその区間（リピート区間）を繰り返し再生したり、繰り返して練習をする方法を説明します。

1. リピート区間の始まり（A点）の指定



レッスン曲を選択し再生します。リピート指定したい区間の始まりまで再生が進んだら［1:A-B］ボタンを押します。
区間の始まり（A点）が設定され、［1:A-B］ボタンが点滅します。



2. リピート区間の終わり（B点）の指定



リピート指定したい区間の終わりまで再生が進んだら、もう一度［1:A-B］ボタンを押します。
区間の終わり（B点）が設定され、［1:A-B］ボタンが点灯します。
リピート区間が決定し、この区間の再生が終了するとA点の2小節前に戻って再生を続けます。



3. 繰り返し演奏の解除

もう一度［1:A-B］ボタンを押すとリピート区間の設定が解除され、通常の再生に戻ります。

*ここで設定したリピート区間（A点とB点）は、別の曲を選ぶと解除されます。

また、リピート区間は、停止中に［EFFECTS］ボタン、［REVERB］ボタンで小節位置を選んで設定することもできます。
ただし最初の小節より前の位置に終わりの小節を設定することはできません。

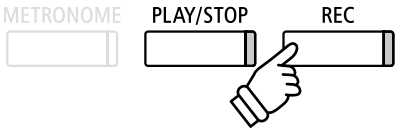
5 レッスン曲に合わせて録音する

ここではレッスン曲に合わせて演奏しながらそれを聞く方法を説明します。

*リピート区間の設定をしている場合、リピートは無効になります。

1. 録音をする

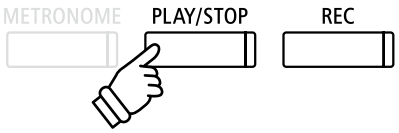
レッスン曲を選択し[REC]ボタンを押します。
[REC]ボタンと[PLAY / STOP]ボタンが点灯し、メトロノームが1小節鳴った後、レッスン曲の再生と演奏の録音が始まります。



録音をはじめる前に、[REVERB]ボタンと[EFFECTS]ボタンで録音開始位置を変えることができます。

2. 録音の終了

[PLAY / STOP]ボタンを押して、録音を終了します。
レッスン曲の再生と演奏の録音が終了し、[REC]ボタンと[PLAY / STOP]ボタンが消灯します。

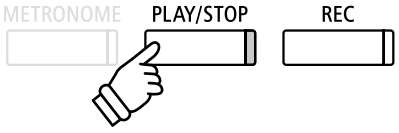


録音した演奏は[REC]ボタンと[PLAY / STOP]ボタンを同時に押すと消去することができます。

*録音した演奏は別のレッスン曲を選ぶと消去されます。

3. 録音した演奏を聴く

もう一度[PLAY / STOP]ボタンを押します。メトロノームが1小節鳴ったあとレッスン曲と録音した演奏が再生されます。
[REVERB]ボタンと[EFFECTS]ボタンで再生開始位置を変えることができます。



もう一度[PLAY / STOP]ボタンを押すとレッスン曲と録音した演奏が止まります。

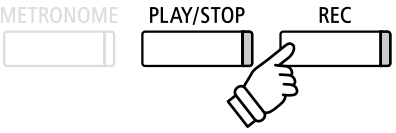
6 指のトレーニング機能を使う

指のトレーニング機能では内蔵されている曲集「ハノン」（第一部20曲）を演奏・録音することによって、タッチのばらつき等の評価がディスプレイに表示され、自分の演奏をチェックすることができます。
また他のレッスン曲同様、お手本として聴くこともできます。

*練習するための楽譜はカワイ出版のものをご使用ください。

1. ハノンを選択し録音する

曲集選択時にハノンを選択し、トレーニングしたい曲を選びます。[REC]ボタンを押すと[REC]ボタンと[PLAY / STOP]ボタンが点灯し、メトロノームが1小節鳴った後、レッスン曲の再生と演奏の録音が始まります。

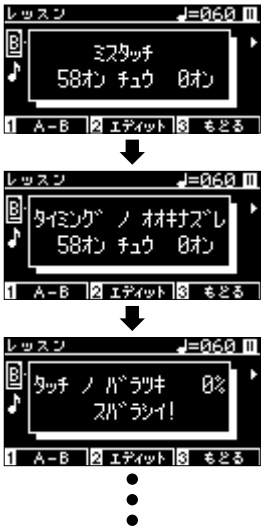




録音をはじめる前に、[REVERB]ボタンと[EFFECTS]ボタンで録音開始位置を変えることができます。

2. 評価を見る

[PLAY / STOP]ボタンを押して、録音を終了します。レッスン曲の再生と演奏の録音が終了し、「ミスタッチ」「タイミング ノ オオキナズレ」「タッチ ノ バラツキ」という3つの評価結果が数秒ずつ繰り返し表示されます。



3. 録音した演奏を聴く

もう一度[PLAY / STOP]ボタンを押します。レッスン曲と録音した演奏が再生されます。評価結果を見ながら、録音した自分の演奏を再生してチェックすることができます。

もう一度[PLAY / STOP]ボタンを押すとレッスン曲の再生と練習の演奏が止まります。

[UP]/[DOWN]ボタンを押すと評価結果の表示を終了し、レッスン曲選択画面に戻ります。

*評価結果の表示を終了しても、録音した演奏の再生ができます。
*録音した演奏は[REC]ボタンと[PLAY / STOP]ボタンを同時に押すと消去することができます。
*録音した演奏は別のレッスン曲を選ぶと消去されます。

コンサートマジックを楽しむ

1 コンサートマジックとは？

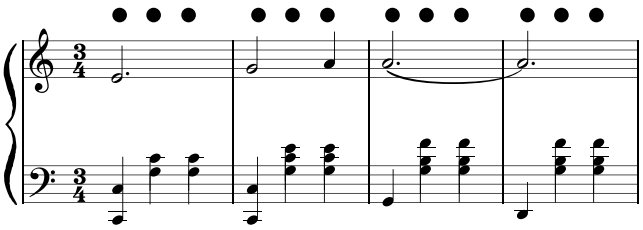
コンサートマジックは、指一本で本格的なピアノ演奏を可能にする機能です。本機にはコンサートマジック曲を88曲内蔵しており、下記の3つのモードで演奏をすることができます。

*コンサートマジック曲目一覧（P. 116）

■ マジカルタクトモード

一定の間隔で鍵盤を弾くことで演奏を進めることができます。弾く鍵盤はどの鍵盤でもかまいません。鍵盤を弾くタイミングや強さでテンポや強弱の表現を変えることができます。

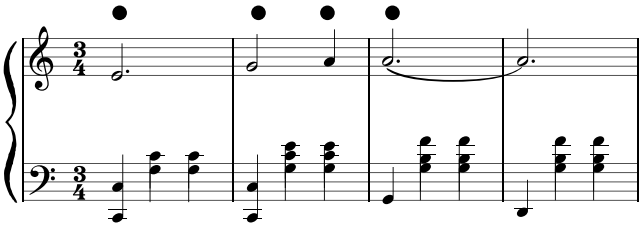
*「●」は鍵盤を弾くタイミングを表しています。曲はスケーターズワルツです。



■ マジカルメロディモード

メロディーのタイミングに合わせて鍵盤を弾くことによって伴奏がついてきます。弾く鍵盤はどの鍵盤でもかまいません。鍵盤を弾くタイミングや強さでテンポや強弱の表現を変えることができます。

*「●」は鍵盤を弾くタイミングを表しています。曲はスケーターズワルツです。



■ マジカルメロディ＆キーモード

メロディーのタイミングに合わせて鍵盤を弾くことによって伴奏がついてきます。弾いた鍵盤の音が出ますので正しい音を弾きましょう。

*モードの選び方（P. 46）

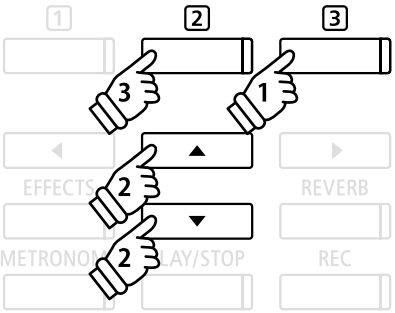
2 コンサートマジック曲を演奏する

ここでは、コンサートマジック曲の選択と演奏方法を説明します。

1. コンサートマジックに入る

ホーム画面で[3:ミュージック]ボタンを押してミュージックメニューに入り、[UP]/[DOWN]ボタンを押して「コンサートマジック」を選択し、[2:入る]ボタンを押してコンサートマジックに入ります。





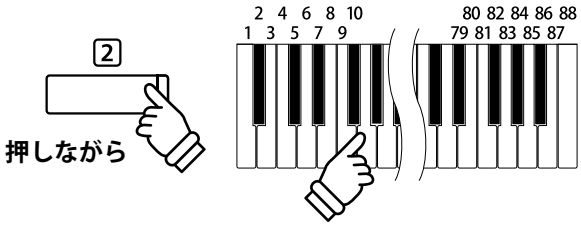
* [RIGHT]、[LEFT]ボタンでも入ることができます。また[PLAY / STOP]ボタンを押すとコンサートマジックが再生されます。

2. コンサートマジック曲を選択する

88曲のコンサートマジック曲は各鍵盤に1曲ずつ割り当てられています。
[2:エディット]ボタンを押しながら鍵盤を押してコンサートマジック曲を選択します。

* [UP]/[DOWN]または[LEFT]/[RIGHT]ボタンを押して曲を変更することもできます。





3. コンサートマジックを楽しむ

鍵盤を弾いてみましょう。鍵盤を弾くタイミングで演奏が進んでいきます。鍵盤を弾く強さによって強弱をつけることもできます。
演奏を進めていくに伴って、ディスプレイの黒丸(●)がプラス(+)表示へと変わっていきます。

通常の音色変更の場合と同様の操作で、音色を変更できます。



* 音色を変更する(P. 14)

4. コンサートマジックを終了する

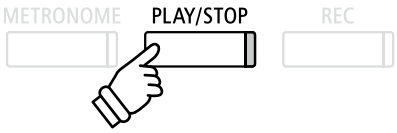
[3:もどる]ボタンを押してミュージックメニューに戻ると、コンサートマジックを終了します。

3 コンサートマジック曲を聴く

コンサートマジック曲は、通常のデモソングとして再生することができます。どんな曲かまず聴いてみたいときに便利な機能です。

■ ランダム再生

コンサートマジックに入り、コンサートマジック曲を選択したあと、[PLAY / STOP]ボタンを押すと、コンサートマジック曲がランダムに再生されます。



再度[PLAY / STOP]ボタンを押すと再生を停止します。

■ グループ再生

コンサートマジックに入り、コンサートマジック曲を選択したあと、[2:エディット]ボタンを押しながら
[PLAY / STOP]ボタンを押します。
選択した曲が含まれるグループの曲を順番に繰り返し再生します。

*コンサートマジック曲のグループ(P. 116)



4 コンサートマジック曲の設定

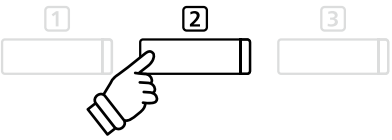
コンサートマジック曲のテンポ、モード、バランスを設定します。

■ 設定項目

項目	初期設定	説明
テンポ	-	テンポを設定します。
モード	マジカルタクトモード	モードを選択します。（P. 43）
バランス	9-9	メロディーと伴奏の音量バランスを調節できます。

■ コンサートマジックエディットに入る

コンサートマジック画面で[2:エディット]ボタンを押してコンサートマジックエディットに入ります。

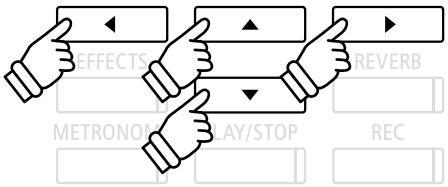




* [3:もどる]ボタンを押すとコンサートマジックに戻ります。

■ テンポ、モード、バランスを変更する。

[UP]/[DOWN]ボタンで項目を選択し、
[LEFT]/[RIGHT]ボタンで内容を変更します。
[LEFT]/[RIGHT]ボタンを同時に押すと、変更した値を初期設定に戻すことができます。





演奏を録音・再生する

1 録音・再生機能について

本機は自分の演奏を録音・再生することができ、本体への録音・再生を行うインターナルレコーダーと、USBメモリへの録音・再生を行うUSBレコーダーがあります。

■ 録音フォーマットについて

下記のファイル、フォーマットにて録音することができます。

本体メモリ
内部フォーマット

USBメモリ	
MP3形式	ビットレート：256kbps固定、サンプリング周波数：44.1kHz、ステレオ
WAV形式	サンプリング周波数：44.1kHz、16bit、ステレオ

■ インターナルレコーダー（本体への録音）について

- 本機の総記憶容量は、約90,000音*です。録音中に記憶容量がいっぱいになったときは［PLAY / STOP］ボタンと［REC］ボタンが消灯し、録音が中止されます。中止される直前までの演奏は録音されます。
- レコーダーに録音した内容は本体の電源を切っても消えません。
- パート1に既に録音されているソングのパート2に録音するときにパート1の演奏を再生しないでパート2に録音したい場合は、録音に入る前に再生でプレイパートを2に設定します。

*総記憶容量の目安として、例えば総記憶容量5,000音の場合、ベートーベンの「エリーゼのために」であれば約3 ～ 4回の録音ができ10 ～ 15分程度の録音が可能です。但し、曲の音符の数やテンポによって録音できる時間は変わります。またレコーダーはペダル操作も記録していますので、ペダルを踏んだ回数によっても録音時間は変わります。

■ 録音中のパネル操作に関して

- 音色変更は記憶されます。
- デュアル/スプリットの移行は記憶されます。
- エフェクト設定の変更は記憶されず、パネルで選ばれている音色に、選択されているエフェクトがそのまま使われます。
- テンポ変更は記憶されません。

■ 再生可能なファイルに関して

本機では以下のデータを再生することが可能です。

- 本体に録音・保存した曲
- USBメモリ上にあるSMF（フォーマット0、フォーマット1）
- USBメモリ上にあるKSOファイル（内部ソングフォーマットファイル）
- USBメモリ上にあるMP3ファイル（ビットレート : 8k～320bps、サンプリング周波数 : 44.1kHz, 48kHz, 32kHz、ステレオ）
- USBメモリ上にあるWAVファイル（サンプリング周波数 : 44.1kHz、16bit、ステレオ）

2 本体内部メモリに録音する

本機は本体に10曲（10ソング）まで録音して再生することができます。それぞれのソングは2つのパートから構成されており、2つのパートを使えば右手と左手をそれぞれのパートに別々に録音した後、別々に再生して片手ずつの練習に役立てることができます。両方のパートを合わせて再生することもできます。

1. インターナルレコーダーに入る

［REC］ボタンを押すとボタンが点滅し、インターナルレコーダーに入ります。

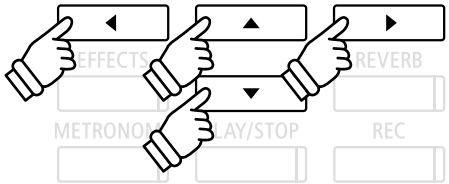




*USBメモリが接続されている場合は［1:インターナル］ボタンを押してインターナルレコーダーに切り替えてください。

2. ソングとパートの設定をする

［UP］/［DOWN］ボタンを押してソング / パート項目を選択します。
［LEFT］/［RIGHT］ボタンで各項目の値を変更し、録音したいソング番号とパートを設定します。
このパートに録音すると、以前まであった演奏データが消去されて新しい演奏データが上書きされます。

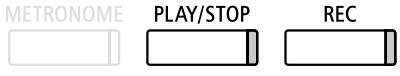




録音されている場合

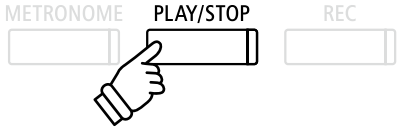
3. 録音を開始する

演奏を始めると自動的に録音が開始し、
［REC］ボタンと［PLAY / STOP］ボタンが点灯します。
また、［PLAY / STOP］ボタンを押しても録音を開始することもできます。録音中の音色変更も記憶されます。



4. 録音を停止する

演奏が終わったら［PLAY / STOP］ボタンを押して録音を終了します。［PLAY / STOP］ボタンと［REC］ボタンが消灯し録音が停止します。
ディスプレイは自動的に再生画面になります。





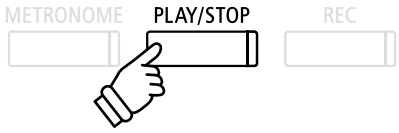
録音されたパートには「*」が表示されます。

3-1 本体内部メモリに録音された曲を聴く

録音した曲を聴いてみましょう。録音直後に再生する場合は、2より行ってください。

1. 再生画面を表示

［PLAY / STOP］ボタンを押します。再生画面が表示され再生待機状態になります。

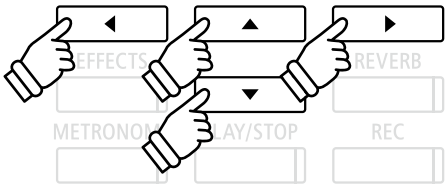




＊USBメモリが接続されている場合は［1:インターナル］ボタンを押してインターナルレコーダーに切り替えてください。

2. 聴きたい曲を選ぶ

［UP］/［DOWN］ボタンを押してソング / パート項目の選択します。
［LEFT］/［RIGHT］ボタンで各項目の値を変更し、再生したいソング番号とパートを設定します。
すでに録音されているパートには、2行目右に＊マークが付いています。

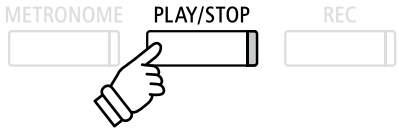




録音されている場合

3. 再生する

［PLAY / STOP］ボタンを押すと再生し、再度［PLAY / STOP］ボタンを押すと停止します。
再生待機状態のときに別の曲やパートを選択することができます。



4. 再生を終了する

［3:ホーム］ボタンを押すとホーム画面に戻ります。

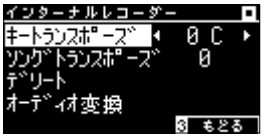
3-2本体に録音された曲を聴く—色々な設定

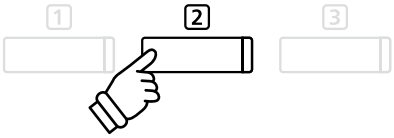
本体に録音された曲の再生では下記の設定等を行うことができます。

項目	内容	参照ページ
キートランスポーズ	鍵盤での演奏を移調することができます。	P. 62
ソングトランスポーズ	録音した曲を移調して再生することができます。	P. 62
デリート	ソングを削除することができます。	P. 51
オーディオ変換	本体に録音したソングをMP3 / WAVファイルに変換してUSBメモリに保存します。	P. 52

■ 再生の設定に入る

再生画面で[2:エディット]ボタンを押すと設定画面が表示されます。

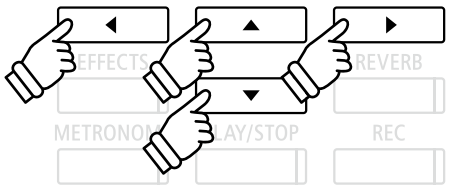




■ 設定をする

[UP]/[DOWN]ボタンを押して項目を選択し、
[LEFT]/[RIGHT]ボタンで内容を変更します。

[LEFT]/[RIGHT]ボタンを同時に押すと、設定した値を初期設定に戻すことができます。
[3:もどる]ボタンを押すと、再生画面に戻ります。



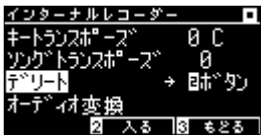
3-3 本体に録音した演奏を消去する

録音に失敗したり、いらなくなった曲を1パートづつ消去する方法を説明します。

*USBメモリ内の曲を消去する場合はUSBメニューの「デリート」（P. 107）から行ってください。

1. デリートに入る

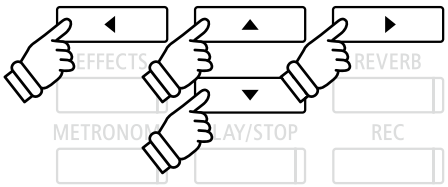
再生設定画面から「デリート」を選択し、［2:入る］ボタンを押してデリートに入ります。



2. 消去したいソングとパートを選ぶ

［UP］/［DOWN］ボタンでソング / パートを選択し、［LEFT］/［RIGHT］ボタンでソング番号 / パート内容を選択をします。

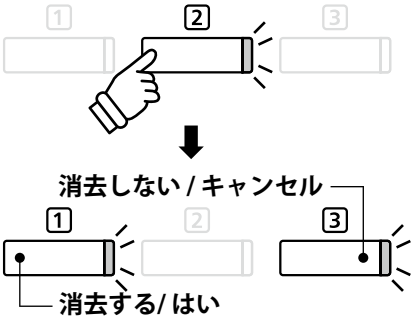




3. 消去する

［2:OK］ボタンを押すと確認のメッセージが表示されます。消去する場合は［1:はい］ボタンを、キャンセルする場合は［3:キャンセル］ボタンを押します。

*消去した後、［3:もどる］ボタンを押すと前の画面に戻ります。



■ すべてのソングを消去したい場合

録音されているすべてのソングを消去したい場合は、電源を一度切り、［PLAY / STOP］ボタンと［REC］ボタンを押しながら再度電源を入れてください。

3-4 本体に録音した演奏を変換する

本体に録音した演奏をMP3 / WAVファイルとして変換し、USBメモリに保存する方法を説明します。

1. オーディオ変換に入る

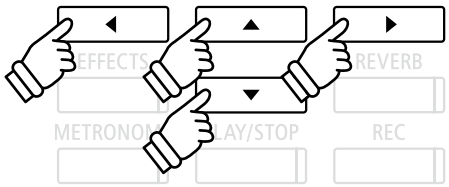
再生設定画面から「オーディオ変換」を選択し、
[2:入る]ボタンを押してオーディオ変換に入ります。



2. オーディオ変換したいソングとパートを選ぶ

[UP]/[DOWN]ボタンでソング//パートを選択し、
[LEFT]/[RIGHT]ボタンでソング番号 / パート内容を変更し、
[2:次へ]ボタンを押します。

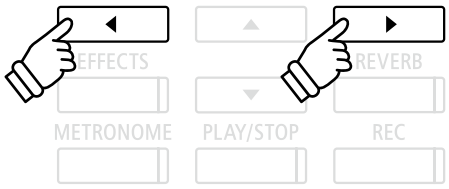




3. オーディオ変換したいフォーマットを選択する

[LEFT]/[RIGHT]ボタンを押して変換したいフォーマットを選びます。フォーマットはMP3かWAVを選ぶことができます。

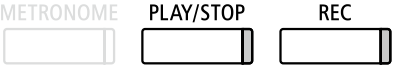




* [2:レベル]ボタンを押して録音レベルを変更できます。(P. 53)

4. オーディオ変換を開始する

[PLAY / STOP」ボタンを押して変換を開始します。このとき
[REC]ボタンと[PLAY / STOP]ボタンが点灯します。



* 変換中の演奏も録音されます。
* 鍵盤を押して変換を開始することもできます。
* オーディオ変換を開始する前、または変換中に、メトロノームボタンを押すことでメトロノーム音をガイドとして聴きながら録音することができます。このときメトロノーム音は録音されません。ただし、リズムパターンを選択した場合は録音されます。
* 変換後の動作についてはP. 54を参照してください。

4 USBメモリにオーディオフォーマットで録音する

本機はオーディオフォーマットでUSBメモリに直接演奏を録音(保存)することができます。
Bluetooth機能を使って入力されたオーディオデータに合わせて演奏を録音することもできます。

*ラインインの音は録音されません。

1. USBレコーダーに入る

USBメモリを本体に接続し、[REC]ボタンを押すと[REC]ボタンが点滅し、USBレコーダーに入ります。



*USBメモリが接続されていない場合は本体録音の画面が表示されます。

2. 録音するフォーマットを選ぶ

[LEFT]/[RIGHT]ボタンを押してフォーマットを選択します。

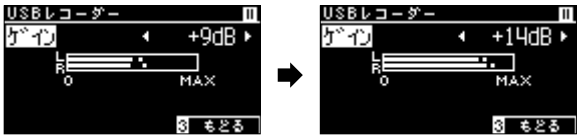


*[1:インターナル]ボタンでインターナルレコーダーに行くこともできます。(P. 48)



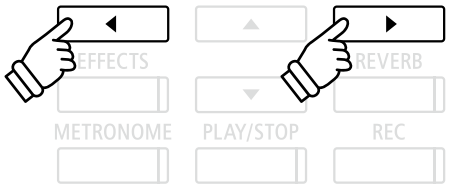
3. 録音レベルを設定する

[2:レベル]ボタンを押すと録音レベル設定画面が表示されます。
録音レベル設定画面にはレベルメーターが表示されており、演奏すると、演奏時の録音レベルがレベルメーターにLチャンネル Rチャンネル別々に表示されます。



[LEFT]/[RIGHT]ボタンを押し、ゲインを調整します。
ゲインは0 ～ 15dBの範囲で調整できます。

演奏する内容に合わせてゲインを調整してください。

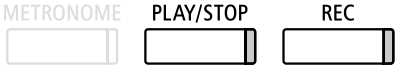


*調整内容によっては、音が歪んでしまうことがあります。
ゲイン調整には十分気を付けてください。

*[LEFT]/[RIGHT]ボタンを同時に押すと、設定したゲインが初期値に戻ります。

4. 録音を開始する

演奏を始めると自動的に録音が開始し[REC]ボタンと
[PLAY / STOP]ボタンが点灯します。
[PLAY / STOP]ボタンを押しても録音を開始できます。
録音中の音色変更も記憶されます。



*オーディオ録音を開始する前、または録音中に、[METRONOME]ボタンを押すことでメトロノーム音をガイドとして聴きながら録音することができます。
このときメトロノーム音は録音されません。ただし、リズムパターンを選択した場合は録音されます。

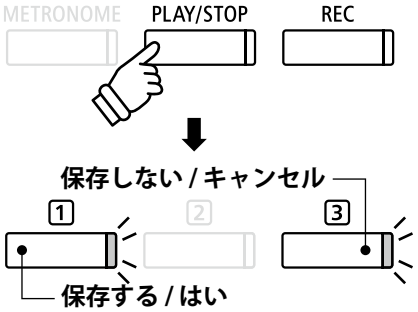
*録音レベル設定中は演奏を始めても録音を開始しません。

*録音中に無音の状態が10分間続くと、録音は自動的に停止します。

5. 録音を停止して保存する

演奏が終わったら[PLAY / STOP]ボタンを押して録音を終了します。[PLAY / STOP]ボタンと[REC]ボタンが消灯し録音が停止します。
録音した演奏をUSBメモリに保存する場合は[1:はい]ボタンを、保存しない場合は[3:キャンセル]ボタンを押してください。

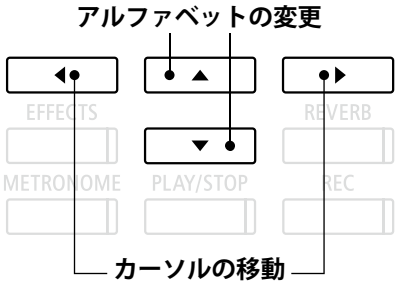




6. ソング名をつける

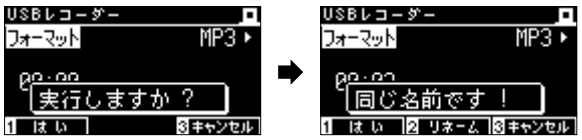
USBメモリに保存するソングに名前をつけます。
[LEFT]/[RIGHT]ボタンでカーソルを動かし、[UP]/[DOWN]ボタンでアルファベットを変更します。

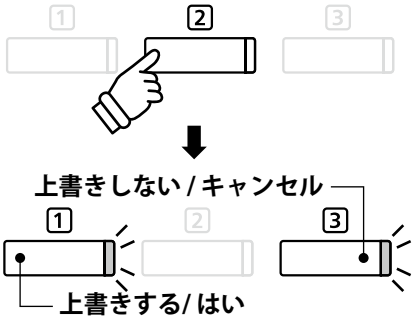




*初めにソング名候補として、MP3の場合は「MP3SongXX」、WAVの場合は「WAVSongXX」と表示されます。「XX」には空いている曲の番号が入ります。

ソング名が決定したら[2:OK]ボタンを押します。
すでに同じファイル名がある場合、上書きをするか選択します。上書きをする場合は[1:はい]ボタンを、キャンセルする場合は[3:キャンセル]ボタンを押します。キャンセルした場合は「5. 録音を停止して保存する」の画面に戻ります。





保存が終了すると自動的に再生の表示になります。

*録音したソングは、USBメモリ内のルートフォルダ(1番上の階層)に保存されます。他のフォルダに保存することはできません。

■ 使用できる文字一覧

0~9	A~Z	a~z	!	#	$	%	&	'	(	)	+	,	-	.	;	=	@	[	]	^	_	`	{	}

ｱ~ﾝ	ｧ~ｫ	ｬ~ｭ	ｮ	ｯ	ﾞ	ﾟ	―	。	「	」	、	・

*全角文字は使用できません。

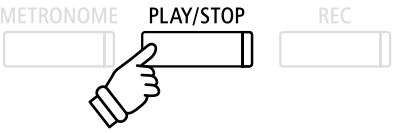
5-1 USBメモリ内の曲を聴く

本機はUSBメモリ内の曲も聴くことができます。また、USBメモリ内の曲を再生させながら演奏することもできます。

*再生可能なファイルに関してはP. 47を参照してください。

1. 再生に入る

[PLAY / STOP]ボタンを押します。
ディスプレイにソングリストが表示され再生待機状態になります。USBメモリが接続されている場合そのルートフォルダの内容が表示されます。

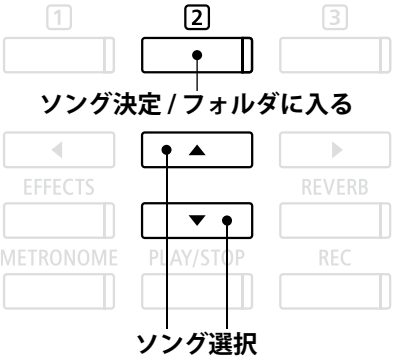




選択カーソル

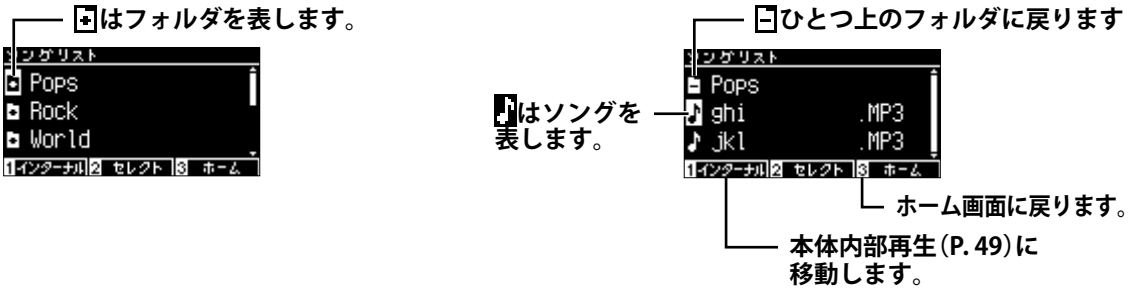
2. 聴きたい曲を選ぶ

[UP]/[DOWN]ボタンを押して聴きたいソング名を選び[2:セレクト]ボタンを押します。フォルダを選択する場合にはフォルダ名を表示させた後に[2:セレクト]ボタンを押してください。



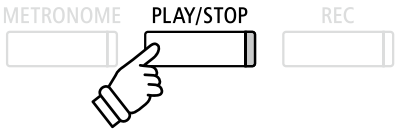
■ ソングリスト画面表示について

〈リスト画面イメージ〉



3. 再生する

[PLAY / STOP]ボタンを押すと再生が開始します。
演奏を停止するには、再度[PLAY / STOP]ボタンを押します。



4. 再生を終了する

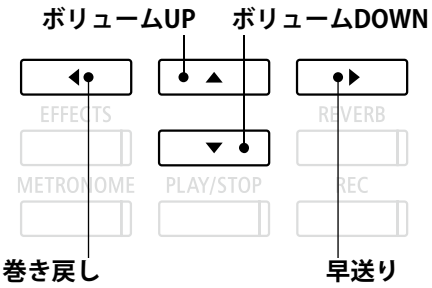
演奏を停止して[3:もどる]ボタンを押すと、ソングリスト画面に戻ります。

*ソングリスト画面で[3:ホーム]ボタンを押すと、ホーム画面に戻ります。

■ SMF・KSO・MP3・WAVファイル再生中の画面表示とボタンについて

〈MP3・WAVファイルの場合〉





〈SMFファイルの場合〉



〈KSOファイル(内部ソングファイル)の場合〉



*KSOファイルの再生時に小節位置は表示されません。

*一般に販売されているオーディオファイルはマスタリング処理が施されている為に音量が限界まで大きくしてあるのに対し、楽器(ピアノ)はダイナミックレンジ幅が大きいため、普通に録音した音量は小さくなります。したがって、音量調整は必須となります。

*フォルダ名や再生する曲のファイル名、ソング名、アーティスト名などに本機が認識できない文字が含まれている場合は、正確に表示されません。本機が認識できる文字については、P. 54を参照ください。

■ A-Bリピート再生について

[1:A-B]ボタンを2回押すと、リピート区間の始まり(A点)とリピート区間の終わり(B点)を指定し、A、Bのポイントを繰り返し演奏します。3回目で、繰り返しをオフします。

*KSOファイル再生時にA-Bリピートはできません。

5-2 USBメモリ内の曲を聴く—色々な設定

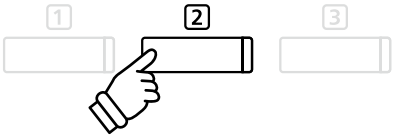
USBメモリ内の曲の再生では下記の設定を行うことができます。

項目	内容
プレイモード	色々な再生方法を選択することができます。
テンポ	テンポを設定することができます。SMF/KSOファイルの選択時のみ表示されます。
キートランスポーズ	鍵盤での演奏を移調することができます。（P. 62）
ソングトランスポーズ	録音した曲を移調して再生することができます。（P. 62） SMF / KSOファイルの選択時のみ表示されます。

■ 再生の設定に入る

再生画面で[2:エディット]ボタンを押します。
設定画面が表示されます。

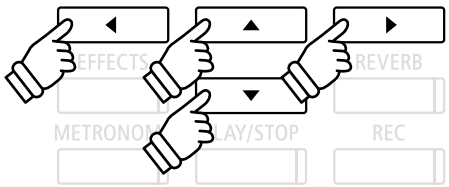




■ 設定をする

[UP]/[DOWN]ボタンで項目を選択し、
[LEFT]/[RIGHT]ボタンで内容を変更します。

[LEFT]/[RIGHT]ボタンを同時に押すと、設定した値を初期設定に戻すことができます。
[3:もどる]ボタンを押すと、再生画面に戻ります。



■ プレイモード

「プレイモード」では、下記の設定を行うことができます。

種類	説明
シングル	選択した曲を1度再生します。
1リピート	選択した曲をリピート再生します。
オールリピート	選択した曲のフォルダ内にあるソングをリピート再生します。*
ランダム	選択した曲のフォルダ内にあるソングをランダム再生します。*

* フォルダ内の再生可能なソング全てを再生します。

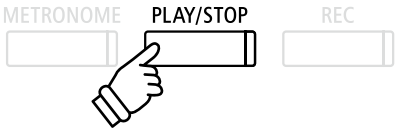
5-3 USBメモリ内の曲を聴きながら演奏を重ねて録音する（オーバーダビング）

USBメモリ内の曲を聴きながら演奏をUSBメモリに重ねて録音することができます。

*SMF/KSOファイルをオーバーダビングする場合は、MP3/WAVファイルに変換されます。

1. 再生に入る

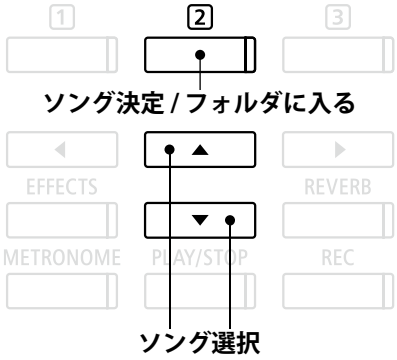
USBメモリを本体に接続し、[PLAY / STOP]ボタンを押します。
ディスプレイにソングリストが表示されます。



2. 聴きたい曲を選ぶ

[UP]/[DOWN]ボタンを押して選択カーソルをオーバーダビングを行いたいソングに合わせます。





3. 録音（USBメモリ）に入る

[REC]ボタンを押すと[REC]ボタンが点滅し、録音に入ります。

*再生画面（P. 56）からでも録音に入ることができます。



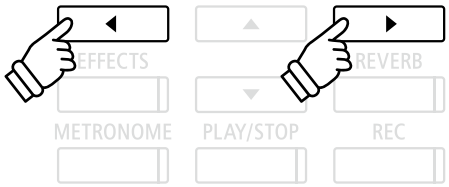
4. オーバーダビングを設定する

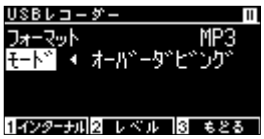
[UP]/[DOWN]ボタンで「モード」を選択します。

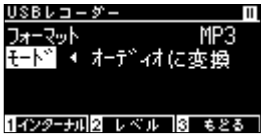
MP3/WAVデータを選択している場合には、
[LEFT]/[RIGHT]ボタンで「オーバーダビング」を表示します。

SMF/KSOデータを選択している場合には、
[LEFT]/[RIGHT]ボタンで「オーディオに変換」を表示します。

*ニューソングを選択すると、オーバーダビングではなく、通常の録音になります。

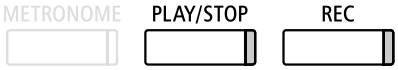






5. 録音を開始する

演奏を始めると自動的に録音が開始します。このとき[REC]ボタンと[PLAY / STOP]ボタンが点灯します。
[PLAY / STOP]ボタンを押しても録音を開始できます。
録音中の音色変更も記憶されます。



*オーディオ録音を開始する前、または録音中に、メトロノームボタンを押すことでメトロノーム音をガイドとして聴きながら録音することができます。

このときメトロノーム音は録音されません。ただし、リズムパターンを選択した場合は録音されます。

*録音後の操作に関しては、P. 54を参照してください。

*録音中に無音の状態が10分間続くと、録音は自動的に停止します。

セッティングメニューについて

演奏を楽しむためのさまざまなセッティングを行うことができます。各種設定をまとめてセッティングメニューと呼びます。

■ セッティングメニューに入る

ホーム画面で[2:メニュー]ボタンを押してセッティングメニューに入ります。

■ セッティングメニュー

セッティングメニューの内容は以下の通りです。

ベーシックセッティング

演奏に関するセッティングや各種設定を保存することができます。

コンサートチューナー

ピアノに関する様々な調整を電子的にシミュレートし、演奏者の好みのセッティングにすることができます。

ヘッドホンセッティング

ヘッドホンに関するセッティングができます。

MIDIセッティング

MIDIに関するセッティングができます。

USBメニュー

USBメモリに関するセッティングができます。

Bluetoothセッティング

BluetoothオーディオとBluetooth MIDIに関するセッティングができます。

■ セッティングメニューから戻る

セッティングメニュー画面で[3:ホーム]ボタンを押して、ホーム画面に戻ります。

ベーシックセッティングについて

ベーシックセッティングでは通常演奏時に関わる設定をしたり、各種設定を保存したりすることができます。

■ ベーシックセッティングの項目と初期設定

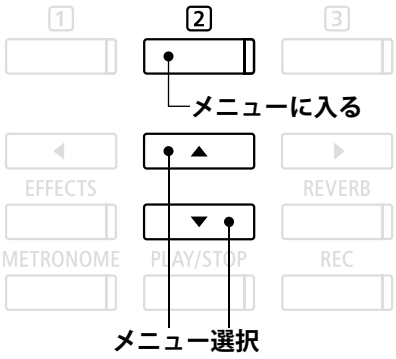
項目	初期設定
1. キートランスポーズ	0C
2. ソングトランスポーズ	0
3. トーンコントロール	フラット
4. スピーカーボリューム	ノーマル
5. 小音量バランス	3
6. チューニング	440.0Hz
7. ダンパーホールド	オフ
8. スプリット	オフ
9. 4ハンズ	オフ
10. スタートアップセッティング	-
11. ファクトリーリセット	-
12. オートディスプレイオフ	5 min.
13. オートパワーオフ	オフ
14. 表示言語	ニホンゴ

*スタートアップセッティングを設定した場合は、その設定にしたがいます。

■ ベーシックセッティングに入る

[2:メニュー]ボタンを押してセッティングメニューに入ります。[UP]/[DOWN]ボタンを押して「ベーシックセッティング」を選択し、[2:入る]ボタンを押します。





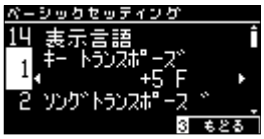
ベーシックセッティング

1 キートランスポーズ

トランスポーズとは半音単位で調を変えることです。キー（調）の異なる楽器とのアンサンブル演奏や歌の伴奏をするときに、弾く鍵盤を変えずに簡単に移調できます。

■ キートランスポーズの設定

ベーシックセッティングに入り[UP]/[DOWN]ボタンを押して
「キー トランスポーズ」を選択します。
[LEFT]/[RIGHT]ボタンを押すごとに半音単位で移調します。

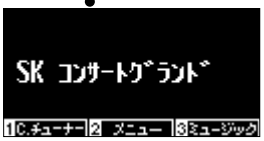


* -12～+12（全オクターブ）の範囲で設定できます。
* [LEFT]/[RIGHT]ボタンを同時に押すと、初期設定の0Cに戻ります。

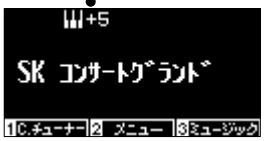
■ キートランスポーズの状態を確認する

キートランスポーズが初期設定の0Cから変更した場合、ホーム画面にトランスポーズアイコンが表示されます。

キートランスポーズ設定が初期値「0C」の表示



キートランスポーズ設定が初期値「0C」以外の表示



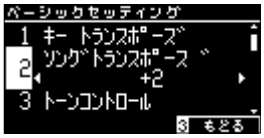
2 ソングトランスポーズ

USBから再生されるソング（SMFファイル / KSOファイル）、内部レコーダー、ピアノミュージック、レッスン、コンサートマジック等のソングを移調することができます。

* デモソングを移調することはできません。

■ ソングトランスポーズの設定

ベーシックセッティングに入り[UP]/[DOWN]ボタンを押して
「ソングトランスポーズ」を選択します。
[LEFT]/[RIGHT]ボタンを押すごとに半音単位で移調します。



* [LEFT]/[RIGHT]ボタンを同時に押すと、初期設定の0に戻ります。

3 トーンコントロール

トーンコントロールによって演奏や設置場所に応じて、適した音質に設定することができます。

■ トーンコントロールの種類

種類	効果
フラット	トーンコントロールはかかりません。
ブリリアンス	音色の明るさを調整します。
バスブースト	低音を強調した音質です。
バスカット	低音を弱くした音質です。
ミッドブースト	中音域が目立つような、少し硬い音質です、
ラウドネス	小さい音量時でも通常音量時のような適切な音質が得られます。
ブライト	きらびやかな明るい音質です。
メロウ	落ち着いた柔らかい音質です。
ユーザー	自分で音質を調整できます。低域（20-100Hz）と中域1（200-8000Hz）、中域2、高域（5000-20000Hz）をそれぞれ調節することが可能です。中域1と中域2については周波数を選択することも可能です。

■ トーンコントロールの種類変更

ベーシックセッティングに入り［UP］/［DOWN］ボタンを押して「トーンコントロール」を選択します。
［LEFT］/［RIGHT］ボタンを押してトーンコントロールの種類を変更できます。



* ［LEFT］/［RIGHT］ボタンを同時に押すと、初期設定のフラットに戻ります。

■ ブリリアンスの設定

「ブリリアンス」を選択した場合、［2:エディット］ボタンを押してブリリアンスの設定に入り、［LEFT］/［RIGHT］ボタンでブリリアンスの値を調節します。

ブリリアンス値の設定できる範囲は-10～+10です。+10が最も音色が明るく、-10が最も暗くなります。

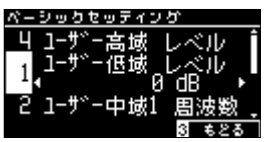


* ［3:もどる］ボタンを押すと、ブリリアンス設定からトーンコントロール設定に戻ります。

■ ユーザー設定

「ユーザー」を選択した場合、［2:エディット］ボタンを押してユーザー設定に入ります。
［UP］/［DOWN］ボタンで「低域 レベル」、「中域1 周波数」、「中域1 レベル」、「中域2 周波数」、「中域2 レベル」、「高域 レベル」の各項目を選択し、［LEFT］/［RIGHT］ボタン押して各音域の音量、周波数を設定します。





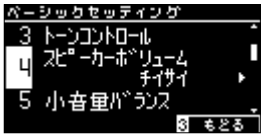
* ［3:もどる］ボタンを押すとユーザー設定からトーンコントロール設定に戻ります。

4 スピーカーボリューム

大きな音量が必要ない場合は、スピーカーボリュームを設定することで、より細かく音量調整することが可能となります。

■ スピーカーボリュームの設定

ベーシックセッティングに入り[UP]/[DOWN]ボタンを押して「スピーカーボリューム」を選択します。
[LEFT]/[RIGHT]ボタンを押してスピーカーボリュームの「ノーマル / チイサイ」を変更できます。



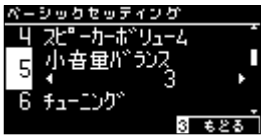
* [LEFT]/[RIGHT]ボタンを同時に押すと、初期設定のノーマルに戻ります。

5 小音量バランス

マスターボリュームで音量を小さくしたとき、タッチによる音量変化を減らし、弱打演奏で音が聞こえなくなってしまうことを防ぐ機能です。

■ 小音量バランスの設定

ベーシックセッティングに入り[UP]/[DOWN]ボタンを押して「小音量バランス」を選択します。
[LEFT]/[RIGHT]ボタンを押して音量変化を変更できます。



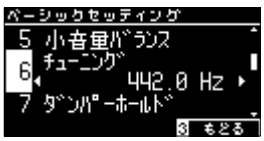
* [LEFT]/[RIGHT]ボタンを同時に押すと、初期設定の3に戻ります。

6 チューニング

音のピッチ(音程)を調整することができます。合奏のときやCDの再生に合わせて演奏するときなど、音程を合わせたいときに使用します。

■ チューニングの設定

ベーシックセッティングに入り[UP]/[DOWN]ボタンを押して「チューニング」を選択します。
[LEFT]/[RIGHT]ボタンを押してに0.5Hz単位で設定できます。



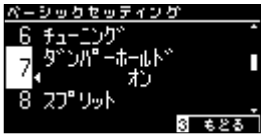
* 427.0～453.0Hzの範囲で設定できます。
* [LEFT]/[RIGHT]ボタンを同時に押すと、初期設定の440.0Hzに戻ります。

7 ダンパーホールド

ダンパーホールドとは、ストリングアンサンブルのような持続音色(鍵盤を押しつづけている間鳴りつづける音色)に対して、ダンパーペダルを踏んで鍵盤を弾いたときに鍵盤から手を離した後も音を持続させる機能です。

■ ダンパーホールドの設定

ベーシックセッティングに入り[UP]/[DOWN]ボタンを押して「ダンパーホールド」を選択します。
[LEFT]/[RIGHT]ボタンを押して「オン / オフ」を選択します。



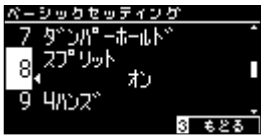
*オンにするとダンパーペダルを踏んで持続音色を弾いたときに、鍵盤から手を離した後も音が持続します。
*オフにするとダンパーペダルを踏んで持続音色を弾いたときに、鍵盤から手を離した後、音が減衰します。
*[LEFT]/[RIGHT]ボタンを同時に押すと、初期設定のオフに戻ります。

8 スプリット

スプリットはベーシックセッティングから入ることもできます。

■ スプリットの設定

ベーシックセッティングに入り[UP]/[DOWN]ボタンを押して「スプリット」を選択します。
[LEFT]/[RIGHT]ボタンを押してスプリットの「オン / オフ」を選択します。



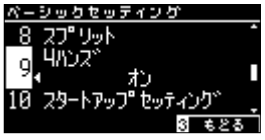
*スプリットの詳しい説明はP. 26を参照してください。
*[LEFT]/[RIGHT]ボタンを同時に押すと、初期設定のオフに戻ります。

9 4ハンズ

4ハンズはベーシックセッティングから入ることもできます。4ハンズ中の操作はスプリットで[1:4ハンズ]ボタンを使って入ったときと同様です(ただしベーシックセッティングから抜けないと変更できません)。

■ 4ハンズのオン / オフを切り替える

ベーシックセッティングに入り[UP]/[DOWN]ボタンを押して「4ハンズ」を選択します。
[LEFT]/[RIGHT]ボタンを押して4ハンズの「オン / オフ」を選択します。



*4ハンズの詳しい説明はP. 29を参照してください。
*[LEFT]/[RIGHT]ボタンを同時に押すと、初期設定のオフに戻ります。

10 スタートアップセッティング

お好みの設定を本体に記憶することで、電源を入れ直してもその設定で演奏することができます。
この機能をスタートアップセッティングといいます。記憶される内容は以下のとおりです。

■ スタートアップセッティングに記憶される内容

ベーシックセッティングで設定した内容
コンサートチューナーで設定した内容
ヘッドホンセッティングで設定した内容
MIDIセッティングで設定した内容
デュアルの設定、スプリットの設定、４ハンズの設定内容
メトロノームのテンポ、拍子、ボリューム
スタートアップセッティング実行時に選択されている音色
スタートアップセッティング実行時の各音色ボタンで選ばれている音色
スタートアップセッティング実行時の各音色ごとのエフェクトセッティング

*オートパワーオフは自動的に保存されます。

■ スタートアップセッティングを実行する

ベーシックセッティングに入り[UP]/[DOWN]ボタンを押して「スタートアップセッティング」を選択します。
スタートアップセッティングを実行する場合、[REC]ボタンを押します。



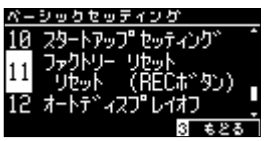
スタートアップセッティングが完了するとベーシックセッティングメニューに戻ります。

11 ファクトリーリセット

ファクトリーリセットを行うと購入時の設定に戻すことができます。

■ ファクトリーリセットを実行する

ベーシックセッティングに入り[UP]/[DOWN]ボタンを押して「ファクトリー リセット」を選択します。
[REC]ボタンを押すとファクトリーリセットが実行されます。



* レジストレーションの設定を購入時の設定に戻すには（P. 33）
* レコーダーのデータを全て消去して購入時の状態に戻すには（P. 51）

12 オートディスプレイオフ

有機ELディスプレイは長時間同じ画面を表示し続けると、ディスプレイに焼き付きが生じる場合があるため、本機では、パネルのボタンを操作していない状態が続いた場合、自動でディスプレイ表示をオフにします。

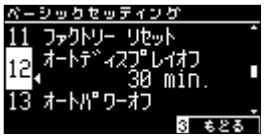
*表示はいずれかの操作ボタンを押すと、再表示されます。

■ オートディスプレイオフの設定内容

種類	内容
15sec.	15秒ボタンを操作していない状態が続くと自動でディスプレイがオフになります。
5min.	5分ボタンを操作していない状態が続くと自動でディスプレイがオフになります。
30min.	30分ボタンを操作していない状態が続くと自動でディスプレイがオフになります。

■ オートディスプレイオフの設定を行う

ベーシックセッティングに入り[UP]/[DOWN]ボタンを押して「オートディスプレイオフ」を選択します。
[LEFT]/[RIGHT]ボタンを押してディスプレイオフの設定を変更します。



*[LEFT]/[RIGHT]ボタンを同時に押すと、初期設定の5 minに戻ります。

13 オートパワーオフ

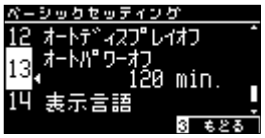
本機では、何も操作していない状態が続いた場合、電源を自動で切る設定を行うことができます。

■ オートパワーオフの設定内容

種類	内容
オフ	電源が切れない設定です。初期設定はオフに設定されています。
15 min.	15分何も操作していない状態が続くと自動で本機の電源が切れます。
60 min.	60分何も操作していない状態が続くと自動で本機の電源が切れます。
120 min.	120分何も操作していない状態が続くと自動で本機の電源が切れます。

■ オートパワーオフの設定

ベーシックセッティングに入り[UP]/[DOWN]ボタンを押して「オートパワーオフ」を選択します。
[LEFT]/[RIGHT]ボタンを押してオートパワーオフの設定を変更します。



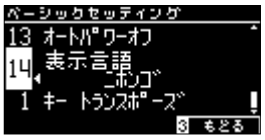
* [LEFT]/[RIGHT]ボタンを同時に押すと、初期設定のオフに戻ります。

14 表示言語

ディスプレイに表示される言語を日本語と英語の2言語より選択できます。

■ 表示言語を選択する

ベーシックセッティングに入り[UP]/[DOWN]ボタンを押して「表示言語」を選択します。
[LEFT]/[RIGHT]ボタンを押して「ニホンゴ」、「English」を選択します。



コンサートチューナーについて

アコースティックピアノの調律師は基本的な音程を作る「調律」、もっともよい状態で音が出るように整備する「整調」、演奏者のイメージに合わせた音色を作る「整音」という3つの作業を行うことでピアノの調整をしています。「コンサートチューナー」は調律師が行うこれらの作業を電子的にシミュレートし、演奏者の好みに近いピアノに調整できる機能です。21の調整項目を細かく調整できるだけでなく、オススメの設定を瞬時に行うおまかせ設定もありますので、簡単に様々なピアノ調整を楽しむことができます。

また、これらの調整した設定は音色ごとに保存することも可能です。
更に、これらの設定はレジストレーションに記憶できます。

■ コンサートチューナーの設定種類

おまかせ設定	コンサートチューナーの調整機能をあらかじめ組み合わせたオススメのセッティングです。 簡単にピアノ調整の変化を楽しむことができます。
詳細設定	ハンマー調整や、タッチカーブ調整、ダンパーペダル音調整など、調律師のような調整をすることができます。

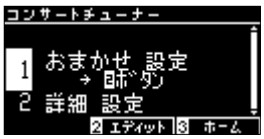
コンサートチューナー / おまかせ設定

おまかせ設定を選ぶ

コンサートチューナーの「おまかせ設定」を選ぶことで、簡単に様々なピアノ調整を楽しむことができます。

1. おまかせ設定を選択する

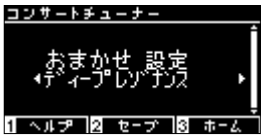
ホーム画面で[1:Cチューナー]ボタンを押してコンサートチューナーメニューに入ります。コンサートチューナーメニューで[UP]/[DOWN]ボタンを押して、「おまかせ 設定」を選択し、[2:エディット]ボタンを押しておまかせ設定に入ります。[LEFT]/[RIGHT]ボタンを押しておまかせ設定の種類を変更します。



*セッティングメニューから「2.コンサートチューナー」を選択した場合には、おまかせ設定には入りません。

2. おまかせ設定のヘルプを表示する

[1:ヘルプ]ボタンを押すと、おまかせ設定の内容が表示されます。



3. おまかせ設定を保存する

[2:セーブ]ボタンを押すと、選択したおまかせ設定が現在の音色に保存されます。再起動した後その音色を選択すると保存したおまかせ設定が選択されます。

■ おまかせ設定の種類

種類	説明
ノーマル	コンサートチューナーの詳細設定がすべて初期値の設定です。
ノーノイズ	ダンパーペダルを踏んだときの「シャーン」という音や、鍵盤を離したときの「ゴト」という音を消した設定です。
ディープレゾナンス	ダンパーペダルを踏みながら音を出したときの響きや、弦の共鳴等をより深くした設定です。
レスレゾナンス	ダンパーペダルを踏みながら音を出したときの響きや、弦の共鳴等を抑えた設定です。
ソフト	ハンマーを柔らかく調整し、鍵盤のタッチを重めにすることで響きをソフトにした設定です。落ち着いた曲や静かな曲に適しています。
ブリリアント	ハンマーを固めに調整し、ダンパーやピアノ本体等の響きを明るくした設定です。明るく華やかな曲、よく響かせたい曲に適しています。
クリーン	ハンマーを固めに調整し、鍵盤のタッチを軽くすることで響きをすっきりとさせた設定です。
ストロング	ハンマーの反応を強めて、各種ノイズや響きを強めにした設定です。抑揚のあるダイナミックな曲に適しています。
グルーミー	ハンマーを固めに調整し、鍵盤のタッチを重くすることで独特な薄暗い響きを持たせた設定です。
リッチ	ハンマーの反応を強めて鍵盤を軽めにし、響きを豊かにした設定です。
ヒストリカル	「古典派」から「ロマン派」にかけての時代に使われたピアノを再現した設定です。

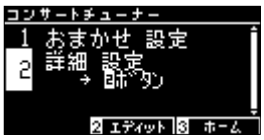
コンサートチューナー / 詳細設定

詳細設定を選ぶ

21項目の詳細な設定を行うことができます。

■ 詳細設定を選択する

ホーム画面で[1:Cチューナー]ボタンを押してコンサートチューナーメニューに入ります。
コンサートチューナーメニューで[UP]/[DOWN]ボタンを押して「詳細設定」を選択し、[2:エディット]ボタンを押して詳細設定に入ります。



*詳細設定で「ヘルプ」を選択すると各設定の説明を見ることができます。

■ 詳細設定の項目と効果のかかる音色、初期設定について

詳細設定で表示される項目と効果のかかる音色、初期設定は以下のとおりです。

項目	初期設定	効果のかかる音色
1. タッチカーブ	ノーマル	全音色
2. ボイシング	ノーマル	全音色
3. ダンパーレゾナンス	5	ピアノ音色のみ
4. ダンパーノイズ	5	ピアノ音色のみ
5. ストリングレゾナンス	5	ピアノ音色のみ
6. 開放弦レゾナンス	5	ピアノ音色のみ
7. キャビネットレゾナンス	1	全音色
8. キーオフエフェクト	5	ピアノ音色 クラシックE.ピアノ / 60's E.ピアノ / クラシックE.ピアノ2
9. キーアクションノイズ	5	ピアノ音色 ハープシコード / オクターブハープシコード
10. ハンマーノイズ	5	ピアノ音色のみ
11. ハンマーディレイ	オフ	ピアノ音色のみ
12. 大屋根開閉	オープン3	ピアノ音色のみ
13. ディケイタイム	5	全音色
14. リリースタイム	5	全音色
15. ミニマムタッチ	1	ピアノ音色 クラシックE.ピアノ / 60's E.ピアノ / クラシックE.ピアノ2
16. ストレッチ/ユーザーチューニング	（音色ごとに異なる）	全音色
17. 音律設定	平均律	全音色
18. 音律の主音	C	全音色
19. 88鍵ボリューム	ノーマル	全音色
20. ハーフペダルアジャスト （H.ペダルアジャスト）	5	全音色
21. ソフトペダルデプス （S.ペダルデプス）	3	全音色

*スタートアップセッティングを設定した場合は、その設定にしたがいます。

1-1 タッチカーブ

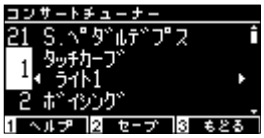
ピアノは鍵盤を弾く力を強くしていくと、音量も大きくなっていきます。この鍵盤を弾く強さと音量との関係を表したものをタッチカーブと呼びます。
本機では、10種類のタッチカーブに加えユーザーの鍵盤を弾く指の力に合わせて、自動的にタッチカーブを作成するユーザータッチカーブ機能を搭載しています。

■ タッチカーブの種類

種類	効果
ライト4	小さなお子様や、オルガンプレイヤー向きのタッチカーブです。
ライト3	弱いタッチで弾いても、安定して音が出ます。
ライト2	明るい音をより軽いタッチで出すことができます。
ライト1	明るい音を軽いタッチで出すことができます。
ノーマル	アコースティックピアノと同程度のタッチで音量が変化します。
ヘビー1	弱打の柔らかい音と強打の明るい音を出しやすくするカーブです。
ヘビー2	アクセントのあるダイナミックな演奏に向いています。
ヘビー3	柔らかい音を安定して出すことができます。
ヘビー4	柔らかい音をより安定して出すことができます。
オフ	タッチの強弱に関わらず一定の音量で発音します。
ユーザー	ユーザーが入力したタッチによりタッチカーブが作成されます。

1. タッチカーブの種類を選択する

詳細設定に入り[UP]/[DOWN]ボタンを押して「タッチカーブ」を選択します。
[LEFT]/[RIGHT]ボタンを押してタッチカーブの種類を変更します。
ユーザーを選択した場合、「1-2 ユーザータッチカーブの作成」に進みます。



2. タッチカーブの値を音色に保存する

[2:セーブ]ボタンを押すと、選択されているタッチカーブの値が音色に保存されます。再起動した後もその音色を選択すると保存されたタッチカーブの状態が設定されます。

*タッチカーブは全音色に効果があります。

1-2 ユーザータッチカーブの作成

ユーザータッチカーブ作成機能とは、ユーザーの鍵盤を弾く指の力に合わせて、自動的にタッチカーブを作成する機能です。

1. ユーザータッチカーブ作成に入る

ユーザータッチカーブを作成する場合は、ユーザーを表示し、
[REC]ボタンを押します。



2. ユーザータッチカーブを作成する

演奏します。このとき適当な鍵盤を使って弱打から強打まで弾いてください。
演奏が終わりましたら、[PLAY / STOP]ボタンを押します。「アナライズコンプリート」と画面に表示されたら作成完了です。

3. ユーザータッチカーブの値を音色に保存する

[2:セーブ]ボタンを押すと、設定したユーザータッチカーブの値が現在の音色に保存されます。
再起動した後もその音色を選択すると保存されたユーザータッチカーブの値が反映されます。

2-1 ボイシング

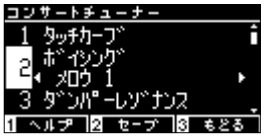
アコースティックピアノにおける、弦を叩くハンマーの状態をシミュレートしたもので、6種類のハンマータイプとユーザーボイシングが選べます。

■ ハンマーの状態の種類

種類	効果
ノーマル	通常の設定です。
メロウ1	やわらかめのハンマーをシミュレートしたソフトな音色になります。
メロウ2	メロウ1よりやわらかなハンマーをシミュレートした音色になります。
ダイナミック	タッチの強弱に応じてソフトな音色からブライトな音色までダイナミックに変化します。
ブライト1	硬めのハンマーをシミュレートしたブライトな音色になります。
ブライト2	ブライト1より硬めのハンマーをシミュレートした音色になります。
ユーザー	任意の鍵盤に対してボイシング調整が可能になります。

1. ボイシングの種類を選択する

詳細設定に入り[UP]/[DOWN]ボタンを押して「ボイシング」を選択します。
[LEFT]/[RIGHT]ボタンを押すとボイシングの種類を変更できます。



* [LEFT]/[RIGHT]ボタンを同時に押すと初期設定のノーマルに戻ります。

ユーザーを選択した場合、「2-2 ユーザーボイシング（88鍵ボイシング）」に進みます。

2. ボイシングの設定を音色に保存する

[2:セーブ]ボタンを押すと、選択されているボイシングの値が現在の音色に保存されます。再起動した後もその音色を選択すると選択されたボイシングの値が反映されます。

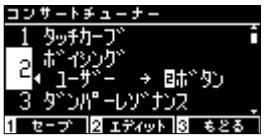
* ボイシングは全音色に効果があります。

2-2 ユーザーボイシング（88鍵ボイシング）

任意の鍵盤に対してボイシング調整が可能になります。

1. ユーザーボイシングの設定に入る

ユーザーボイシングを設定する場合は、ボイシングでユーザーを表示させ、[2:エディット]ボタンを押します。



2. ユーザーボイシングを調整する

[UP]/[DOWN]ボタンを押してチューニングする鍵盤を指定します。[LEFT]/[RIGHT]ボタンを押すとボイシング調整値を選択できます。

値の範囲は-5～+5です。「-5」が最もメロウなボイシング、「+5」が最もブライトなボイシング設定になります。

[2:+けんばん]ボタンを押しながら鍵盤を押して指定することもできます。



3. ユーザーボイシングの設定を音色に保存する

ボイシングでユーザーを表示させた状態で[1:セーブ]ボタンを押すと、設定したユーザーボイシングの値が現在の音色に保存されます。
再起動した後もその音色を選択すると保存したユーザーボイシングが反映されます。

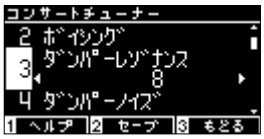
*ユーザーボイシングの設定を保存せず電源を切った場合、ユーザーボイシングは調整前の状態に戻ります。

3 ダンパーレゾナンス

ダンパーペダルを踏んだときのピアノ全体の共鳴効果をシミュレートしたもので、この共鳴音の音量を設定することができます。

1. ダンパーレゾナンスの値を設定する

詳細設定に入り[UP]/[DOWN]ボタンを押して「ダンパーレゾナンス」を選択します。
[LEFT]/[RIGHT]ボタンを押してダンパーレゾナンスの値を変更します。



値は1〜10、またはオフがあります。
「1」が最も弱く、「10」が最も強く響きます。「オフ」の場合は共鳴音はありません。

2. ダンパーレゾナンスの値を音色に保存する

[2:セーブ]ボタンを押すと、選択されているダンパーレゾナンスの状態が現在の音色に保存されます。再起動した後もその音色を選択すると選択されたダンパーレゾナンスの値が反映されます。

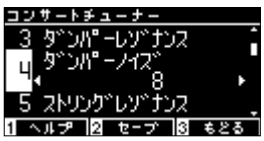
*ダンパーレゾナンスはピアノ音色のみに効果があります。

4 ダンパーノイズ

ダンパーペダルを踏んだときに発生する共鳴ノイズの音量を調節できます。

1. ダンパーノイズを設定する

詳細設定に入り[UP]/[DOWN]ボタンを押して「ダンパーノイズ」を選択します。
[LEFT]/[RIGHT]ボタンを押してダンパーノイズの値を変更します。



値は1 〜 10、またはオフがあります。
「1」が最も小さく、「10」が最も大きくなります。「オフ」の場合はダンパーノイズは鳴りません。

2. ダンパーノイズの値を音色に保存する

[2:セーブ]ボタンを押すと、選択されているダンパーノイズの状態が現在の音色に保存されます。再起動した後もその音色を選択すると選択されたダンパーノイズの値が反映されます。

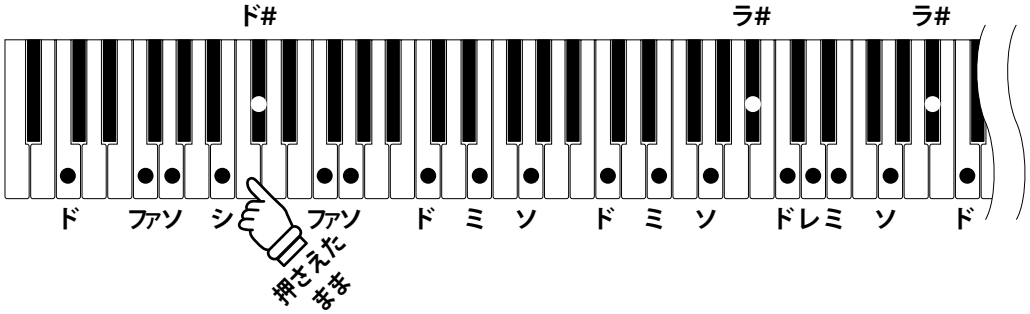
* ダンパーノイズはピアノ音色のみに効果があります。

5 ストリングレゾナンス

ピアノの弦の共鳴効果（ストリングレゾナンス）をシミュレートしたもので、この共鳴音の音量を好みに合わせて変更することができます。

■ ストリングレゾナンスとは？

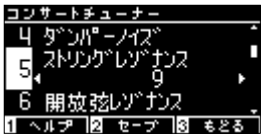
ピアノは各鍵盤ごとに弦が張られています。ある鍵盤を押さえた状態で他の鍵盤を弾くと、2つの鍵盤の音程の関係によって弦の共鳴が発生して音が出ます。これが「ストリングレゾナンス」です。
例えばドの鍵盤を押さえたままのとき、下図の鍵盤を弾くとドの鍵盤の弦が共鳴して音が出ます。ドの鍵盤をそっと押さえたままにして下図の鍵盤を弾いてすぐに止めると共鳴音が鳴っていることがよくわかります。



ピアノではある鍵盤を押さえたままにして隣の鍵盤を弾くと振動が伝わっておさえていた弦が共鳴して音が出ます。本機ではこの現象もシミュレートしています。

1. ストリングレゾナンスの値を設定する

詳細設定に入り［UP］/［DOWN］ボタンを押して「ストリングレゾナンス」を選択します。
［LEFT］/［RIGHT］ボタンを押してストリングレゾナンスの値を変更します。



値は1 ～ 10、またはオフがあります。
「1」が最も小さく、「10」が最も大きく鳴ります。「オフ」の場合は弦の共鳴音はありません。

2. ストリングレゾナンスの値を音色に保存する

［2:セーブ］ボタンを押すと、選択されているストリングレゾナンスの状態が現在の音色に保存されます。再起動した後もその音色を選択すると選択されたストリングレゾナンスの値が反映されます。

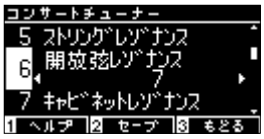
*ストリングレゾナンスはピアノ音色のみに効果があります。

6 開放弦レゾナンス

グランドピアノの高音部はダンパーが付いておらず、その高音部の弦はダンパーペダルを踏む/踏まないに関わらず常に開放されている状態となっています。開放弦レゾナンスは、その常に開放されている高音部の弦共鳴をシミュレートします。

1. 開放弦レゾナンスの値を設定する

詳細設定に入り[UP]/[DOWN]ボタンを押して「開放弦レゾナンス」を選択します。
[LEFT]/[RIGHT]ボタンを押して開放弦レゾナンスの値を変更します。



値は1〜10、またはオフがあります。
「1」が最も弱く「10」が最も強く鳴ります。

* [LEFT]/[RIGHT]ボタンを同時に押すと初期設定の5に戻ります。

2. 開放弦レゾナンスの値を音色に保存する

[2:セーブ]ボタンを押すと、選択されている開放弦レゾナンスの状態が現在の音色に保存されます。再起動した後もその音色を選択すると選択された開放弦レゾナンスの値が反映されます。

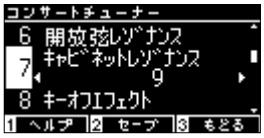
*開放弦レゾナンスはピアノ音色のみに効果があります。

7 キャビネットレゾナンス

キャビネットレゾナンスはグランドピアノの筐体そのものの余韻をシミュレートします。

1. キャビネットレゾナンスの値を設定する

詳細設定に入り[UP]/[DOWN]ボタンを押して「キャビネットレゾナンス」を選択します。
[LEFT]/[RIGHT]ボタンを押してキャビネットレゾナンスの値を変更します。



値は1〜10、またはオフがあります。
「1」が最も弱く「10」が最も強く鳴ります。

* [LEFT]/[RIGHT]ボタンを同時に押すと初期設定の1に戻ります。

2. キャビネットレゾナンスの値を音色に保存する

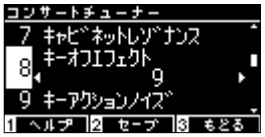
[2:セーブ]ボタンを押すと、選択されているキャビネットレゾナンスの状態が現在の音色に保存されます。再起動した後もその音色を選択すると選択されたキャビネットレゾナンスの値が反映されます。

8 キーオフエフェクト

特に低音でピアノの鍵盤を強く弾いてから離したときに、音が止まる直前にダンパーが弦に触れる音をシミュレートしたもので、この音量をお好みに合わせて調整することができます。

1. キーオフエフェクトの値を設定する

詳細設定に入り[UP]/[DOWN]ボタンを押して「キーオフエフェクト」を選択します。
[LEFT]/[RIGHT]ボタンを押してキーオフエフェクトの値を変更します。



値は1〜10、またはオフがあります。
「1」が最も弱く、「10」が最も強く鳴ります。「オフ」の場合効果はありません。

2. キーオフエフェクトの値を音色に保存する

[2:セーブ]ボタンを押すと、選択されているキーオフエフェクトの状態が現在の音色に保存されます。再起動した後もその音色を選択すると選択されたキーオフエフェクトの値が反映されます。

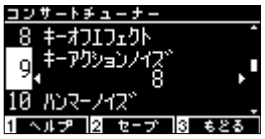
*キーオフエフェクトはピアノ音色、クラシック E.ピアノ、60's E.ピアノ、クラシック E.ピアノ2にのみに効果があります。

9 キーアクションノイズ

ピアノでは、鍵盤を離した際に鍵盤アクションも同時に戻りますが、この際に鍵盤アクションからノイズ音が発生します。キーアクションノイズはこのノイズ音をシミュレートしたもので、このノイズの音量を設定することができます。

1. キーアクションノイズを設定する

詳細設定に入り[UP]/[DOWN]ボタンを押して「キーアクションノイズ」を選択します。
[LEFT]/[RIGHT]ボタンを押して、キーアクションノイズの値を変更します。



値は1 〜 10、またはオフがあります。
「1」が最も小さく、「10」が最も大きくなります。「オフ」の場合はキーアクションノイズは鳴りません。

2. キーアクションノイズの値を音色に保存する

[2:セーブ]ボタンを押すと、選択されているキーアクションノイズの状態が現在の音色に保存されます。再起動した後もその音色を選択すると選択されたキーアクションノイズの値が反映されます。

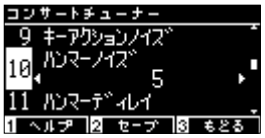
*キーアクションノイズはピアノ音色、ハープシコードにのみ効果があります。

10 ハンマーノイズ

アコースティックピアノでは、鍵盤を弾いたときハンマーが弦を叩く音や鍵盤が棚板にあたる音がします。このノイズの音量を調節します。

1. ハンマーノイズを設定する

詳細設定に入り[UP]/[DOWN]ボタンを押して「ハンマーノイズ」を選択します。
[LEFT]/[RIGHT]ボタンを押して、ハンマーノイズの値を変更します。



値は1〜10、またはオフがあります。
「1」が最も小さく、「10」が最も大きくなります。
「オフ」の場合はハンマーノイズは鳴りません。

2. ハンマーノイズの値を音色に保存する

[2:セーブ]ボタンを押すと、選択されているハンマーノイズの状態が現在の音色に保存されます。再起動した後もその音色を選択すると選択されたハンマーノイズの値が反映されます。

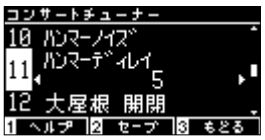
*ハンマーノイズはピアノ音色のみに効果があります。

11 ハンマーディレイ

ピアノでは、ピアニシモ（最弱打）で弾いた際、ハンマーが弦を叩くタイミングがわずかに遅くなります。ハンマーディレイはこのハンマーの遅れをシミュレートしたもので、演奏しやすいタイミングに調整することができます。

1. ハンマーディレイを設定する

詳細設定に入り[UP]/[DOWN]ボタンを押して「ハンマーディレイ」を選択します。
[LEFT]/[RIGHT]ボタンを押して値を設定します。



値は1 〜 10、またはオフがあります。
「1」が最もハンマー遅れが小さく、「10」が最もハンマー遅れが大きくなります。「オフ」の場合はハンマーディレイは発生しません。

2. ハンマーディレイの値を音色に保存する

[2:セーブ]ボタンを押すと、選択されているハンマーディレイの状態が現在の音色に保存されます。再起動した後もその音色を選択すると選択されたハンマーディレイの値が反映されます。

*ハンマーディレイはピアノ音色のみに効果があります。

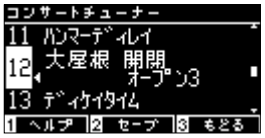
12 大屋根開閉

グランドピアノの大屋根の開き具合による音の違いをシミュレートします。

種類	効果
オープン3	大屋根を一番開いた状態を再現します。
オープン2	大屋根を中程度開いた状態を再現します。
オープン1	大屋根を少し開いた状態を再現します。
クローズ1	大屋根を閉じ、前屋根だけ開いた状態を再現します。
クローズ2	大屋根を全て閉じた状態を再現します。

1. 大屋根の開閉を設定する

詳細設定に入り[UP]/[DOWN]ボタンを押して「大屋根 開閉」を選択します。
[LEFT]/[RIGHT]ボタンを押して大屋根開閉の状態を変更します。



2. 大屋根の開閉の値を音色に保存する

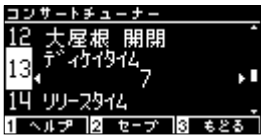
[2:セーブ]ボタンを押すと、選択されている大屋根の開閉の状態が現在の音色に保存されます。再起動した後もその音色を選択すると選択された大屋根の開閉の値が反映されます。

13 ディケイタイム

鍵盤を弾いたあとの音の減衰の長さを調整します。

1. ディケイタイムを設定する

詳細設定に入り[UP]/[DOWN]ボタンを押して「ディケイタイム」を選択します。
[LEFT]/[RIGHT]ボタンを押してディケイタイムの値を変更します。



値は1 ～ 10があります。
「1」が最も減衰が短く、「10」が最も減衰が長くなります。

2. ディケイタイムの値を音色に保存する

[2:セーブ]ボタンを押すと、選択されているディケイタイムの状態が現在の音色に保存されます。再起動した後もその音色を選択すると選択されたディケイタイムの値が反映されます。

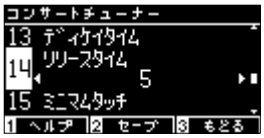
* ディケイタイムは全音色に効果があります。

14 リリースタイム

鍵盤を離したあとの音の減衰する長さを調節します。

1. リリースタイムを設定する

詳細設定に入り[UP]/[DOWN]ボタンを押して「リリースタイム」を選択します。
[LEFT]/[RIGHT]ボタンを押して、値を設定します。



値は1〜10があります。
「1」が最も減衰が短く、「10」が最も減衰が長くなります。

2. リリースタイムの値を音色に保存する

[2:セーブ]ボタンを押すと、選択されているリリースタイムの状態が現在の音色に保存されます。再起動した後もその音色を選択すると選択されたリリースタイムの値が反映されます。

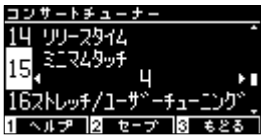
*リリースタイムは全音色に効果があります。

15 ミニマムタッチ

ピアノによって、一番小さい音が出るタッチの強さは異なります。
ミニマムタッチは、この一番小さい音が出るタッチの強さを設定することができます。

1. ミニマムタッチを設定する

詳細設定に入り[UP]/[DOWN]ボタンを押して「ミニマムタッチ」を選択します。
[LEFT]/[RIGHT]ボタンを押してミニマムタッチの値を変更します。



値は1 〜 20があります。
「1」が最もミニマムタッチが小さく、非常に弱いタッチでも音がでます。「20」が最もミニマムタッチが大きくなり、非常に弱いタッチだと音が出なくなります。

2. ミニマムタッチの値を音色に保存する

[2:セーブ]ボタンを押すと、選択されているミニマムタッチの状態が現在の音色に保存されます。再起動した後もその音色を選択すると選択されたミニマムタッチの値が反映されます。

*キーオフエフェクトはピアノ音色、クラシック E.ピアノ、60's E.ピアノ、クラシック E.ピアノ2にのみに効果があります。

16-1 ストレッチチューニング

ストレッチチューニングとは通常の平均律に比べ低音側は低く、高音側は高くするピアノ特有の調律のことです。本機では2種類のストレッチチューニングから選ぶことができます。この機能は音律設定(P. 85)で平均律が選ばれているときのみ有効な機能です。

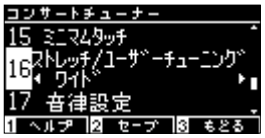
*音律設定(P. 85)

■ ストレッチチューニングの種類

種類	説明
オフ	通常の平均律のチューニングそのままの状態です。
ノーマル	通常の平均律に比べ低音側は低く、高音側は高くなります。
ワイド	通常の平均律に比べ低音側はより低く、高音側はより高くなります。
ユーザー	1鍵1鍵ごとにチューニングを設定できます。

1. ストレッチチューニングを設定する

詳細設定に入り[UP]/[DOWN]ボタンを押して「ストレッチ/ユーザーチューニング」を選択します。
[LEFT]/[RIGHT]ボタンを押してストレッチチューニングを選択します。



2. ストレッチチューニングの値を音色に保存する

[2:セーブ]ボタンを押すと、選択されているストレッチチューニングの状態が現在の音色に保存されます。再起動した後もその音色を選択すると選択されたストレッチチューニングの値が反映されます。

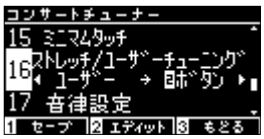
*ストレッチチューニングの設定は全音色に効果があります。

16-2 ユーザーチューニング（88鍵チューニング）の設定

ユーザーチューニングでは、88個の鍵盤それぞれのチューニングを行うことができます。

1. ユーザーチューニングの設定に入る

ユーザーチューニングを設定する場合は、
ストレッチ / ユーザーチューニングでユーザーを表示し、
[2:エディット]ボタンを押します。



2. ユーザーチューニングを設定する

[UP]/[DOWN]ボタンを押してチューニングする鍵盤を指定します。[LEFT]/[RIGHT]ボタンを押すとセント値が-50 ～ +50まで設定できます。

[2:+けんばん]ボタンを押しながら鍵盤を押して指定することもできます。

* [LEFT]/[RIGHT]ボタンを同時に押すと、初期設定の値に戻ります。



3. ユーザーチューニングの設定を音色に保存する

ストレッチ/ユーザーチューニングでユーザーを表示させた状態で[1:セーブ]ボタンを押すと、設定したユーザーチューニングの値が現在の音色に保存されます。
再起動した後もその音色を選択すると保存したユーザーチューニングが反映されます。

*ユーザーチューニングは全音色に効果があります。

17-1 音律設定

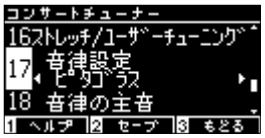
本機ではピアノの調律法として、最も一般的な平均律だけでなく、ルネッサンス、バロック等の時代に用いられた古典音律も設定することができます。

■ 音律の種類

種類	音律の説明
平均律 (Equal)	現在のピアノの調律方法として最も一般的なもので、どのように転調や移調をしても和音の響きが変わらないという特長があります。
純正律〈長調/短調〉 (Pure Major/minor)	主要な3度と5度のうなりをなくした調律法です。主要三和音が美しく響きますが、それ以外の和音は濁るものがあります。 *演奏する楽曲の調に合わせて主音を設定してお使いください。
ピタゴラス音律 (Pythagorean)	ほとんどの5度のうなりをなくした調律法で、多くの3度がうなるため和音を演奏すると響きが濁りますが、旋律を演奏するとその個性が良く出るのが特長です。
中全音律 (Meantone)	主要な長3度のうなりをなくすために少しだけ5度のうなりを許した調律法で、古い時代の鍵盤楽器で広く使用されました。
ヴェルクマイスター第Ⅲ法 (Werkmeister) キルンベルガー第Ⅲ法 (Kirnberger)	調号の少ない調は、和音の美しい中全音律に近く、調号が増えるに従って、旋律の個性が良く出るピタゴラス音律に近づく調律法です。古典音楽の作曲家の意図した"調性の性格"を反映することができます。
ユーザー音律 (USER)	オリジナルの音律を設定できます。

1. 音律を選択する

詳細設定に入り[UP]/[DOWN]ボタンを押して「音律設定」を選択します。
[LEFT]/[RIGHT]ボタンを押して音律の種類を変更できます。
ユーザーを選択した場合は「15-2 ユーザー音律設定」に進みます。



2. 音律の値を音色に保存する

[2:セーブ]ボタンを押すと、選択されている音律の状態が現在の音色に保存されます。再起動した後もその音色を選択すると選択された音律の値が反映されます。

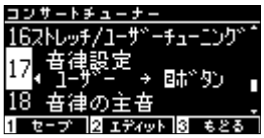
*音律の設定は全音色に効果があります。

17-2 ユーザー音律設定

ユーザー音律では各音のセント値（100セント＝半音）が設定できます。

1. ユーザー音律エディットに入る

ユーザー音律を設定する場合は、ユーザーを表示し、
[2:エディット]ボタンを押します。



2. 音律のセント値を調整する

[UP]/[DOWN]ボタンを押して各音を変更します。
[LEFT]/[RIGHT]ボタンを押すとセント値が-50 ～ +50まで設定できます。



*ユーザー音律の設定内容は、電源を切るまで保持されます。

3. ユーザー音律の設定を音色に保存する

音律設定でユーザーを表示させた状態で[2:セーブ]ボタンを押すと、設定したユーザー音律の値が現在の音色に保存されます。
再起動した後もその音色を選択すると保存したユーザー音律が反映されます。

*ユーザー音律は全音色に効果があります。

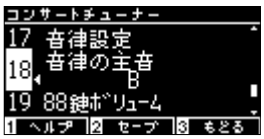
18 音律の主音の設定

平均律以外の音律は調号に合わせた音律ですので、音律の主音を設定して、演奏する曲の調号に合わせる必要があります。

1. 主音を選択する

詳細設定に入り[UP]/[DOWN]ボタンを押して「音律の主音」を選択します。
[LEFT]/[RIGHT]ボタンを押して主音を「C ～ B」の間で変更します。

平均律を選択している場合は主音の設定をしても変化はありません。



2. 音律の主音の設定の値を音色に保存する

[2:セーブ]ボタンを押すと、選択されている音律の主音の設定の状態が現在の音色に保存されます。再起動した後もその音色を選択すると選択された音律の主音の設定の値が反映されます。

*音律の主音の設定は全音色に効果があります。

19-1 88鍵ボリューム

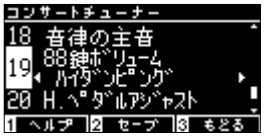
ピアノは鍵盤によって音量が異なります。これを88鍵ボリュームと呼びます。本機は、4種類の88鍵ボリュームに加え、演奏者の好みに88鍵それぞれの音量を調整できるユーザー88鍵ボリュームを搭載しています。

■ 88鍵ボリュームの種類

種類	説明
ノーマル	88鍵ボリュームの初期設定です。
ハイダンピング	上の音域に行くにしたがって、音量が次第に減少します。
ローダンピング	下の音域に行くにしたがって、音量が次第に減少します。
ハイ＆ローダンピング	上と下の音域に行くにしたがって、音量が次第に減少します。
センターダンピング	中央の鍵盤の音量が次第に減少します。
ユーザー	88鍵それぞれの音量を調整できます。

1. 88鍵ボリュームを選択する

詳細設定に入り[UP]/[DOWN]ボタンを押して「88鍵ボリューム」を選択します。
[LEFT]/[RIGHT]ボタンを押して88鍵ボリュームの種類を変更します。



* [LEFT]/[RIGHT]ボタンを同時に押すと初期設定のノーマルに戻ります。

2. 88鍵ボリュームの値を音色に保存する

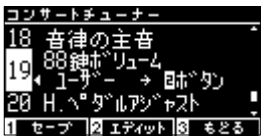
[2:セーブ]ボタンを押すと、選択されている88鍵ボリュームの状態が現在の音色に保存されます。再起動した後もその音色を選択すると選択された88鍵ボリュームの値が反映されます。

*88鍵ボリュームは全音色に効果があります。

19-2 ユーザー88鍵ボリュームを設定する

1. ユーザー88鍵ボリュームのエディットに入る

ユーザー88鍵ボリュームを作成する場合は、ユーザーを表示し、[2:エディット]ボタンを押します。



2. ユーザー88鍵ボリュームを設定する

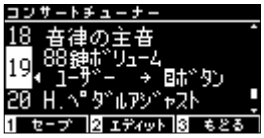
[UP]/[DOWN]ボタンを押して各鍵盤を指定します。
[LEFT]/[RIGHT]ボタンを押すとボリューム値が-50 〜 +50まで変更できます。



[2:+けんばん]ボタンを押しながら鍵盤を押して指定することもできます。

3. ユーザー88鍵ボリュームの設定を音色に保存する

88鍵ボリューム設定でユーザーを表示させた状態で[1:セーブ]ボタンを押すと、設定したユーザー88鍵ボリュームの値が現在の音色に保存されます。再起動した後もその音色を選択すると保存したユーザー88鍵ボリュームが反映されます。



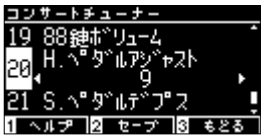
*ユーザー88鍵ボリュームは全音色に効果があります。

20 ハーフペダルアジャスト

ダンパーペダルにおいてハーフペダルが掛かり始めるポイント（音が伸び始めるポイント）を調整することができます。

1. ハーフペダルアジャストを設定する

詳細設定に入り[UP]/[DOWN]ボタンを押して「H.ペダルアジャスト」を選択します。
[LEFT]/[RIGHT]ボタンを押してハーフペダルアジャストの値を設定します。



値は1 ～ 10があり、1～7はハーフペダルがかかり始めるポイント、8～10はダンパーペダルをコントローラーとして使用する場合の設定を変更できます。
1～7の範囲では「1」が最もハーフペダルスタートが早く、「7」が最も遅くなります。
8～10の範囲では、ダンパーペダルをコントローラーとして使用する場合、「8」が浅い部分でコントロール可能となり、「10」では最も広い範囲でコントロールが可能となります。

* [LEFT]/[RIGHT]ボタンを同時に押すと初期設定の5に戻ります。

2. ハーフペダルアジャストの値を音色に保存する

[2:セーブ]ボタンを押すと、選択されているハーフペダルアジャストの状態が現在の音色に保存されます。再起動した後もその音色を選択すると選択されたハーフペダルアジャストの値が反映されます。

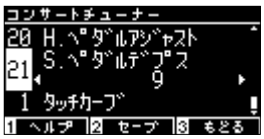
*ハーフペダルアジャストは全音色に効果があります。

21 ソフトペダルデプス

ソフトペダルデプスでは、ソフトペダルの効き具合を調整することができます。

1. ソフトペダルデプスを設定する

詳細設定に入り[UP]/[DOWN]ボタンを押して「S.ペダルデプス」を選択します。
[LEFT]/[RIGHT]ボタンを押してソフトペダルデプスの値を設定します。



値は1 ～10があります。
「1」が最もソフトペダルの効きが弱く、「10」が最も強くなります。

* [LEFT]/[RIGHT]ボタンを同時に押すと初期設定の3に戻ります。

2. ソフトペダルデプスの値を音色に保存する

[2:セーブ]ボタンを押すと、選択されているソフトペダルデプスの状態が現在の音色に保存されます。再起動した後もその音色を選択すると選択されたソフトペダルデプスの値が反映されます。

*ソフトペダルデプスは全音色に効果があります。

ヘッドホンセッティングについて

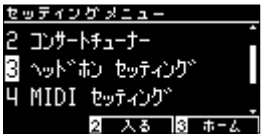
ヘッドホンセッティングでは、ヘッドホンに関係する設定を調整します。

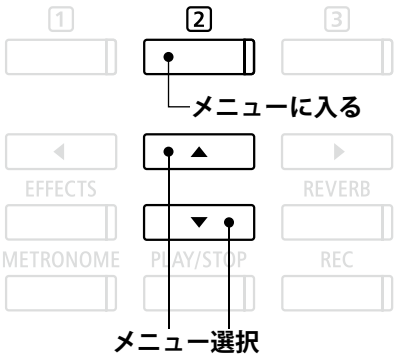
■ ヘッドホンセッティングの種類

種類	初期設定
スペイシャルヘッドホンサウンド	ノーマル
ヘッドホンタイプ	ノーマル
ヘッドホン音量	ノーマル

■ ヘッドホンセッティングに入る

ホーム画面で[2:メニュー]ボタンを押してセッティングメニューに入ります。
[UP]/[DOWN]ボタンを押して「ヘッドホン セッティング」を選択し、[2:入る]ボタンを押してヘッドホンセッティングに入ります。
[3:もどる]ボタンを押すと、セッティングメニューに戻ります。





ヘッドホンセッティング

1 スペイシャル・ヘッドホン・サウンド

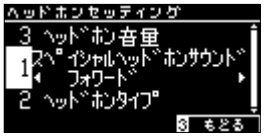
アコースティックピアノから音が出ているような立体感/臨場感のあるサウンドをイヤホンやヘッドホンで再現するのが「スペイシャル・ヘッドホン・サウンド」です。イヤホンやヘッドホンを装着していても聴感上の違和感が少なく、長時間演奏しても聴き疲れしにくくなります。

■ スペイシャル・ヘッドホン・サウンドの種類

種類	説明
オフ	効果をかけない状態です。
フォワード	前方の広がりを強調した立体感が得られます。
ノーマル	全方向バランスのとれた立体感が得られます。
ワイド	左右の広がりを強調した立体感が得られます。

■ スペイシャルヘッドホンサウンドを設定する

ヘッドホンセッティングに入り[UP]/[DOWN]ボタンを押して「スペイシャルヘッドホンサウンド」を選択します。
[LEFT]/[RIGHT]ボタンを押してスペイシャルヘッドホンサウンドの種類を変更します。



* [LEFT]/[RIGHT]ボタンを同時に押すと、初期設定のノーマルに戻ります。

2 ヘッドホンタイプ

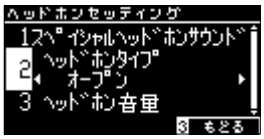
ヘッドホンには大きく分けて"オープンタイプ / クローズタイプ / セミオープンタイプ / インナーイヤー / カナル"という5つのタイプがあります。本機では、これら5つのタイプそれぞれの特長に合わせた専用の設定を内蔵していますので、お持ちのヘッドホンに最適な音で演奏することが可能です。

■ ヘッドホンタイプの種類

種類	説明
ノーマル	ヘッドホン専用の設定がされていない状態です。
オープン	オープン(開放)タイプのヘッドホンに適した設定です。
セミオープン	セミオープン(半開放)タイプのヘッドホンに適した設定です。
クローズ	クローズ(密閉)タイプのヘッドホンに適した設定です。
インナーイヤー	インナーイヤータイプのヘッドホンに適した設定です。
カナル	カナルタイプのヘッドホンに適した設定です。

■ ヘッドホンタイプを変更する

ヘッドホンセッティングに入り[UP]/[DOWN]ボタンを押して「ヘッドホンタイプ」を選択します。
[LEFT]/[RIGHT]ボタンを押してヘッドホンタイプを変更します。



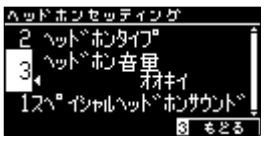
* [LEFT]/[RIGHT]ボタンを同時に押すと、初期設定のノーマルに戻ります。

3 ヘッドホン音量

「オオキイ」に設定にすると、ヘッドホンの最大音量が大きくなります。音量の小さいヘッドホンを使用するときなどに有効です。

■ ボリュームの設定をする

ヘッドホンセッティングに入り[UP]/[DOWN]ボタンを押して「ヘッドホン音量」を選択します。
[LEFT]/[RIGHT]ボタンを押してヘッドホン音量の「ノーマル / オオキイ」を変更します。



* [LEFT]/[RIGHT]ボタンを同時に押すと、初期設定のノーマルに戻ります。

⚠ **ヘッドホンを大音量で長時間使用すると、聴力低下の原因になる恐れがありますのでご注意ください。**

USBメモリの接続

本機には［USB to DEVICE］端子があります。［USB to DEVICE］端子にUSBメモリを接続する場合は、以下のことをお守りください。USBメモリの取り扱いについては、お使いのUSBメモリの取扱説明書もご参照ください。

■ USBメモリの接続

［USB to DEVICE］端子の形状に合うプラグを上下の向きに注意して差し込んでください。
本機はUSB2.0に準拠しています。USB1.1対応のメモリも使用できますが、転送スピードはそのUSBメモリの転送スピードに制限されます。
この楽器にUSBメモリを接続すると、楽器本体で制作したデータをUSBメモリに保存したり、USBメモリのデータを楽器本体で再生したりできます。
［USB to DEVICE］端子には記憶媒体としてUSBメモリのみをご使用ください。
USBメモリは延長ケーブル等を使用せず、直接本体に接続してください。

■ USBメモリのフォーマット

USBメモリの中には、この楽器で使用する前にフォーマットが必要なものがあります。［USB to DEVICE］端子にUSBメモリを接続したときに、フォーマットを促すメッセージが表示された場合は、必要なデータが入っていないことを確認してからフォーマットを実行してください（P. 108）。フォーマットを実行すると、そのメディアの中身は消去されます。
他の機器で使用したUSBメモリには本機で表示されないデータが保存されている場合があります。フォーマットするときには十分ご注意ください。

■ USBメモリの抜き差し

USBメモリを外すときは、保存 / コピー / 削除 / フォーマットなどデータのアクセス中でないことをあらかじめ確認したうえで外してください。

*本機起動中にUSBメモリが差し込まれると、USBメモリによっては音が出る状態になるまでに時間が掛かる場合がありますが、故障ではありません。

■ USBメモリの接続状態を確認する

USBメモリが本機に差し込まれている場合、ホーム画面（P. 13）にUSBアイコンが表示されます。

USBメモリが接続されている表示



USBメモリが接続されていない表示



USBメニューについて

USBメモリを接続して、本機に録音したファイルをUSBメモリに保存したり、USBメモリをフォーマットするなどの操作を行います。

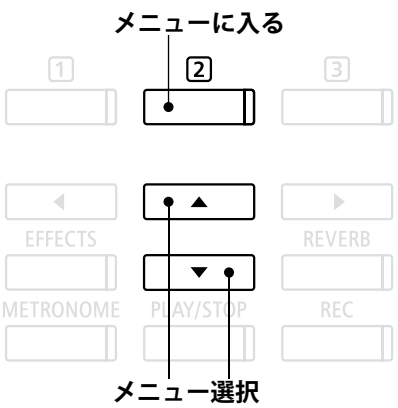
■ USBメニューの内容

項目	内容
1. ロードソング	USBメモリ内にあるソングファイル(KSOファイル)を本機に読み込みます。
2. ロード レジスト オール	USBメモリ内にあるレジストレーションファイル(オール/KM3ファイル)を本機に読み込みます。
3. ロード レジスト シングル	USBメモリ内にあるレジストレーションファイル(シングル/KM6ファイル)を本機に読み込みます。
4. ロード スタートアップセッティング	USBメモリ内にあるスタートアップセッティングファイル(KM1ファイル)を本機に読み込みます。
5. セーブ ソング(INT)	本体に録音した曲をUSBメモリにKSOファイルフォーマットにて保存します。
6. セーブ ソング(SMF)	本体に録音した曲をUSBメモリにSMFファイルフォーマットにて保存します。
7. セーブ レジスト オール	本体に設定した全てのレジストレーションをUSBメモリにKM3ファイルフォーマットにて保存します。
8. セーブ レジスト シングル	本体に設定した1つのレジストレーションをUSBメモリにKM6ファイルフォーマットにて保存します。
9. セーブ スタートアップセット	本体に設定したスタートアップセッティングをUSBメモリにKM1ファイルフォーマットにて保存します。
10. リネーム	USBメモリ内のファイル名を変更します。
11. デリート	USBメモリ内のファイルを削除します。
12. フォーマット	USBメモリを初期化します。

■ USBメニューへ入る

ホーム画面で[2:メニュー]ボタンを押してセッティングメニューに入ります。[UP]/[DOWN]ボタンを押して「USB メニュー」を選択し、[2:入る]ボタンを押してUSBメニューに入ります。



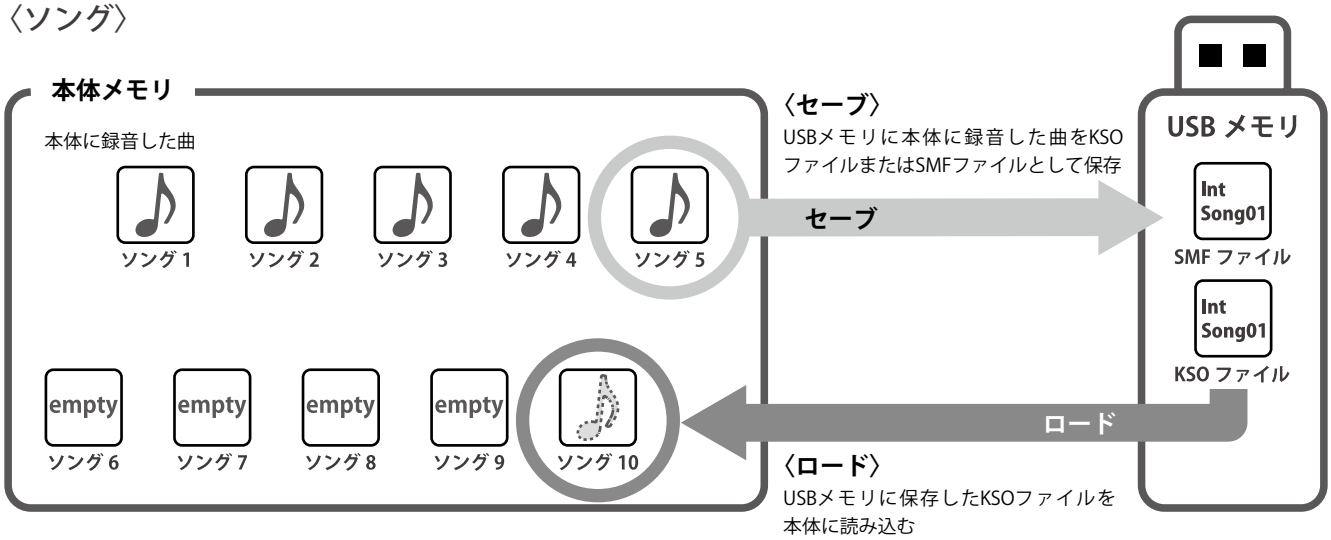


USBメニュー

■ USBメニューのロード / セーブについて

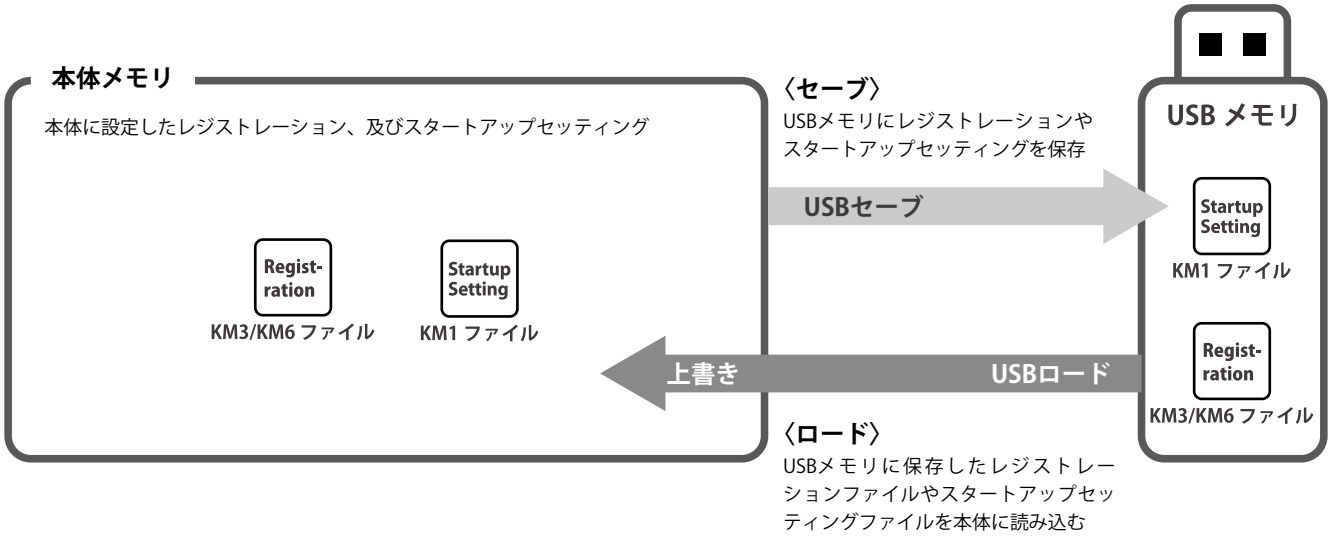
USBメニューのロード / セーブの機能は下のイラストのようになっています。

〈ソング〉



*SMFファイルは本体に読み込めません。

〈レジストレーション / スタートアップセッティング〉



1 ロード ソング

USBメモリを接続して、USBメモリ内の本機でセーブした曲(KSOファイル)を読み込むことができます。
読み込んだ曲は本機で再生することができます。

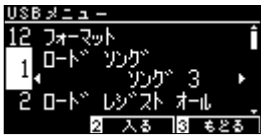
1. ロード ソングに入る

USBメニューに入り[UP]/[DOWN]ボタンを押して「ロード ソング」を選択します。



2. 読み込む場所を指定する

読み込む場所を指定します。読み込まれる場所は本体に演奏を録音するときに選択する10曲(10ソング)と共通です。
[LEFT]/[RIGHT]ボタンで読み込む場所を指定します。
すでに録音されているパートがある場合、ソング番号の後ろに＊マークがついています。
読み込む場所を指定したら[2:入る]ボタンを押します。



3. 読み込みたい曲を選ぶ

[UP]/[DOWN]ボタンで読み込みたい曲を選び、
[2:ロード]ボタンを押します。



4. 読み込む

確認のメッセージが表示されますので、読み込む場合は
[1:はい]ボタンを、キャンセルする場合は[3:キャンセル]ボタンを押してください。



5. 読み込みを終了する

[3:もどる]ボタンを押してUSBメニューに戻ります。

2 ロードレジストレーション オール

USBメモリを接続して、USBメモリ内の本機でセーブしたレジストレーションファイルをロードすることができます。レジストレーションファイルには、「シングル」と「オール」の2つの形式があります。

■ レジストレーションファイルの種類

種類	内容	拡張子
シングル	一つのレジストレーションを格納します。	KM6
オール	全ての16レジストレーションを格納します。	KM3

1. ロードレジスト オールに入る

USBメニューに入り[UP]/[DOWN]ボタンを押して「ロードレジスト オール」を選択し、[2:入る]を押してロードレジストオールに入ります。



2. 読み込むレジストレーションファイルを指定する

[UP]/[DOWN]ボタンを押して読み込みたいレジストレーションファイルオール[*.KM3]を選択し、[2:ロード]ボタンを押します。



3. 読み込む

確認のメッセージが表示されますので、読み込む場合には[1:はい]ボタンを、キャンセルする場合には[3:キャンセル]ボタンを押してください。



* レジストレーション オールの拡張子は[KM3]になります。
* レジストレーション：オール[*.KM3]は他の機種との互換性がありません。
* ロードレジストレーション オールを行うと、設定されていたレジストレーションは全て書き換えられます。利用の際には十分注意をお願いします。

3 ロードレジストレーション シングル

USBメモリを接続して、USBメモリ内の本機でセーブしたレジストレーションファイルをロードすることができます。ここでは、1つのレジストレーションを読み込むロードレジストレーション シングルの説明を行います。

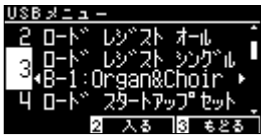
1. ロードレジスト シングルに入る

USBメニューに入り[UP]/[DOWN]ボタンを押して「ロードレジスト シングル」を選択します。



2. ロード先のレジストレーションメモリを指定する

次に本体に読み込む場所を指定します。読み込まれる場所は本体へレジストレーションを保存するときに選択するA1～A8, B1～B8と共通です。
[LEFT]/[RIGHT]ボタンでロード先のレジストレーションメモリを選択し、[2:入る]ボタンを押して指定します。



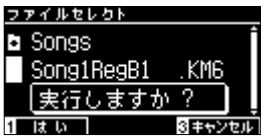
3. 読み込むレジストレーションファイルを指定する

[UP]/[DOWN]ボタンを押して読み込みたいレジストレーションファイル シングル[*.KM6]を選択し、[2:ロード]ボタンを押します。



4. 読み込む

確認のメッセージが表示されますので、読み込む場合には[1:はい]ボタンを、キャンセルする場合には[3:キャンセル]ボタンを押してください。



* レジストレーション シングルの拡張子は[KM6]になります。
* レジストレーション シングル[*.KM6]は他の機種との互換性がありません。

4 ロード スタートアップセッティング

USBメモリを接続して、USBメモリ内の本機でセーブしたスタートアップセッティングファイルを読み込むことができます。読み込んだスタートアップセッティングは楽器本体内に設定されます。

*スタートアップセッティング(P. 66)

1. ロード スタートアップセッティングに入る

USBメニューに入り[UP]/[DOWN]ボタンを押して「ロード スタートアップセット」を選択し、[2:入る]ボタンを押します。



2. 読み込むスタートアップセッティングファイルを指定する

[UP]/[DOWN]ボタンで読み込みたいスタートアップセッティングファイルを選択し、[2:ロード]ボタンを押します。



3. 読み込む

確認のメッセージが表示されますので、読み込む場合は[1:はい]ボタンを、キャンセルする場合は[3:キャンセル]ボタンを押してください。



*スタートアップセッティングファイルの拡張子は「KM1」になります。

スタートアップセッティングファイル「.KM1」は他の機種との互換性がありません。

*ロードスタートアップセッティングを行う前に本体内に設定されていたスタートアップセッティングは本操作を行うと削除されます。

5 セーブ ソング（内部フォーマット）

USBメモリを接続して、内部レコーダーのソングをUSBメモリに内部フォーマット（KSOファイル）で保存することができます。保存した曲は本機で再生したり、本体内にロードすることができます。

1. セーブソング（INT）に入る

USBメニューに入り[UP]/[DOWN]ボタンを押して「セーブ ソング（INT）」を選択します。



2. 保存したい曲を選ぶ

[LEFT]/[RIGHT]ボタンで保存したい曲を選択し、
[2:入る]ボタンを押します。



3. 名前をつける

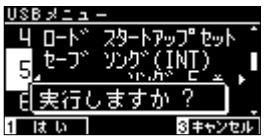
[LEFT]/[RIGHT]ボタンを押してカーソルを動かし、
[UP]/[DOWN]ボタンでアルファベットを変更します。
ファイル名が決定したら[2:セーブ]ボタンを押します。



*ファイル名は12文字までです。

4. 保存する

確認のメッセージが表示されますので、保存する場合は
[1:はい]ボタンを、キャンセルする場合は[3:キャンセル]ボタンを押します。
すでに同じファイル名がある場合、上書きをするか選択します。
上書きをする場合は[1:はい]ボタンを、名前を変更する場合は
[3:キャンセル]ボタンを押します。



*USBメモリに保存したファイルは、USBメモリ内のルートフォルダに保存されます。他のフォルダに保存することはできません。
セーブした曲を他の機器（パソコン等）で名前を変更（リネーム）すると本機でロードできなくなる場合が有ります。

5. セーブソング（INT）を終了する

[3:もどる]ボタンを押してUSBメニューに戻ります。

*保存したソングファイルの拡張子は「KSO」になります。
USBセーブソング（内部フォーマット）を行ったファイル「.KSO」は本体内のソング1 ～ 10にロードすることができます。詳しくはUSBロードソング（P. 97）を参照してください。

6 セーブ ソング（SMF）

USBメモリを接続して、内部レコーダーのソングをUSB メモリにSMF 形式でセーブすることができます。セーブした曲は本機で再生したり、他の楽器やパソコンで再生することができます。

1. セーブソング（SMF）に入る

USB メニューに入り［UP］/［DOWN］ボタンを押して「セーブ ソング（SMF）」を選択します。



2. 保存したい曲を選ぶ

［LEFT］/［RIGHT］ボタンで保存したい曲を選択し、
［2:入る］ボタンを押します。



3. 名前をつける

［LEFT］/［RIGHT］ボタンを押してカーソルを動かし、
［UP］/［DOWN］ボタンでアルファベットを変更します。
ファイル名が決定したら［2:セーブ］ボタンを押します。



4. 保存する

確認のメッセージが表示されますので、保存する場合は
［1:はい］ボタンを、キャンセルする場合は［3:キャンセル］ボタンを押してください。
すでに同じファイル名がある場合、上書きをするか選択します。
上書きをする場合は［1:はい］ボタンを、名前を変更する場合は［3:キャンセル］ボタンを押します。



*保存したソングファイルの拡張子は「MID」になります。

セーブソング（SMF）を行ったファイル「.MID」は本体内のソング1 ～ 10にロードすることはできません。本体内のソング1 ～ 10にロードしたい場合には、セーブソング（内部フォーマット）（P. 101）を利用してください。

*USBメモリに保存したファイルは、USBメモリ内のルートフォルダに保存されます。ルート以外のフォルダ内に保存することはできません。

7 セーブレジストレーション オール

本機のレジストレーションメモリの内容をUSBメモリに保存できます。レジストレーションファイルには、「シングル」と「オール」の2つの形式があります。

■ レジストレーションファイルの種類

種類	内容	拡張子
シングル	一つのレジストレーションを格納します。	KM6
オール	全ての16レジストレーションを格納します。	KM3

1. セーブレジストオールに入る

USBメニューに入り[UP]/[DOWN]ボタンを押して「セーブレジスト オール」を選択し、[2:入る]を押します。



2. 名前をつける

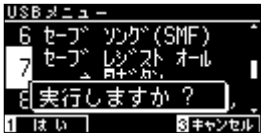
[LEFT]/[RIGHT]ボタンでカーソルを移動し、[UP]/[DOWN]ボタンでアルファベットを変更します。
ファイル名が決定したら[2:セーブ]ボタンを押します。



*ファイル名は12文字までです。

3. 保存する

確認のメッセージが表示されますので、保存する場合は[1:はい]ボタンを、キャンセルする場合は[3:キャンセル]ボタンを押してください。
すでに同じファイル名がある場合、上書きをするか選択します。
上書きをする場合は[1:はい]ボタンを、名前を変更する場合は[3:キャンセル]ボタンを押します。



レジストレーション オールの拡張子は[.KM3]になります。

*レジストレーション オールは他の機種との互換性がありません。

*USBメモリに保存したファイルは、USBメモリ内のルートフォルダに保存されます。他のフォルダに保存することはできません。

8 セーブレジストレーション シングル

本機のレジストレーションメモリの内容をUSBメモリに保存できます。ここでは、1つのレジストレーションを保存するセーブレジストレーション シングルの説明を行います。

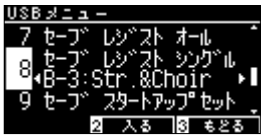
1. セーブレジストシングルに入る

USBメニューに入り[UP]/[DOWN]ボタンを押して「セーブレジスト シングル」を選択します。



2. 保存したいレジストレーションを選ぶ

[LEFT]/[RIGHT]ボタンを押し、保存したいレジストレーションA1～B8を選択し、[2:入る]を押します。



3. 名前をつける

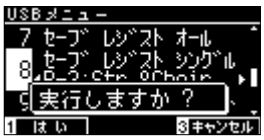
[LEFT]/[RIGHT]ボタンでカーソルを移動し、[UP]/[DOWN]ボタンでアルファベットを変更します。
ファイル名が決定したら[2:セーブ]ボタンを押します。



*ファイル名は12文字までです。

4. 保存する

確認のメッセージが表示されますので、保存する場合は[1:はい]ボタンを、キャンセルする場合は[3:キャンセル]ボタンを押してください。
すでに同じファイル名がある場合、上書きをするか選択します。
上書きをする場合は[1:はい]ボタンを、名前を変更する場合は[3:キャンセル]ボタンを押します。



レジストレーション シングルの拡張子は[.KM6]になります。
*レジストレーション シングルは他の機種との互換性がありません。
*USBメモリに保存したファイルは、USBメモリ内のルートフォルダに保存されます。他のフォルダに保存することはできません。

9 セーブ スタートアップセッティング

USBメモリを接続して、設定されているスタートアップセッティングをUSBメモリ内にセーブすることができます。セーブしたスタートアップセッティングファイルは本機で読み込むことができます。

*スタートアップセッティング(P. 66)

1. セーブ スタートアップセッティングに入る

USBメニューに入り[UP]/[DOWN]ボタンを押して「セーブ スタートアップセット」を選択し、
[2:入る]ボタンを押します。



2. 名前をつける

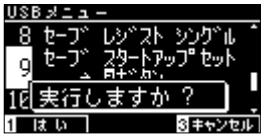
[LEFT]/[RIGHT]ボタンでカーソルを移動し、[UP]/[DOWN]ボタンでアルファベットを変更します。
ファイル名が決定したら[2:セーブ]ボタンを押します。



*ファイル名は12文字までです。

3. 保存する

確認のメッセージが表示されますので、保存する場合は[1:はい]ボタンを、キャンセルする場合は[3:キャンセル]ボタンを押してください。
すでに同じファイル名がある場合、上書きをするか選択します。
上書きをする場合は[1:はい]ボタンを、名前を変更する場合は[3:キャンセル]ボタンを押します。



*スタートアップセッティングファイルの拡張子は「KM1」になります。
スタートアップセッティングファイル「.KM1」は他の機種との互換性がありません。
*USBメモリに保存したファイルは、USBメモリ内のルートフォルダに保存されます。他のフォルダに保存することはできません。

10 リネーム

接続したUSBメモリ内のファイル名を変更することができます。

1. リネームに入る

USBメニューに入り[UP]/[DOWN]ボタンを押して「リネーム」を選択し、[2:入る]ボタンを押します。



2. 名前を変更したいファイルを選ぶ

[UP]/[DOWN]ボタンで名前を変更したいファイルを選択し、[2:リネーム]ボタンを押します。

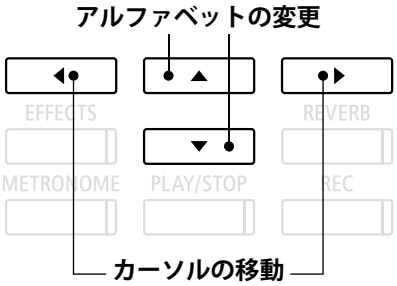


3. 名前を変更する

[LEFT]/[RIGHT]ボタンでカーソルを移動し、[UP]/[DOWN]ボタンでアルファベットを変更します。

名前の変更が終了したら[2:リネーム]ボタンを押します。

*すでに同じファイル名のファイルが存在する場合にはリネームすることはできません。



確認のメッセージが表示されますので、保存する場合は[1:はい]ボタンを、キャンセルする場合は[3:キャンセル]ボタンを押します。

*名前が12文字以上のファイルをリネーム実行すると、変更しなくても12文字以下になります。



4. リネームを終了する

音色ボタンを押すとホーム画面に戻ります。

■ 使用できる文字一覧

0~9	A~Z	a~z	!	#	$	%	&	'	(	)	+	,	-	.	;	=	@	[	]	^	_	`	{	}

ｱ~ﾝ	ｧ~ｫ	ｬ~ｭ	ｮ	ｯ	ﾞ	ﾟ	―	。	「	」	、	・
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

*全角文字は使用できません。

11 デリート

接続したUSBメモリ内のファイルを削除することができます。

1. デリートに入る

USBメニューに入り[UP]/[DOWN]ボタンを押して「デリート」を選択し、[2:入る]ボタンを押します。



2. 削除したいファイルを選ぶ

[UP]/[DOWN]ボタンで削除したいファイルを選択し、[2:OK]ボタンを押します。



3. 削除を実行する

確認のメッセージが表示されますので、削除する場合は[1:はい]ボタンを、キャンセルする場合は[3:キャンセル]ボタンを押します。

4. デリートを終了する

音色ボタンを押すとホーム画面に戻ります。

12 フォーマット

接続したUSBメモリをフォーマットすることができます。フォーマットを実行するとUSBメモリ内のデータがすべて消去されます。他の機器で使用したUSBメモリには本機で表示されないデータが保存されている場合があります。フォーマットするときには十分ご注意ください。

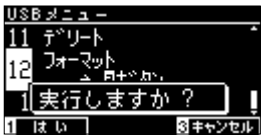
1. フォーマットに入る

USBメニューに入り[UP]/[DOWN]ボタンを押して「フォーマット」を選択し、[2:入る]ボタンを押します。



2. フォーマットを実行する

確認のメッセージが表示されますので、フォーマットを実行する場合は[1:はい]ボタンを、キャンセルする場合は[3:キャンセル]ボタンを押します。



3. フォーマットを終了する

音色ボタンを押すとホーム画面に戻ります。

Bluetooth セッティングについて

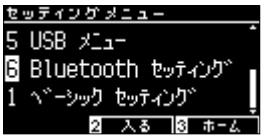
本機はスマートフォンやタブレットなどのスマートデバイスと無線で繋がります。また、本機をアプリケーションから操作したりMIDIデータの送受信をすることもできます。
本機のBluetooth MIDIまたはオーディオをオンにした状態で、本機の周辺でスマートデバイスのアプリケーションのBluetooth機能をオンにすると、接続候補としてBluetoothオーディオの場合は「CA59Audio」、Bluetooth MIDIの場合は「CA59」と表示されますので、タップして接続してください。
スマートデバイスの周辺にCA59が複数ある場合は、接続するCA59のみのBluetooth MIDIまたはBluetoothオーディオをオンにしてください。

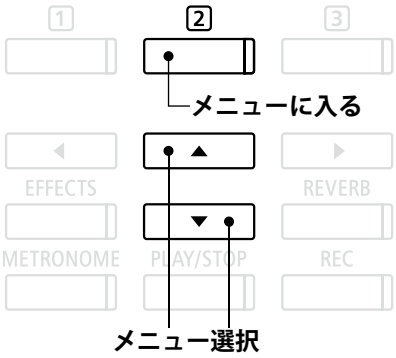
Bluetoothセッティングの種類

項目	初期設定
Bluetooth オーディオ	オフ
オーディオボリューム	+10
Bluetooth MIDI	オン

Bluetoothセッティングに入る

ホーム画面で[2:メニュー]ボタンを押してセッティングメニューに入ります。[UP]/[DOWN]ボタンを押して「Bluetoothセッティング」を選択し、[2:入る]ボタンを押します。





Bluetoothセッティング

1 Bluetoothオーディオ

本機はBluetoothオーディオでスマートデバイスと接続して、スマートデバイスのオーディオデータを本機のスピーカーから鳴らすことができます。

■ Bluetooth オーディオを設定する

Bluetoothセッティングに入り[UP]/[DOWN]ボタンを押して「Bluetooth オーディオ」を選択します。
[LEFT]/[RIGHT]ボタンを押してBluetooth オーディオの「オン/オフ」を変更します。



2 オーディオボリューム

本体のスピーカーから鳴らすスマートデバイスの音量を調節します。

■ オーディオボリュームを設定する

Bluetoothセッティングに入り[UP]/[DOWN]ボタンを押して「オーディオボリューム」を選択します。
[LEFT]/[RIGHT]ボタンを押すとボリューム値を-16～+15まで変更できます。



* [LEFT]/[RIGHT]ボタンを同時に押すと、設定した値が初期値に戻ります。

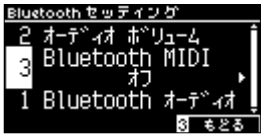
3 Bluetooth MIDI

弊社提供のアプリケーションをスマートデバイスにインストールすると、本機をアプリから操作したり、MIDIデータの送受信をすることができます。

* ご使用の前に、お使いのスマートデバイスやアプリケーションがBluetooth MIDIに対応しているかご確認ください。

■ Bluetooth MIDIを設定する

Bluetoothセッティングに入り[UP]/[DOWN]ボタンを押して「Bluetooth MIDI」を選択します。
[LEFT]/[RIGHT]ボタンを押してBluetooth MIDIの「オン / オフ」を変更します。



* アプリケーションのご使用の前に、下記の弊社ホームページより各アプリケーションの最新の対応状況・動作環境情報を必ずご確認ください。
https://www.kawai.jp/product/ca59/
* スマートデバイスと接続している状態では、本機のUSB MIDI及びMIDIは使用できません。

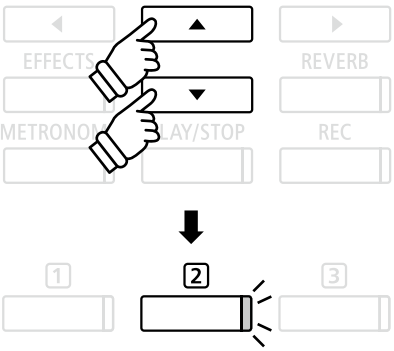
パネルロック

本機は、パネル操作をロックすることができます。

■ パネルをロックする

ホーム画面で[UP]/[DOWN]ボタンを同時に押すとパネルロック画面が表示され、[2]ボタンが点滅し、パネル操作がロックされます。



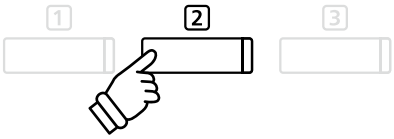


*演奏画面（音色名が表示されている画面）のみロックの操作が有効になります。その他の画面ではロックされません。

*電源をオフにしてもパネルロックは解除されません。

■ パネルロックを解除する

[2:アンロック]ボタンを2秒以上押し続けます。
ロックが解除され、パネル操作が有効になります。



困ったときは？

サービス窓口にご相談になる前に、以下をご参照ください。

- **下記「困ったときは？」**
- **弊社ホームページ「よくあるご質問」（https://www.kawai.jp/support_faq/sfc/ep/）**

それでも問題が解決しない場合にはお買い求めいただいた販売店、もしくは修理受付窓口にお問い合わせください。

電源が入らない	
コンセントとACアダプターとピアノ本体が正しく接続されていますか？	コンセント側と本体側の両方をご確認ください。 接続されていても、抜けかかっていることがあります。 一度抜いて接続しなおしてみてください。（P. 11参照）
電源が突然切れた。いつの間にか切れていた。	
オートパワーオフを設定されていませんか？	オートパワーオフの設定（P. 68参照）
音が出ない	
音量が0になっていませんか？	音量を調整する（P. 12参照）
以前ヘッドホンを使用したことがありませんか？	ヘッドホンやヘッドホン変換プラグが［PHONES］端子に差したたままになっていないかご確認ください。（P. 12参照）
ローカルコントロールがオフになっていませんか？	ローカルコントロール（『CA59 MIDIセッティングマニュアル』P. 4参照）

ピアノの音がおかしい、異音やノイズがする

グランドピアノの音は様々な響きが複雑に混ざり合うことにより、弱い音から強い音まで実に多彩な音色変化を見せます。そして、その複雑な響きの中には、キーンという金属的な音の成分やノイズ系の音も含まれるため、ある一部の倍音等にだけ注目して聴くと、特定の音が大きく感じられたり、音程がずれたように聴こえること、あるいは隣同士の鍵盤で音色が不連続に感じられることもありますが、これらは異常ではなく、総合的にコンサートグランドピアノの響きを忠実に再現したカワイのこだわりでもあります。しかし、本機ではお客様がお好みに合わせて、ピアノ音や各種共鳴音を細かく調整することも可能ですので、次の項目をご参照ください。

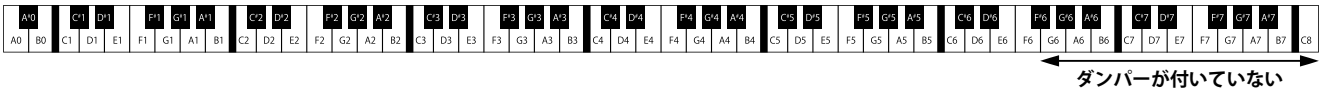
ノイズやキーンという金属的な音がする	トーンコントロール（P. 63参照）　キーアクションノイズ（P. 79参照） ダンパーノイズ（P. 76参照）
ある音だけ音量が大きい	88鍵ボリューム（P. 87参照）
ある音だけピッチがずれたように聴こえる	ユーザーチューニング（P. 84参照）
音がこもった感じ、キンキンする	大屋根の開閉（P. 81参照）　トーンコントロール（P. 63参照） ボイシング（P. 74参照）　タッチカーブ（P. 72参照）
ペダルを踏むとノイズがする	鍵盤弾いても弾かなくても、ダンパーペダルを踏むとダンパーが開放されたときに生ずる弦の共鳴音（ノイズ）がしますが、これは異常ではありません。（P. 76参照）
鍵盤を離すときにノイズがする	キーアクションノイズ（P. 79参照）　キーオフエフェクト（P. 79参照）
特定の演奏、特定の音域で音が歪む	ボリュームを大きくすると、演奏によっては音が歪む場合があります。その場合、音量を小さくして使用してください。
特定のピアノ音色で音程や音質がおかしい	内蔵のピアノ音色は、ピアノ本来の音を可能な限り忠実に再現しています。 ピアノ音は複雑な響きを持っているため、聴く位置や環境によって音の感じ方が変わります。また単音で強打した場合と曲の流れの中で弾いた場合でも音の感じ方は変わります。そのため音域によっては倍音が強く聴こえ、音程や音質が異質に感じられる場合があります。これは異常ではありません。 音程や音質が気になる場合は次の項目を調整してみてください。 トーンコントロール（P. 63参照）　ストレッチチューニング（P. 83参照） 88鍵ボリューム（P. 87参照）

鍵盤を弾くとカタカタ音がする

本機は、グランドピアノと同様のアクション機構を備えた木製鍵盤を採用しています。
鍵盤を弾くと、カタカタと打鍵音がしますが、これはグランドピアノをシミュレートしたもので、異常ではありません。

ペダルが効かない

ペダルコードが正しく接続されていますか？	接続されていても、抜けかかっていることがあります。 一度抜いて接続しなおしてみてください。（P. 124参照）
アジャスターが適正な長さになっていますか？	アジャスターを調整する（P. 10参照）
高音域で、ダンパーが効かない	ピアノにおいて、一番高い領域の鍵盤（下図）にはダンパーという止音装置が付いておりません。本機はその機構を忠実に再現しているため、その鍵盤についてはダンパーペダルを踏んでも踏まなくても音が伸びます。



ペダルを踏むとぐらぐらする

アジャスターが適正な長さになっているか、ご確認ください。（P. 10参照）

ディスプレイが消えた。

いずれかの操作ボタンを押すと、ディスプレイが再表示されます。（P. 67参照）

曲の再生

レッスン曲が開始しない	曲を選んだあと、［PLAY / STOP］ボタンを押してください。（P. 38参照）
曲（MP3,WAV）を再生しても音が出ない	USBレコーダーのボリュームが0になっていませんか？（P. 56参照）
USBメモリに保存されている曲が再生できない	再生不可能なデータフォーマットである可能性があります。 （P. 47参照） お使いのUSBメモリの転送スピードが、オーディオファイル再生には不十分な可能性があります。USB2.0Hi-Speed規格に対応した他のUSBメモリをお試しください。 （P. 94参照）
USBメモリに保存されているSMFファイルが、変な音で再生される	本機はGM規格には対応しておりません。一部のSMF（スタンダードMIDIファイル）は、GM機器と異なる音色で再生されることがありますが、故障ではありませんのでご了承ください。
MP3 / WAVで録音したオーディオファイルの音量が小さすぎる、または大きすぎる（歪んでいる）	録音レベルの設定を調節してください。（P. 53参照）

USBメモリ

USBメモリが認識されない、または動作しない	USBメモリを一度抜いて、挿し直してください。再接続しても問題が解消されない場合は別のUSBメモリをお試しください。
USBメモリを挿したとき、しばらく時間がかかる	8Gバイト以上などの大容量のUSBメモリを挿したとき、認識に時間がかかる場合がありますが、故障ではありません。

Bluetooth MIDI

接続できない	本機のBluetooth MIDI機能がオフになっていませんか？ スマートデバイスのBluetooth設定ではなく、アプリケーション内の設定から接続してください。
接続したスマートデバイスが繋がらない	接続してもすぐに切れてしまう場合は、スマートデバイス側のBluetoothスイッチを一度オフにして再度オンにすると、接続される場合があります。
内蔵曲の演奏データが送信されない	内蔵曲の演奏データはBluetooth MIDIから出力されません。

デモソング一覧

音色名	曲名	作曲者名
PIANO1		
SK コンサートグランド	スケルツォ第2番	ショパン
EX コンサートグランド	ラ・カンパネラ	リスト
SK-5グランドピアノ	無言歌第18番「二重唱」	メンデルスゾーン
ジャズグランド	オリジナル	カワイ
メロウグランド	ソナタ第30番	ベートーベン
メロウグランド2	亜麻色の髪の乙女	ドビュッシー
PIANO2		
アップライトピアノ	ノクターン第20番「遺作」	ショパン
スタンダードグランド	子犬のワルツ	ショパン
ポップグランド	カワイオリジナル	カワイ
モダンピアノ	カワイオリジナル	カワイ
E.PIANO		
クラシックE.ピアノ	オリジナル	カワイ
モダンE.ピアノ	オリジナル	カワイ
モダンE.ピアノ2	オリジナル	カワイ
ORGAN		
ジャズオルガン	オリジナル	カワイ
ブルースオルガン	オリジナル	カワイ
チャーチオルガン	コラール前奏曲“目覚めよ、と呼ぶ声あり”	バッハ
ディアパソン	主よ人の望みの喜びよ	バッハ
HARPSI & MALLETS		
ハープシコード	フランス組曲第6番	バッハ
ビブラフォン	オリジナル	カワイ
クラビ	オリジナル	カワイ
STRINGS		
スローストリングス	オリジナル	カワイ
シンセストリングス	オリジナル	カワイ
ストリングアンサンブル	四季“春”	ヴィヴァルディ
VOCAL & PAD		
クワイア	ロンドンデリーの歌	アイルランド民謡
クワイア2	オリジナル	カワイ
ファンタジー	オリジナル	カワイ
ファンタジー2	オリジナル	カワイ
BASS & GUITAR		
ウッドベース	オリジナル	カワイ
エレクトリックベース	オリジナル	カワイ
フレットレスベース	オリジナル	カワイ
W.ベース＆シンバル	オリジナル	カワイ
バラードギター	オリジナル	カワイ
ピックナイロンギター	オリジナル	カワイ

ピアノミュージック/レッスン曲集一覧

■ ピアノミュージック

	曲名	作曲者名
1	タンブラン	ラモー
2	調子のよいかじ屋	ヘンデル
3	メヌエットト長調（BWV.Anh.114）	バッハ
4	メヌエットト短調（BWV.Anh.115）	
5	メヌエットト長調（BWV.Anh.116）	
6	かっこう	ダカン
7	ガヴォット	ゴセック
8	メヌエット	ボッケリーニ
9	主題と変奏「ピアノ・ソナタ第11番K.331」より第1楽章	モーツァルト
10	トルコ行進曲「ピアノ・ソナタ第11番K.331」より第3楽章	
11	メヌエット	
12	ピアノ・ソナタ「月光」より第1楽章	ベートーベン
13	ピアノ・ソナタ「悲愴」より第2楽章	
14	エリーゼのために	
15	ロンド･ファヴォリ	フンメル
16	即興曲　作品90の4	シューベルト
17	楽興の時　作品94の3	
18	間奏曲	
19	即興曲　作品142の3	
20	歌の翼に	メンデルスゾーン
21	春の歌	
22	ロンド･カプリッチョーソ	
23	別れの曲	ショパン
24	雨だれの前奏曲	
25	子犬のワルツ	
26	ノクターン第2番	
27	幻想即興曲	
28	軍隊ポロネーズ	
29	英雄ポロネーズ	

■ レッスン曲集

1. バイエルピアノ教則本　全曲　（ただし予備練習、付録を除く）（カワイ出版）
2. ブルクミュラー25の練習曲　全曲　（カワイ出版）
3. チェルニー100番練習曲　全曲　（カワイ出版）
4. チェルニー30番練習曲　全曲　（カワイ出版）
5. ソナチネ・アルバム1　全曲　（カワイ出版）
6. バッハ・インヴェンション　全曲　（カワイ出版：バッハ・インヴェンションとシンフォニア）
7. ショパン・ワルツ集　全曲　（全音楽譜出版社）

*指のトレーニングとして「ハノン」（第一部20曲）も内蔵しています。

コンサートマジック曲目一覧

	曲名	作曲者名
	映画／アニメ	
1	アンパンマンのマーチ	三木たかし
2	おどるポンポコリン	織田哲郎
3	夢をかなえてドラえもん	黒須克彦
4	勇気100%	馬飼野康二
5	きかんしゃトーマスのテーマ2	E.ウェルチ
6	サザエさん	筒美京平
7	さんぽ	久石譲
8	となりのトトロ	久石譲
9	崖の上のポニョ	久石譲
10	海の見える街	久石譲
11	いつも何度でも	木村弓
12	レット・イット・ゴー ～ありのままで～	K.アンダーソン、 R.ロペス
13	アンダー・ザ・シー	A.メンケン
14	ミッキーマウスマーチ	J.ドッド
15	小さな世界	シャーマン兄弟
16	ビビディバビディブー	マーク・デイヴィッド 他2名
17	ハイ ホー	F.チャーチル
18	星に願いを	L.ハーライン
19	狼なんかこわくない	F.チャーチル
20	チムチムチェリー	シャーマン兄弟
	日本の歌	
21	春が来た	岡野貞一
22	さくら さくら	日本古謡
23	ふるさと	岡野貞一
24	七つの子	本居長世
25	かたつむり	文部省唱歌
26	虫のこえ	文部省唱歌
27	もみじ	岡野貞一
28	夕やけこやけ	草川信
29	ゆき	文部省唱歌
30	ひらいたひらいた	わらべうた
31	かくれんぼ	下総皖一
	アメリカン・クラシック／世界の民謡	
32	聖者の行進	アメリカ民謡
33	おじいさんの古時計	アメリカ民謡
34	リパブリック賛歌	アメリカ民謡
35	アルプス一万尺	アメリカ民謡
36	線路は続くよどこまでも	アメリカ民謡
37	10人のインディアン	アメリカ民謡
38	わらの中の七面鳥	アメリカ民謡
39	森のくまさん	アメリカ民謡
40	ゆかいな牧場	アメリカ民謡
41	ケンタッキーの我が家	フォスター
42	故郷の人々	フォスター
43	草競馬	フォスター
44	ロンドンデリーの歌	アイルランド民謡
45	アニー ローリー	スコットランド民謡
46	ロンドン橋	イギリス民謡
47	こぎつね	ドイツ民謡
48	山の音楽家	ドイツ民謡
49	ぶんぶんぶん	ボヘミア民謡
50	きらきら星	フランス民謡
51	フニクリ フニクラ	デンツァ
52	サンタルチア	ナポリ民謡
53	こいぬのマーチ	外国曲
	クラシック	
54	喜びの歌	ベートーベン
55	ウィリアムテル序曲	ロッシーニ
56	天国と地獄	オッフェンバック
57	新世界より家路	ドボルザーク
58	エンターティナー	ジョプリン
59	メヌエット ト長調	バッハ
60	花のワルツ	チャイコフスキー
61	スケーターズ・ワルツ	ワルトトイフェル
62	美しく青きドナウ	ヨハン・シュトラウス
63	闘牛士の歌	ビゼー
64	ピチカート・ポルカ	ヨハン・シュトラウス
65	ブラームスの子守歌	ブラームス
66	ワシントン ポスト マーチ	スーザ
67	アメリカン・パトロール	ミーチャム
68	眠りの森の美女	チャイコフスキー
69	ガボット	ゴセック
70	軍隊行進曲	シューベルト
71	ジムノペディ 1番	サティ
72	前奏曲　作品28-7	ショパン
73	皇帝円舞曲	ヨハン・シュトラウス
74	メープルリーフラグ	ジョプリン
75	双頭のわしの旗のもとに	ワグナー
76	びっくりシンフォニー	ハイドン
77	凱旋行進曲	ヴェルディ
78	エリーゼのために	ベートーベン
79	アヴェ マリア	シューベルト
80	ハバネラ	ビゼー
81	ジプシーの歌	ビゼー
82	未完成交響曲	シューベルト
83	結婚行進曲	メンデルスゾーン
84	婚礼の合唱	ワグナー
	クリスマスの曲	
85	おめでとうクリスマス	イギリス民謡
86	ジングルベル	ピアポント
87	もろ人こぞりて	賛美歌
88	きよしこの夜	グルーバー

リズム一覧

ビート	No.	リズム
8 ビート	1	8ビート 1
	2	8ビート 2
	3	8ビート 3
	4	ポップ 1
	5	ポップ 2
	6	ポップ 3
	7	ポップ 4
	8	ポップ 5
	9	ポップ 6
	10	ライド ビート 1
	11	ライドビート 2
	12	ダンスポップ 1
	13	カントリーポップ
	14	スムース ビート
	15	リム ビート
8 ビートロック	16	モダンロック 1
	17	モダンロック 2
	18	モダンロック 3
	19	モダンロック 4
	20	ポップ ロック
	21	ライドロック
	22	ジャズロック
	23	サーフロック
16 ビート	24	16ビート
	25	インディーポップ 1
	26	アシッドジャズ 1
	27	ライドビート 3
	28	ダンスポップ 2
	29	ダンスポップ 3
	30	ダンスポップ 4
	31	ダンスポップ 5
	32	ダンスポップ 6
	33	ダンスポップ 7
	34	ダンスポップ 8
	35	インディーポップ 2
	36	ケイジャンロック
8 ビートバラード	37	ポップバラード 1
	38	ポップバラード 2
	39	ポップバラード 3
	40	ロックバラード 1
	41	ロックバラード 2
	42	スロージャム
	43	6/8 R&Bバラード
	44	トリプレットバラード 1
	45	トリプレットバラード 2
16 ビートバラード	46	16バラード 1
	47	ダンスバラード 1
	48	ダンスバラード 2
	49	ダンスバラード 3
	50	エレクトロポップ
	51	16バラード 2
	52	モダンポップバラード
16 ビートダンス	53	ダンス 1
	54	ダンス 2
	55	ダンス 3
	56	ディスコ
	57	テクノ 1
	58	テクノ 2
16 ビートスウィング	59	16シャフル 1
	60	16シャフル 2
	61	16シャフル 3
	62	アシッドジャズ 2
	63	アシッドジャズ 3
	64	ニュージャックスウィング
	65	モダンダンス
	66	インディーポップ 3
8 ビートスウィング	67	スウィングビート
	68	モータウン
	69	カントリー 2ビート
	70	ブギ
トリプレット	71	8シャフル 1
	72	8シャフル 2
	73	8シャフル 3
	74	ダンス シャフル
	75	トリプレット 1
	76	トリプレット 2
	77	トリプレットロック
	78	レゲエ
ジャズ	79	H.H. スウィング
	80	ライドスウィング
	81	ファスト 4ビート
	82	アフロキューバン
	83	ジャズボッサ
	84	ジャズワルツ
	85	5/4スウィング
ラテン／トラディショナル	86	H.H. ボサノバ
	87	ライドボサノバ
	88	ビギン
	89	ルンバ
	90	チャチャ
	91	マンボ
	92	サンバ
	93	サルサ
	94	メレンゲ
	95	タンゴ
	96	ハバネラ
	97	ワルツ
	98	ラグタイム
	99	マーチ
	100	6/8マーチ

音色一覧

PIANO 1
SK コンサートグランド
EX コンサートグランド
SK-5グランドピアノ
ジャズグランド
メロウグランド
メロウグランド 2

PIANO 2
アップライト ピアノ
スタンダード グランド
ポップ グランド
ポップ グランド2
ブギウギ ピアノ
モダン ピアノ

E.PIANO
クラシック E.ピアノ
60's E.ピアノ
モダン E.ピアノ
クラシック E.ピアノ 2
モダン E.ピアノ 2

ORGAN
ジャズ オルガン
ブルース オルガン
バラード オルガン
ゴスペル オルガン
チャーチ オルガン
ディアパソン
オクターブ ディアパソン
オクターブ プリンシパル

HARPSI & MALLETS
ハープシコード
ビブラフォン
クラビ
マリンバ
チェレスタ

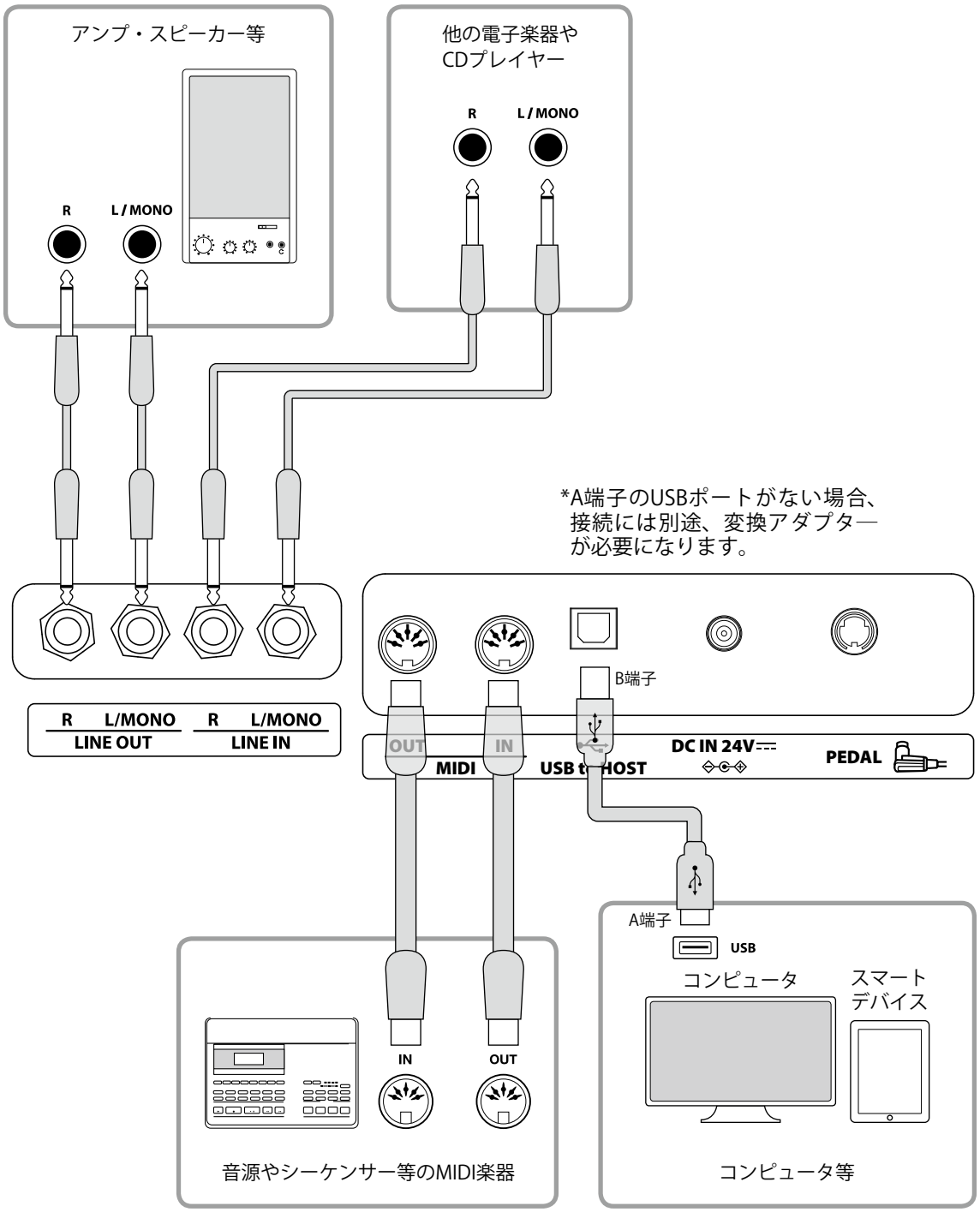
STRINGS
スロー ストリングス
シンセ ストリングス
メロウ ストリングス
ストリング アンサンブル

VOCAL & PAD
クワイア
クワイア 2
ファンタジー
ファンタジー 2

BASS & GUITAR
ウッド ベース
エレクトリック ベース
フレットレス ベース
W.ベース & シンバル
バラード ギター
ピックナイロン ギター

他の機器との接続

本機の本体底面には、MIDI機器、コンピューター、スピーカー、およびミキサーと接続することができる各種の端子を搭載しています。また、外部のオーディオのソース（MP3プレーヤー、タブレット機器、CDプレーヤーなど）を本機のスピーカーシステムと接続することができます。下図は、代表的な接続例です。



- **他の機器と接続するときは本機の電源を切ってから行ってください。**
- **本機のラインイン（LINE IN）とラインアウト（LINE OUT）を直接ケーブルで接続しないでください。発振音が発生し、故障の原因になります。**

他の機器との接続

■ USBドライバーについて

コンピュータとデジタルピアノをUSB接続してデータをやりとりするためには、デジタルピアノを正しく動作させるためのソフトウェア（USB-MIDIドライバー）がコンピュータに組み込まれている必要があります。
お使いのコンピュータのOSによって使用するUSB-MIDIドライバーが異なります。USBドライバー関する情報は下記の弊社ホームページよりご確認ください。

https://www.kawai.jp/product/ca59/

■ スマートデバイスについて

本機はスマートデバイスと接続し、楽器に対応したアプリケーションを使ってお楽しみいただけます。
ご使用の前に、下記の弊社ホームページより各アプリケーションの最新の対応状況・動作環境情報を必ずご確認ください。

https://www.kawai.jp/product/ca59/

■ USBに関するご注意

MIDIとUSBが同時に接続された場合、USBが優先されます。ただし、Bluetooth MIDIでスマートデバイスと接続されている場合、Bluetooth MIDIが優先されます。

デジタルピアノとコンピュータをUSBケーブルで接続する場合は、まずUSBケーブルを接続してからデジタルピアノの電源を入れてください。

デジタルピアノとコンピュータをUSB接続した場合、通信を開始するまでしばらく時間がかかることがあります。

デジタルピアノとコンピュータをハブ経由で接続し動作が不安定な場合は、コンピュータのUSBポートに直接接続してください。

下記の動作中、デジタルピアノの電源オン / オフ、USBケーブルの抜き差しを行うと、コンピュータやデジタルピアノの動作が不安定になる場合があります。
「ドライバーのインストール中」「コンピュータの起動中」「MIDIアプリケーションが動作中」「コンピュータと通信中」「省電力モードで待機中」

お使いのコンピュータの設定によっては、USBが正常に動作しない場合があります。ご使用になるコンピュータの取扱説明書をよくお読みの上、適切な設定を行ってください。

■ Bluetoothに関するご注意

Bluetooth機能が使用する2.4GHz帯は、さまざま機器が運用されています。場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。

Bluetooth 接続がオンの状態で、周辺に複数のBluetooth 対応機器がある場合は、接続したい機器以外のペアリングに注意してください。

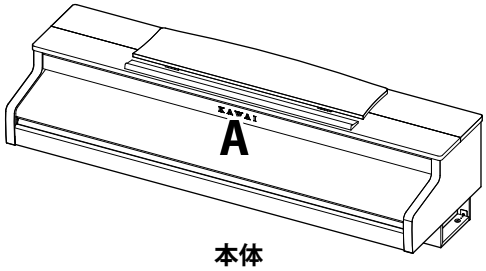
* MIDI：Bluetooth（Ver4.1 GATT対応）/ Bluetooth Low Energy MIDI Specificationに準拠。
* Audio：Bluetooth（Ver3.0）

組み立て方

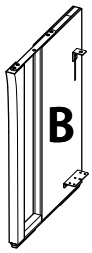
組立作業は必ず2人で行ってください。
本機を移動するときは、水平に持ち上げるようにし、手や指をはさんだり、足の上に落とさないよう十分注意してください。

■ 部品の確認

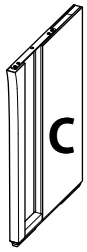
組み立てる前に、部品がそろっていることを確認してください。また、プラスドライバーをご用意ください。



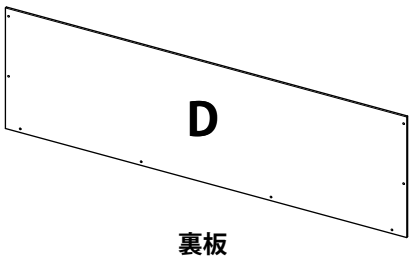
本体



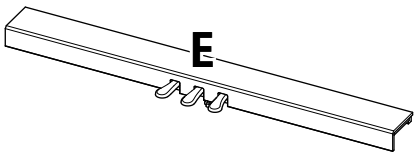
側板1



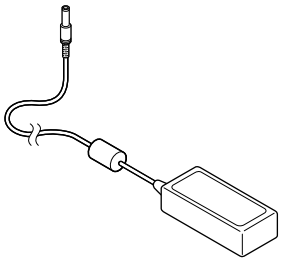
側板2



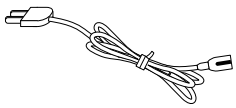
裏板



ペダル土台（アジャスター付）



ACアダプター



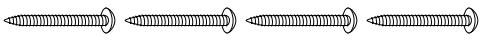
電源コード

ネジセット

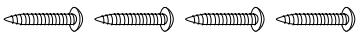
ⓐ ネジ（平ワッシャー・スプリングワッシャー付）：4本



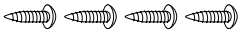
ⓑ 長い黒ネジ（4 x30mm）：4本 *



ⓒ 短い黒ネジ（4 x 20mm）：4本 *



ⓓ 銀ネジ（4 x 16mm）：4本



* 本体色がホワイトメープルの場合、黒ネジではなく銀ネジになります。
* ⓓ銀ネジは別袋に入っています。

ヘッドホンフックセット

ヘッドホンフック



取付ネジ（4 x 14mm）：2本



付録

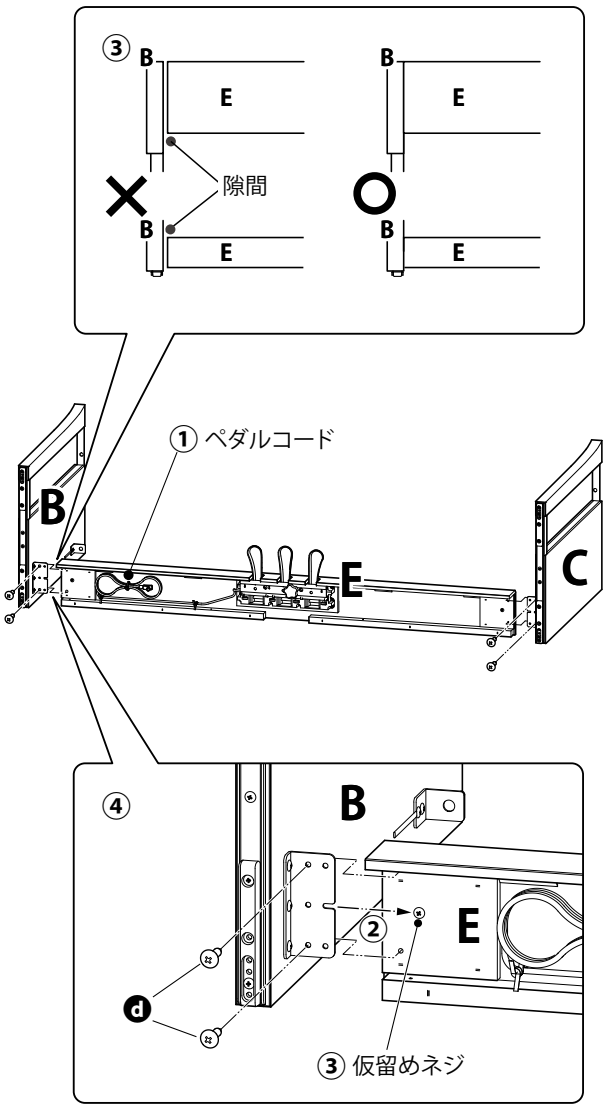
1. B・CをEに固定する

1 - ①
Eに結ばれているペダルコード(1箇所のみ)をほどいて、コードを引き出す。

1 - ②
B・Cの金属の溝に、**E**に仮留めされているネジをはめ込む。

1 - ③
B・Cと**E**を**ぴったりと押しあてて**仮留めネジを締める。

1 - ④
残りのネジ穴に ⓓ 銀ネジ4本できつく締め固定する。



2. Dを固定する

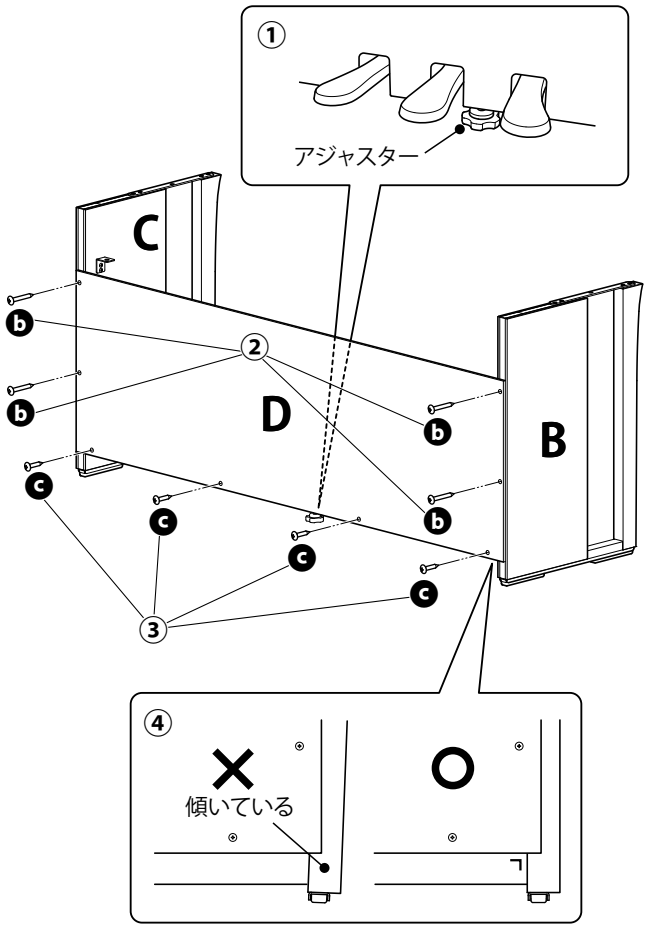
2 - ①
下図のようにスタンドを起こす。
このとき床に楽譜や部品がないこと、アジャスターがしっかり付いていることを確認する。

2 - ②
Dと**B・C**のネジ穴の位置を合わせ、ⓑ 長い黒ネジ*4本で仮留めする。

2 - ③
Dと**E**のネジ穴の位置を合わせ、ⓒ 短い黒ネジ*4本で固定する。

2 - ④
仮留めした ⓑ 長い黒ネジ*を**B・C**と**D**に**隙間がないよう密着させて傾きがないよう締める。**

*本体色がホワイトメープルの場合、黒ネジではなく、銀ネジになります。



付録

3. Aを載せる

3 - ①

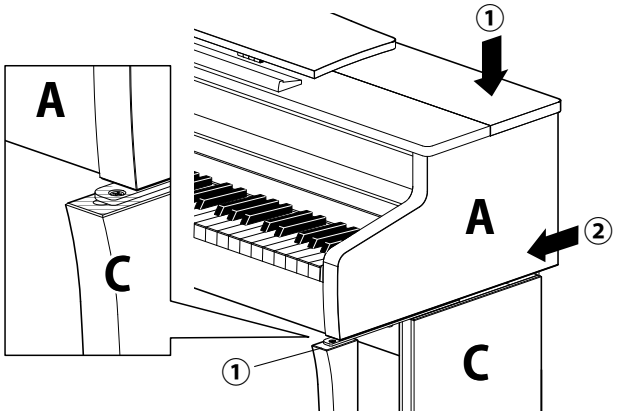
Aを十分上に持ち上げ、真上から見て**B・Cの柱の上面**が見えるように静かに載せる。

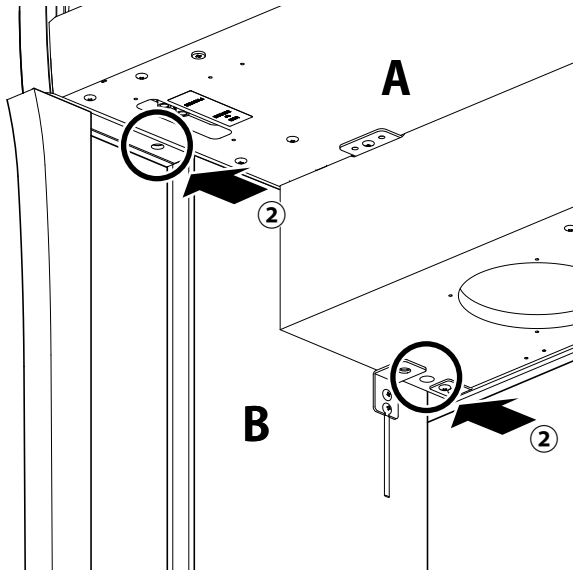
3 - ②

Aの底面のネジ穴とB・Cの金具の穴の位置を合わせるように前に動かす。

ネジ穴が見えない場合は、**2 -** ④で締めたネジをゆるめ再調整する。

本体とスタンドの間で手や指をはさまないよう注意してください。





4. Aを固定する

4 - ①

本体とスタンドを ⓐ ネジ（平ワッシャー・スプリングワッシャー付き）4本で仮留めする。

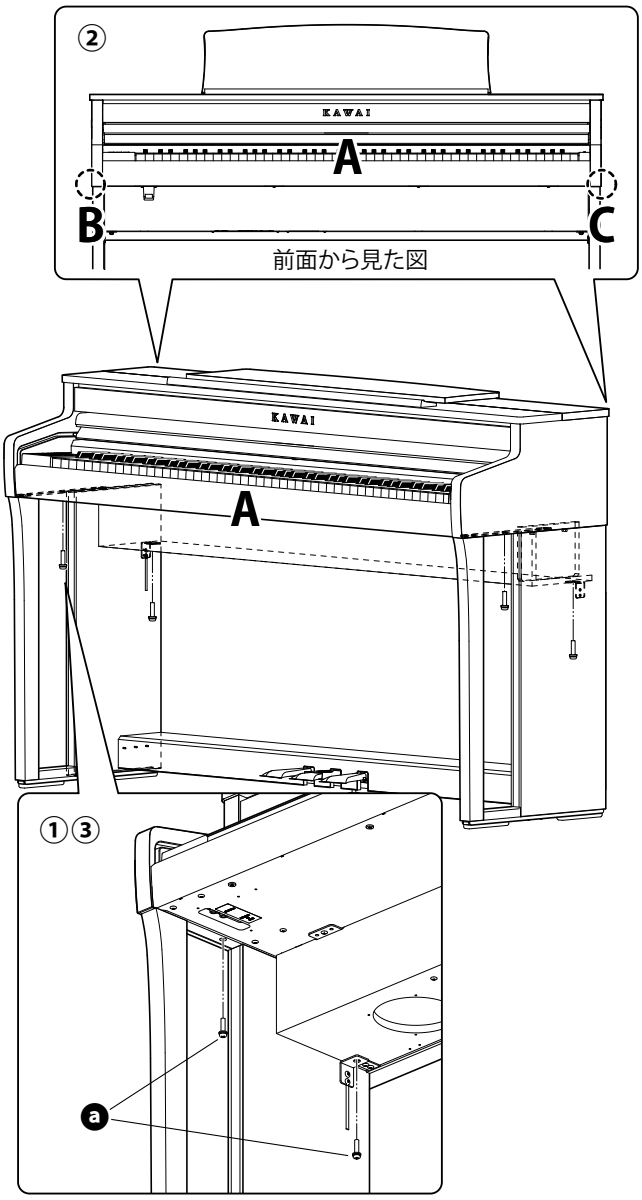
4 - ②

まず、ネジを軽く締めて4本のネジがまっすぐ入るように本体の位置を動かし、前面から見て**A**本体の左右の張り出し部分が均等になるよう調整する。

4 - ③

最後に、仮留めしたネジをスプリングワッシャーがつぶれるまでしっかり締めて固定する。

必ず本体とスタンドをネジで固定してください。
固定しないと、本体がスタンドから落ち大変危険です。

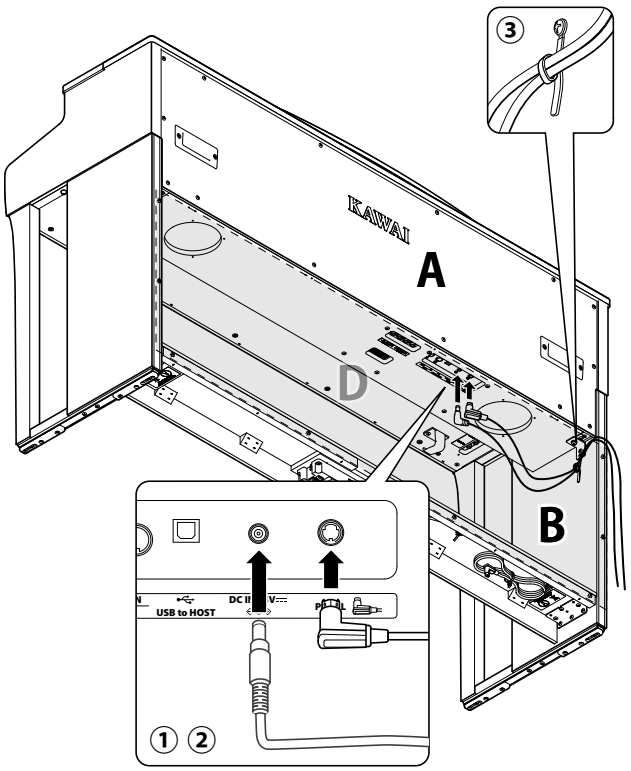


5. コード類を接続する

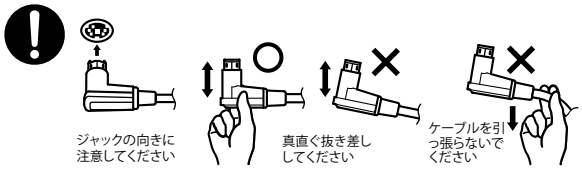
5 - ①
Dの上部すき間からペダルコードを通し、**A**の底面にあるペダル端子に接続する。

5 - ②
ACアダプターの端子を**D**の上部すき間から**A**の底面にあるDC IN端子に接続し、ACアダプターに電源コードを接続する。

5 - ③
Bに付いているバインド金具でコードを固定する。

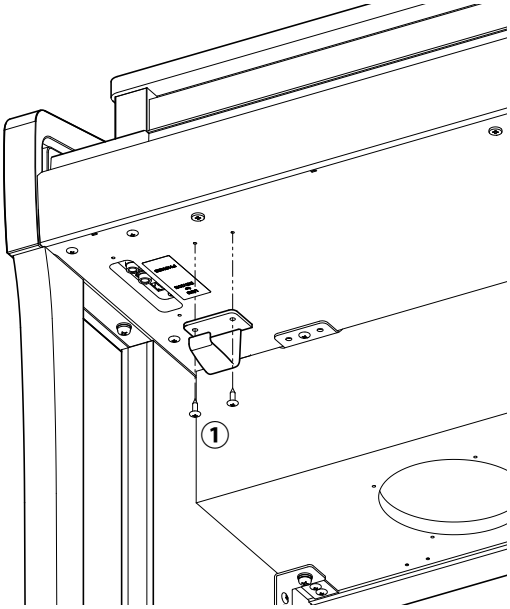


プラグは、正しい向きで真っ直ぐ抜き差しし、無理な力をかけないでください。ピンが曲がったりプラグが破損したりします。



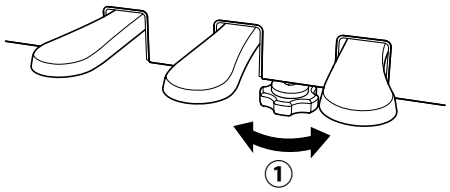
6. ヘッドホンフックを取り付ける

6 - ①
ヘッドホンフックを同じ袋に入っている取付ネジ2本で図のように取り付ける。



7. アジャスターを回す

7 - ①
アジャスターを床にぴったり付くまで回す。
床の材質、状態によってはペダル踏み込み時に床との間で摩擦音が発生することがあります。その際はフェルトやカーペットなどを床とアジャスターの間に挟み調整してください。



アジャスターボルトをしっかり床に付けないとペダル土台が壊れる恐れがあります。
なお、移動の際は、引きずらないで、必ず床から持ち上げて移動してください。

仕様

鍵盤	88鍵　木製鍵盤グランドフィール・スタンダード アイボリータッチ、レットオフフィール
同時発音数	最大256音（音色により異なる）
音色	44音色
ディスプレイ	128 x 64 dot　有機ELディスプレイ　（OLED）
効果	リバーブ（6種） コーラス3種、ディレイ3種、トレモロ3種、オートパン2種、フェイザー2種、 ロータリー6種、コンビネーション5種
レッスン	全365曲（レッスン曲345曲、指のトレーニング：20曲）
メトロノーム	1/4、2/4、3/4、4/4、5/4、3/8、6/8、7/8、9/8、12/8拍子、リズム100種類
内部レコーダー	2パート x 10ソング、総記憶音数　約90,000音
USBレコーダー	再生 : MP3（ビットレート : 8k ～ 320kbps, サンプリング周波数 : 44.1kHz, 48kHz, 32kHz）, WAV（44.1kHz, 16bit）, SMF, KSO（内部ソングファイル）
	レコーダー録音 : MP3（ビットレート：256kbps固定, サンプリング周波数 : 44.1kHz）, WAV（44.1kHz, 16bit）
デモソング	全33曲
ピアノミュージック	全29曲
コンサートマジック	全88曲
コンサートチューナー	タッチカーブ、ボイシング、ダンパーレゾナンス、ダンパーノイズ、 ストリングレゾナンス、開放弦レゾナンス、キャビネットレゾナンス、キーオフエフェクト、 キーアクションノイズ、ハンマーノイズ、ハンマーディレイ、大屋根開閉、ディケイタイム、 リリースタイム、ミニマムタッチ、ストレッチ/ユーザーチューニング、音律設定、 音律の主音の設定、88鍵ボリューム、ハーフペダルアジャスト、ソフトペダルデプス
キートランスポーズ	-12 ～ +12半音
ソングトランスポーズ	-12 ～ +12半音
オートディスプレイオフ	15秒、5分、30分
オートパワーオフ	オフ、15分、60分、120分
ヘッドホン機能	スペイシャルヘッドホンサウンド、ヘッドホンタイプ、ヘッドホン音量
その他機能	デュアル、スプリット、4ハンズ（連弾演奏）、トーンコントロール、スピーカーボリューム、 小音量バランス、チューニング、ダンパーホールド、Bluetooth設定機能、 スタートアップセッティング、ファクトリーリセット、MIDI設定機能、パネルロック
ペダル	ダンパー（ハーフペダル対応）、ソフト、ソステヌート
鍵盤蓋	スライド式
譜面立て	可倒式（角度調整機能 : 3段階）
外部記憶	USBメモリ
外部端子	ヘッドホン（2）、MIDI（IN, OUT）、LINE OUT（L/MONO, R）、LINE IN（L / MONO, R）、 USB to HOST、USB to DEVICE
無線接続	Bluetooth Audio、Bluetooth MIDI
出力	100W（50×2）
スピーカー	13cm×2、（8x12）cm×2
定格電圧	AC100V, 50 / 60Hz
消費電力	20W
寸法	W 142.5 cm × D 46.5 cm × H 91.5 cm セットアップ時、但し譜面立てを倒した状態
重量	66 kg
同梱品	本体 / スタンド / 高低自在椅子 / ACアダプター（PS-242） / 電源コード / 取扱説明書（本書） クラシカルピアノコレクション（楽譜集） / ヘッドホン / ヘッドホンフック スタンド組立説明書/ 保証書

株式会社 河合楽器製作所

電　子　楽　器　事　業　部

〒430-8665 浜 松 市 中 区 寺 島 町200番 地

TEL. 053-457-1277 / FAX. 053-457-1279

h t t p s : / / w w w . k a w a i . j p /

■ お問合せ先について

◆お客様相談室

TEL. 053-457-1311 / E-mail. customer@kawai.co.jp
電話受付時間　9：00〜12：00 / 13：00〜17：00
（土曜、日曜、祝日及び弊社規定の休日を除きます。）

◆修理受付窓口

電子楽器コールセンター
TEL：053-457-1295 / E-mail：denshi-callcenter@kawai.co.jp
電話受付時間　9：00〜12：00 / 13：00〜17：00
（土曜、日曜、祝日及び弊社規定の休日を除きます。）

各エリアの修理受付窓口は弊社Webページよりご確認ください。
電話・FAX・インターネットでお問い合わせいただけます。
https://www.kawai.jp/support/service/ep/repair/

故障と思われる場合につきましては、お買い求めいただいた販売店、もしくは上記の修理受付窓口にお問い合わせください。
その他ご不明な点などございましたら、上記のお客様相談室にお問い合わせください。

本取扱説明書の一部、あるいは全部を無断で複写・転載することを禁止します。

3000003263
SP00000327 R103
Printed in Indonesia

3000003263-R103